日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS

インストレーション・ガイド

AA–PVF5D–TE

2001 年 7 月

本書は，日本語 OpenVMS Alpha および日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システムに日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールする方法を説明したものです。

変更および改訂情報:	本書は改訂版です。
オペレーティング・システム:	日本語 OpenVMS Alpha V6.2 以降 日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 以降
ソフトウェア・バージョン:	日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.2–6 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–6

コンパックコンピュータ株式会社

2001 年 7 月

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており，本書中の解説および図，表はコンパックの文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

© 2001 Compaq Computer K.K.
Printed in Singapore.

COMPAQ， VAX， VMS， Compaq ロゴ，および DIGITAL ロゴは，米国 Patent and Trademark Office に登録されています。

Motif， OSF/1 および UNIX は The Open Group の商標です。

本書に記載のあるその他すべての製品名は，それぞれの会社の商標または登録商標です。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき ix

1 インストレーションの準備

1.1 リリース・ノートについて 1–1

1.2 ライセンスの登録 1–2

1.3 必須ソフトウェア 1–3

1.4 インストレーション・プロシージャに必要な条件 1–3
1.4.1 特権 1–4
1.4.2 システム・パラメータ 1–4
1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ 1–6
1.4.4 ディスク・スペース 1–7
1.4.5 システム・ディスクのバックアップ 1–7
1.4.6 以前のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS からアップデートする場合 1–8

1.5 オプションのインストール 1–9

1.6 標準的なシステム保守手順 1–10
1.6.1 グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算 1–10
1.6.2 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更 1–11

2 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション

2.1 日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha のインストレーション 2–1

2.2 日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS VAX のインストレーション 2–5

3 インストレーション後の作業

3.1 DECwindows Motif ソフトウェアの再起動 3–1
3.2 インストレーション検証プロシージャ (IVP) の実行 3–1
3.3 キーボードの省略時の設定 3–2

A 標準版 DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション

A.1 インストレーション前の準備 A–1
A.1.1 ライセンス登録 A–2
A.1.2 サポートされているハードウェア A–3
A.1.3 インストレーション・プロシージャの前提条件 A–3
A.1.4 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア A–4
A.1.5 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ用の必須 ECO A–6
A.1.5.1 必須の PCSI ECO インストール後のアップグレード問題 A–7
A.1.6 OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート A–8
A.1.7 設定したブックリーダ・ファイルの保管 A–9
A.1.8 インストレーション・プロシージャに必要な条件 A–10
A.1.8.1 プロセス・アカウントのクォータ A–11
A.1.8.2 ディスク・スペース A–12
A.1.8.3 システム・パラメータ A–14
A.1.8.4 追加システム保守プロシージャ A–16
A.1.8.4.1 システム・パラメータ値のチェック A–16
A.1.8.4.2 未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの量を計算する A–17
A.1.8.4.3 ページ・ファイルのサイズの設定 A–18
A.1.8.4.4 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更 A–19
A.1.8.5 システム・ディスクのバックアップ A–21
A.1.8.6 他のユーザへの通知 A–21

A.2 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティの使用法 A–21
A.2.1 ヘルプの使用法 A–23
A.2.2 製品リリース・ノートの抽出と印刷 A–23

A.2.3 ソフトウェアのインストレーション A–24
A.2.3.1 インストレーションの開始 A–25
A.2.3.2 インストレーション・ダイアログ A–25
A.2.3.2.1 GBLPAGES および CLISYMTBL の値について十分なクォータの確認 A–27
A.2.3.2.2 AUTOGEN の実行 A–28
A.2.3.2.3 プログラミング環境の保存 A–29
A.2.3.2.4 省略時のインストレーション A–30
A.2.3.2.5 デスクトップの選択についての質問 (Alpha のみ) A–30
A.2.3.2.6 プログラミング言語サポート・オプション A–31
A.2.3.2.7 変換イメージのサポート A–33
A.2.3.2.8 言語バリアントについての注意 A–33
A.2.3.2.9 インストレーション・オプションの確認 A–34
A.2.3.2.10 実行ダイアログ A–34
A.2.3.2.11 DECwindows Motif サポート・ファイルの確認 A–35
A.2.3.2.12 インストレーションの最終メッセージの確認 A–37
A.2.4 エラーからの回復 A–38
A.2.5 インストレーション後のパラメータの調整 A–38
A.3 VMSINSTAL プロシージャの使用法 (OpenVMS VAX V5.5–2 のみ) A–39
A.3.1 インストレーション・プロシージャに必要な条件 A–41
A.3.1.1 プロセス特権 A–41
A.3.1.2 代替作業デバイスの使用 A–41
A.3.1.3 DFS (Distributed File Service) の使用 A–43
A.3.2 インストレーション・プロシージャ A–43
A.3.2.1 製品およびデバイス名 A–44
A.3.2.2 VMSINSTAL プロシージャの起動 A–45
A.3.2.3 システムのバックアップの確認 A–47
A.3.2.4 ディストリビューション・メディアの装着 A–47
A.3.2.5 リリース・ノート・オプションの選択 A–48
A.3.2.6 インストレーションの継続 A–49
A.3.2.7 OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境の保存 A–50
A.3.2.8 キット全体のインストレーション A–51
A.3.2.9 プログラミング・サポート・ファイルの選択 A–52
A.3.2.10 キット選択の確認 A–53
A.3.2.11 ディスク・スペースの確認 A–53
A.3.2.12 ライセンス登録の確認 A–55

A.3.2.13 システムの再ブートの実行 A–56
A.3.2.14 情報メッセージを読む A–57
A.3.2.15 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの設定 A–59
A.3.2.16 インストレーション・プロシージャの完了 A–61
A.3.3 エラーからの回復 A–61
A.3.4 リリース・ノートへのアクセス A–62
A.4 ソフトウェア・インストレーション完了後の作業 A–62
A.4.1 DECwindows Motif ソフトウェアの起動 A–63
A.4.1.1 スタンドアロン・システム A–64
A.4.1.2 OpenVMS Cluster システム A–65
A.4.1.2.1 非サテライト・ノードおよびブート・ノードでの起動 A–65
A.4.1.2.2 サテライト・ノードでの起動 A–66
A.4.2 IVP (インストレーション検証プロシージャ) の実行 A–66
A.4.3 代替コンソールの選択 A–68
A.4.4 デスクトップの選択 (Alpha のみ) A–69
A.5 DECwindows Motif ソフトウェアの管理 A–70
A.5.1 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャ A–71
A.5.2 DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティの使用法 (OpenVMS VAX V5.5–2 のみ) A–76
A.5.3 DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加 A–82
A.5.3.1 OpenVMS オペレーティング・システムの再設定 (Alpha のみ) A–82
A.5.3.2 SYS$UPDATE:DECW$TAILOR.EXE コマンドの使用 (VAX のみ) A–83
A.5.4 問題の確認と報告 A–87
A.6 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用したインストレーション実行例 A–88
A.6.1 OpenVMS Alpha V7.1–2 システムへのインストレーション実行例 A–89
A.6.2 OpenVMS VAX V7.1 システムへのインストレーションの実行例 A–94
A.6.3 OpenVMS Alpha V6.2 システムへのインストレーションの実行例 A–98
A.7 VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例 A–102
A.7.1 VMSINSTAL を使用した OpenVMS VAX V5.5–2 へのインストレーション実行例 A–102
A.8 ソフトウェア構成要素 A–106

B インストレーション実行例

B.1 インストレーション実行例 (Alpha 版) B–1
B.2 インストレーション実行例 (VAX 版) B–3
B.3 DECW$I18NTAILOR.COM 実行例 B–11

C エラーからの回復

C.1 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション時のエラー C–1

例

A–1 IVP 実行例 A–68
A–2 DECW$MOTIF_TAILOR セッションの例 A–80
A–3 DECW$TAILOR セッションのサンプル A–86
A–4 OpenVMS Alpha システムへ PCSI 用必須 ECO をインストールする実行例 A–89
A–5 十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha V7.1–2 システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例 A–91
A–6 十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をアップグレードする実行例 A–94
A–7 OpenVMS Alpha システムへ PCSI 用必須 ECO をインストールする実行例 A–98
A–8 十分なシステム・リソースがない OpenVMS Alpha システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例 A–99
A–9 VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例 A–103

表

1–1 必須ソフトウェア 1–3
1–2 最低限必要なシステム・パラメータ値 1–4
1–3 インストールするアカウントのプロセス・クォータ 1–6
1–4 必要なディスク・スペース 1–7
2–1 インストレーション・オプション指定 2–7

A–1 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ A–8
A–2 インストールするアカウントのプロセス・クォータ A–11
A–3 構成要素毎の所要ディスク・スペース (ブロック数) A–13
A–4 最低限必要なシステム・パラメータ値 A–14
A–5 連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの必要量 A–18
A–6 ADD_オプションに指定するシステム・パラメータの推奨値 A–20
A–7 DECwindows のキーマップ A–74
A–8 DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用して削除できる OpenVMS ファイルのクラス A–77
A–9 DECW$TAILOR ユーティリティを使用して追加または削除できるファイルのクラス A–84

まえがき

本書は，OpenVMS オペレーティング・システムが稼動しているシステムに，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする方法について説明したものです。

本書はディストリビューション・キットの一部です。日本語 DECwindows Motif for OpenVMS の V1.2–6 リリースのインストレーション，アップデート，再インストレーション時にお読みください。

関連ドキュメント

本書に加えて，日本語 DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 キットには，次のドキュメントが含まれています。

- 『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェア仕様書』
- 『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』

その他 DECwindows Motif に関するドキュメントについては，『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』の第 4 章を参照してください。

表記法

本書では次の表記法を使用しています。

表記法	意味
[YES] [NO]	システムからの問い合わせに対する省略時の応答は，大括弧で示されます。Return キーだけを押した場合は，省略時の応答を選択することになります。
UPPERCASE	英大文字のテキストは，コマンド，ファイル，パラメータ，プロシージャを示します。
$ **@SYS$UPDATE:VMSINSTAL**	システムとの会話型の表示例では，システムからのプロンプトおよびテキストはモノスペース・タイプの文字で示します。ユーザによる入力例は太字で示します。
$	ドル記号は DCL プロンプトを示します。システムによっては異なる記号である場合があります。
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は， Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。

1

インストレーションの準備

必要な媒体および内容については，BOM (Bill of Materials) に指定されています。 BOM に記載されている情報と照合して，必ずキット内容を確認してください。万一，キットが破損していたり，必要な媒体がすべてそろっていない場合には，最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

注意

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS から Alpha 版と VAX 版でインストールの方法が異なりますのでご注意ください。 Alpha 版では POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ (PCSI) を使用します。 VAX 版では VMSINSTAL を使用します。

1.1 リリース・ノートについて

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS では，リリースノートを提供しています。この製品をインストールする前に，リリースノートに目を通しておくことを推奨します。リリースノートには，アプリケーションの変更点に関する情報を含んでいる場合があります。

リリースノートは，インストレーション時に次の位置にコピーされます。

```
SYS$HELP:DWM_JA_JP_126.RELEASE_NOTES
```

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha では，次のコマンドを実行すると，キットからリリースノートを抽出できます。

```
$PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = kit_location
```

ここで*kit_location*は，日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 for OpenVMS Alpha のキットを含むディレクトリ (装置名を含む) です。 DKA0:[KIT]にキットが置かれている場合，次のように指定します。

```
$PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = DKA0:[KIT]
```

VAX 版については，表 2–1 を参照してください。

1.2 ライセンスの登録

ノードまたはクラスタ上に日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールして起動する前に，ライセンス管理機能 (LMF) を使用して，プロダクト・オーソライゼーション・キー (ライセンス PAK) を登録しなければなりません。ライセンスと媒体をあわせて注文した場合はライセンス PAK がキットに同梱されています。それ以外の場合は，ライセンスの注文に応じて別途提供されます。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS を，すでにライセンス登録済みのノードあるいはクラスタにアップデートする場合は，ライセンス PAK の新規登録の必要はありません。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS とともに必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアをインストールしようとしている場合は，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールする前にその必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアの PAK を確認し，登録しておかなければなりません。

インストレーション検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアを使用する前に，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のライセンスを登録しておかなければなりません。

OpenVMS にライセンスを登録する場合は，システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら，ライセンス PAK のデータを入力してください。

- DCL のプロンプトで，ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して，LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスタの複数ノードで日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS を使用する場合は，このインストレーションの完了後，他のノードでもライセンスを登録してください。

ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は，『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

1.3 必須ソフトウェア

表 1–1 に，日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS をインストールする前にインストールしておかなければならないソフトウェアを示します。

表 1–1 必須ソフトウェア

必須ソフトウェア	Alpha システムの最小バージョン	VAX システムの最小バージョン
OpenVMS	V6.2	V5.5–2
日本語 OpenVMS[1]	V6.2	V5.5–2
DECwindows Motif for OpenVMS	V1.2–6	V1.2–6

[1]OpenVMS V6.2 以降については，対応する OpenVMS I18N キット (OpenVMS V6.2 の場合 VMSI18N062) をインストールする必要があります。詳しくは，『日本語 OpenVMS インストレーション・ガイド』をお読みください。

1.4 インストレーション・プロシージャに必要な条件

この節では，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールする際に必要な条件 (プロセス・アカウント・クォータ，システム・パラメータ，ディスク・スペースなど) について説明します。

各種パラメータのチェックおよび設定のためのプロシージャは，第 1.6 節で説明されています。

1.4.1 特権

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールする場合は，SETPRV 特権あるいは少なくとも次の特権を持つアカウントにログインする必要があります。

- CMKRNL
- WORLD
- SYSPRV

VMSINSTAL はインストレーションの起動時に BYPASS 特権を無効とすることに注意してください。

1.4.2 システム・パラメータ

表 1–2 は，インストレーションに最低限必要なシステム・パラメータ値の一覧です。ご利用のプログラムとアプリケーションの種類に応じて，一部の設定について表の値より高い値が必要となる場合もあります。

インストレーションの前提条件として，すでに標準版の DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールしている場合，システム・パラメータに通常問題はありません。

表 1–2 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値	VAX 値
GBLPAGES[1]	110,000	62,000
GBLSECTIONS[1]	600	420
GBLPAGFIL	1,024	6,024
SWPOUTPGCNT	512	500

[1]これらの値はインストレーションに必要なグローバル・ページおよびグローバル・セクションの未使用の値であり，システムおよびその他のソフトウェアを実行するために必要な合計値ではありません。

(次ページに続く)

表 1–2 (続き) 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値	VAX 値
MAXBUF	8,192	2,048
VIRTUALPAGECNT	73,536	50,000
CHANNELCNT	255	255
PROCSECTCNT	64	40
PQL_DPGFLQUOTA	-	32,768
PQL_MPGFLQUOTA	32,768	-
PQL_MASTLM	100	100
PQL_MBIOLM	100	100
PQL_MBYTLM	100,000	40,000
PQL_MDIOLM	100	100
PQL_MENQLM	300	200
PQL_MFILLM	100	100
PQL_MPRCLM	10	8
PQL_MWSDEFAULT	1,024	512
PQL_MWSQUOTA	2,048	1,024
PQL_MWSEXTENT	8,192	2,048
CLISYMTBL	265	265
GH_RES_CODE[2]	1,024	-
IMGREG_PAGES[2]	2,000	-
WINDOW_SYSTEM	1	1
NPAGEDYN	1,300,000	1,000,000
PAGEDYN	600,000	400,000
WSMAX	12,000	4,096

[2]このシステム・パラメータは，OpenVMS Alpha V6.2 以降のシステムでのみ使用可能です。

注意

システムに，インストレーションに必要な量のグローバル・ページおよびグローバル・セクションがあることを確認しない場合，DCL テーブルが壊れる可能性があります。

1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ

インストレーション・プロシージャでは，インストールするアカウントに少なくとも表 1–3 に示されたクォータが必要となります。

表 1–3 インストールするアカウントのプロセス・クォータ

クォータ名	Alpha 値	VAX 値
ASTLM	250	24
BIOLM	150	18
BYTLM	64,000	33,000
DIOLM	150	18
ENQLM	2,000	30
FILLM	100	20

OpenVMS AUTHORIZE ユーテリィティを使用して，利用者登録ファイル (UAF) 内のインストレーション・アカウントのプロセス・クォータの確認および変更を行います。

たとえば，インストレーション・アカウント*account-name*の BYTLM クォータを変更するには，次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW account-name
UAF> MODIFY account-name /BYTLM = 18000
UAF> SHOW account-name
UAF> EXIT
$ LOGOUT
```

インストレーション・アカウントのクォータを変更した場合は，新しい値を有効にするために一度ログアウトした後に再度ログインしてください。以上で，インストレーションに進むことができます。

1.4.4 ディスク・スペース

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS が必要とする空きディスク・スペースは，インストレーションの前後で異なります。表 1–4 に必要なディスク・スペースをまとめています。

表 1–4 必要なディスク・スペース

キット	インストレーション前の必要ブロック数	インストレーション後の必要ブロック数
日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.2–6	105,000	103,000
日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–6	55,000	53,000

上記の数値は，すべての製品構成要素をインストールする場合に使用される最低限必要なディスク・スペースを示しています。インストレーション・プロシージャは，特定の製品コンポーネントに必要なディスク・スペースを通知します。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには，DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

1.4.5 システム・ディスクのバックアップ

インストレーションの開始時に，システム・ディスクのバックアップを行ったかどうかを問い合わせます。ソフトウェアをインストールする場合は，その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことを推奨します。

通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』のシステム・ディスクのバックアップの項を参照してください。

1.4.6 以前のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS からアップデートする場合

以前のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS からアップデートする手順は次のとおりです。

1. 以前のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS を削除します。

   日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS は，内部的には LV (各国語) キットと I18N (国際化) ベース・キットに分かれています。次の手順でその両方を削除します。

   DECW$I18NTAILOR.COM を 2 回実行します。

   ```
   $ @SYS$MANAGER:DECW$I18NTAILOR.COM
   ```

   日本語 DECwindows Motif V1.2, V1.2–3 がインストールされている場合，Tailor On/Off/Exit の問い合わせがありますので，"Off"と応答します。 V1.2–4 以降ではこの問い合わせはありませんので，次に進んでください。

   どの LV キットを削除するか問い合わせてきますので，"Japanese"と応答し，LV キットの削除を継続してください。

   LV キットが削除されたら，もう一度 DECW$I18NTAILOR.COM を実行し，I18N（国際化) ベース・キットを削除します。

   ```
   $ @SYS$MANAGER:DECW$I18NTAILOR.COM
   ```

   I18N ベース・キットを削除するか問い合わせてきますので，"Yes"と応答し，I18N ベース・キットの削除を継続してください。

2. 標準版 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS をインストールします。

   詳しくは，付録 A『標準版 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション』を参照してください。

3. 日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 for OpenVMS をインストールします。

詳しくは，第 2 章『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション』を参照してください。

1.5 オプションのインストール

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS では，次の構成要素がオプションとして提供されます。

日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

日本語 Compaq OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらの構成要素がインストールされている場合は，オプションのインストールは不要です。そうでない場合，あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また，従来のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif を削除して日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 をインストールする場合も，すべてのオプションをインストールしてください。

オプション構成要素ファイルは次のとおりです。

- 日本語キーマップ

```
SYS$COMMON:[SYS$KEYMAP.DECW.SYSTEM]JAPANESE_*.*
```

- 日本語 75dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_*.*
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_KMENU_*.*
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_*.*
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_*.*
```

- 日本語 100dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_*.*
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_*.*
```

1.6 標準的なシステム保守手順

この節では，標準的な各種保守手順について説明します。

- グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算
- OpenVMS AUTOGEN コマンド・プロシージャを使用したパラメータ値の変更

1.6.1 グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールして実行するためには，十分な未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションが必要です。まず最初に，システムの未使用のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの量を確認します。続いて，必要に応じて， AUTOGEN ユーティリティを使用してグローバル・ページおよびグローバル・セクションのシステム・パラメータ値を大きくします。

次の DCL コマンドを入力すると，使用可能なグローバル・ページ数が表示されます。

```
$ DIR/SIZE SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE
```

F$GETSYI レキシカル関数を使用して WRITE コマンドを入力し，連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの数を確認します。ご使用の端末からこの情報を得る方法の例を次に示します (SYS$OUTPUT の省略時の設定)。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("CONTIG_GBLPAGES")
15848
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
24
```

第 A.1.8.4.4 項に， AUTOGEN ユーティリティを使用してこれらの値を大きくする方法を説明してあります。

1.6.2 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更

AUTOGEN ユーティリティを使用して，システム・パラメータを変更します。AUTOGEN は，ユーザがマニュアル操作でリセットした値に対応するパラメータの値を自動的に調整します。 AUTOGEN を使用してシステム・パラメータを変更するには， SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイルを編集してください。

このファイルに入っているパラメータ値を変更するには，そのパラメータに対応する現在値を削除し，新しい値を入力してください。

新しいパラメータを追加する場合は，次に示す例のようにファイルに 1 行追加して，パラメータ名とその値を書き込んでください。

```
WSMAX = 8096
```

グローバル・ページおよびグローバル・セクションなどのパラメータの現在の値に特定の値を追加する場合は， ADD_を使用します。次の例では，グローバル・ページの値に 2000 を追加します。

```
ADD_GBLPAGES = 2000
```

ページ・ファイル・クォータを設定する場合，システムで使用可能なページ・ファイル・スペースを超える値を使用することはできないことに注意してください。

変更をすべて入力したらファイルの編集を終了し， AUTOGEN ユーティリティを実行してシステム・パラメータを再度計算します。次のコマンドを入力して，システム・パラメータを再度計算し，システムを再ブートします。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

REBOOT を指定すると， AUTOGEN ユーティリティが自動的にシステムをシャットダウンした後，システムを再ブートします。シャットダウン中にシステムにログインしたユーザは，シャットダウン時に自動的にシステムから切断されます。自動再ブートにより，新しいパラメータ値が有効となります。

AUTOGEN ユーティリティは，最新の再ブート以降のリソースの消費量を基にいくつかの SYSGEN パラメータ値を自動的に調整します。この自動調整を無効とする場合は，AUTOGEN コマンド行に NOFEEDBACK を指定してください。

AUTOGEN の使用法についての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

2

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション

インストレーション時にエラーが発生した場合は，付録 C を参照してください。

注意

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS は， Alpha 版と VAX 版でインストールの方法が異なります。

2.1 日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha のインストレーション

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha は，標準版 OpenVMS Alpha の POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ (PCSI) 形式のキットを提供します。これにより，より迅速，かつ分かり易いインストール環境を提供します。キット名は DEC-AXPVMS-JDECW-V0102-6-1.PCSI です。

注意

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha では，POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用してインストールを行います。従来の VMSINSTAL ではインストール出来ませんのでご注意ください。

インストレーション・プロシージャ実行時にシステムからの問い合わせがある場合は，通常プロンプトの大括弧 ([ ]) 内に省略時の応答が表示されます。

次の手順に従って，日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS Alpha をインストールします。

1. 特権アカントにログインします。

```
Username: SYSTEM
Password:
```

2. POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ (PCSI) を起動します。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL product_name / SOURCE= kit_location
```

コマンド以下の要素は次のように定義されます。

product_name
プロダクト名です。キット名ではありません。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の場合，次のプロダクト名を使用します。

```
JDECW
```

product_location
日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha のキットDEC-AXPVMS-JDECW-V0102-6-1.PCSIを含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

たとえば，日本語 Compaq OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3 CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合，*product_location*は

```
DKA400:[DWMA_JA_JPU6012.KIT]
```

となります。この場合の PRODUCT コマンド全体の指定は，次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL JDECW /SOURCE= DKA400:[DWMA_JA_JPU6012.KIT]
```

PRODUCT コマンド起動後，次の問い合わせに対して Return キーを押して，インストレーションを開始してください。

```
The following product has been selected:
    DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               Layered Product

Do you want to continue? [YES]
```

3. インストールするオプションを選択します。

   オプションについて VMSINSTAL から次のような問い合わせがあります。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
```

   日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS では，次の構成要素がオプションとしてインストールされます。

   日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
   日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
   日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

   日本語 Compaq OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらの構成要素がインストールされている場合は，オプションのインストールは不要です。そうでない場合，あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また，従来のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif を削除して日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 をインストールする場合も，すべてのオプションをインストールしてください。詳しくは第 1.5 節を参照してください。

   すべてのオプションをインストールする場合，およびインストールしない場合の手順はそれぞれ次のとおりです。

   - すべてのオプションをインストールする場合

     最初の質問に YES を入力してデフォルトの動作を選択します。これによってすべてのオプションがインストールされます。

     以下はすべてのオプションをインストールする場合の例です。この例では Do you want to review the options? という質問に yes を入力して，インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]

Do you want to review the options? [NO] yes

DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese
    Do you need to install Japanese keymaps?: YES
    Do you need to install 100dpi Japanese font?: YES
    Do you need to install 75dpi Japanese font?: YES

Are you satisfied with these options? [YES]
```

- インストールしない場合

  最初の質問に NO を入力します。すると各オプションについてインストールするかどうか聞いてくるので，すべて NO を入力します。

  以下はオプションをインストールしない場合の例です。この例では Do you want to review the options? という質問に yes を入力して，インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES] no

    Do you need to install Japanese keymaps? [YES] no

    Do you need to install 100dpi Japanese font? [YES] no

    Do you need to install 75dpi Japanese font? [YES] no

Do you want to review the options? [NO] yes

DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese
    Do you need to install Japanese keymaps?: NO
    Do you need to install 100dpi Japanese font?: NO
    Do you need to install 75dpi Japanese font?: NO

Are you satisfied with these options? [YES]
```

4. インストールが実行されます。

   実際にインストレーションが実行されます。

```
  Execution phase starting ...

  The following product will be installed to destination:
      DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               DISK$ALPHASYS:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

  The following product has been installed:
      DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               Layered Product
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese

    This product requires the following SYSGEN parameters:
        GBLPAGES add 1600

    This product requires the following SYSGEN parameters:
        GBLSECTIONS add 12

    Installation Verification Procedure can be run after reboot.

  Run the Installation Verification Procedure (IVP) after the installation
  is completed and the system is rebooted.  The IVP is located in the
  following directory: SYS$TEST:DECW$IVP.COM.

  Installation of DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS AXP V1.2-6 is now complete.


  Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

              PAK Name
              DW-MOTIF
              DW-MOTIF-UI-JAPANESE

  These are required to run any DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS
  application.

  If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
  Motif with the following DCL command:
         $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

  If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows
  Motif with the following DCL command:
         $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

これでインストレーションは完了しました。 DECwindows Motif のインストレーション前のシステム構成に応じて，DECwindows を起動，または再起動する必要があることに注意してください。

2.2 日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS VAX のインストレーション

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 for OpenVMS VAX は Alpha 版と異なり，VMSINSTAL ユーティリティを使用してインストールします。

1. 特権アカントにログインし，SYS$UPDATE に移動します。

```
Username: SYSTEM
Password:

$ SET DEFAULT SYS$UPDATE
```

2. VMSINSTAL を起動します。

   @VMSINSTAL *saveset-name saveset-location option-list*

   VMSINSTAL は SYS$UPDATE ディレクトリにあります。 VMSINSTAL コマンドの形式は次のとおりです。

   VMSINSTAL *save-setname saveset-location option-list*

   コマンド以下の要素は次のように定義されます。

   saveset-name
   インストレーション名です。

   日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX では，次のインストレーション名を使用します。

   DWMV_JA_JPU6012

   saveset-location
   日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のセーブセットDWMV_JA_JPU6012.*を含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

   たとえば，日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合，*saveset-location*は

   ```
   DKA400:[DWMV_JA_JPU6012.KIT]
   ```

   となります。

   option-list
   *option-list*には， OPTIONS に続けて表 2–1 に示す A， G， L， N， R のいずれか 1 つ，あるいは複数を指定します。

表 2–1 インストレーション・オプション指定

オプション	意味	説明
A	Auto_answer 自動応答	VMSINSTAL の問い合わせに対する応答を含むファイルを最初に作成します。続いて，このオプション (および応答ファイル) を使用することにより，再インストレーション (通常，システムのアップグレード後) にかかる時間を節約することができます。
G	Get saveset G *device:[directory]* セーブセットのコピー	キットのセーブセットを*device:[directory]*にコピーします。高速なシステム・ストレージ装置を指定することにより，その装置からのインストレーションの速度を速くすることが可能です。あるいは，グループで使用するディストリビューション・リソースとすることもできます。
L	File Log ログ表示	インストレーション時のログを端末に表示します。
N	Display or Print the Release Notes リリース・ノートの表示あるいは印刷	インストレーション時に，リリース・ノートに関する問い合わせを表示するように指定します。 N オプションを指定しない場合， VMSINSTAL はリリース・ノートに関する問い合わせを行いません。リリース・ノートに付加的な情報が含まれている場合は，インストレーションを進める前にその内容を確認しておく必要があります。 インストレーションを再度実行していて，すでにリリース・ノートの内容を確認している場合は，N オプションを省略することができます (日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノートは， VMSINSTAL により SYS$HELP ディレクトリにコピーされ，利用可能です)。
R	Alternate Root 代替ルート	稼動しているシステムのルートとは異なるルートに日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールします。

これらのソフトウェア・インストレーション・オプションについての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。複数のオプションを指定する場合は，各オプションをカンマで区切ります。次の例を参照してください。

```
OPTIONS A,N
```

次は，VMSINSTAL を起動して日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX をインストールする場合のシステムの応答の例です。この例では，OPTIONS N を指定して，インストレーション時にリリース・ノートにアクセスしています。

```
$ @VMSINSTAL DWMV_JA_JPU6012 DKA400:[DWMV_JA_JPU6012.KIT] OPTIONS N

      OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V7.3

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.
Enter a question mark (?) at any time for help.
```

製品名あるいは装置名のいずれかを指定しない場合，VMSINSTAL は後でこの情報を問い合わせます。

VMSINSTAL を起動した場合，特権アカウントにログインしていることをチェックします。システム管理者アカウントでログインし，省略時の装置およびディレクトリを SYS$UPDATE に設定しておくことを推奨します。

続いて，VMSINSTAL は別のユーザがシステムにログインしていないかどうかをチェックします。ユーザがログインしている場合，VMSINSTAL はインストレーションを継続するかどうかを問い合わせます。

3. システム・バックアップを確認します。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

システム・ディスクのバックアップを行っている場合は，Return キーを押します。そうでない場合は，NO を入力してインストレーションを中止します。システム・ディスクのバックアップを行った後，インストレーションを再度実行することができます。

VMSINSTAL コマンド行で装置名を省略した場合，次の問い合わせが表示されます。

```
* Where will the distribution volumes be mounted:
```

このプロンプトが表示された場合は，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS キット (セーブセット) を含む*saveset-location*を入力します。たとえば，メディアが CD-ROM ドライブ DKA400: に装着された CD-ROM である場

合，次の問い合わせに対して DKA400:[DWMV_JA_JPU6012.KIT]と入力します。

装置のタイプおよび措置がすでにマウントされているかどうかに応じて，次のようなプロンプトが表示される場合があります。

```
Please mount the first volume of the set on DKA400:.
* Are you ready? YES
%MOUNT-I-MOUNTED, DKA400:  mounted
```

まだマウントしていない場合は，VMSINSTAL を起動した際に指定した装置にディストリビューション・ボリュームを装着しなければなりません。問い合わせの前の行に装置名が表示されます。続いて，VMSINSTAL はインストレーションを継続してよいかどうかを問い合わせます。

YES と応答して，すでに準備ができていることを通知すると，VMSINSTAL は日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS を含むメディアが指定された装置にすでにマウントされていて，インストレーションが開始されたことを示すメッセージを表示します。

VMSINSTAL を起動した際に間違った装置名を指定して，インストレーションを再度実行する必要がある場合は，‘‘Are you ready?’’という問い合わせに NO と応答します。別の理由によりインストレーションを中断する場合は，Ctrl/Y を押します。

4. インストールした製品を検証します。

```
The following products will be processed:

  DWMV_JA_JPU6 V1.2

        Beginning installation of DWMV_JA_JPU6 V1.2 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset A...
```

製品名およびバージョン番号が表示されます。最初のセーブセット (A) が SYS$UPDATE のサブディレクトリにリストアされます。

5. リリース・ノートのオプションを選択します。

```
Release Notes Options:

    1.  Display release notes
    2.  Print release notes
    3.  Both 1 and 2
    4.  Copy release notes to SYS$HELP

* Select option [2]:
```

VMSINSTAL を起動した際にオプション N を指定した場合，リリース・ノートの内容を確認するためのオプションの 1 つを選択するための問い合わせがあります。いずれのオプションを選択しても，リリース・ノートは SYS$HELP にコピーされます。

オプション 1 を選択した場合， VMSINSTAL は直ちにリリース・ノートをコンソール端末に表示します。 Ctrl/C を押すことにより，任意の時点でその表示を停止することができます。

オプション 2 を選択した場合， VMSINSTAL は印刷するプリント・キュー名を問い合わせます。使用するプリント・キュー名を指定するか， Return キーを押して省略時のプリント装置にファイルを送信します。次の例を参照してください。

```
* Queue name [SYS$PRINT]: AA_LPSJAP
```

オプション 3 を選択した場合， VMSINSTAL は直ちにリリース・ノートをコンソール端末に表示し，続いて印刷するプリント・キュー名を問い合わせます。

オプション 4 を選択した場合，インストレーション・プロシージャはリリース・ノートを SYS$HELP ディレクトリにコピーし，インストレーションを継続するかどうかを問い合わせます。

続いて， VMSINSTAL は次のメッセージを表示します。

```
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

*** Installing DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS VAX V1.2-6 Software ***
 .
 .（ここに表示されるメッセージは省略しています。詳細はインストレーション例を
 .  参照してください。）
 .
```

6. ライセンス登録についての問い合わせに応答します。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS は OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) を使用します。インストレーション・プロシージャは，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS についてのライセンス情報を表示します。各製品に対応したライセンスを登録したかどうかを問い合わせます。

```
A registered and loaded product authorization key for
      DW-MOTIF and DW-MOTIF-UI-JAPANESE
is required to run any DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS application.
If you   answer NO to the next questions, the installation of DECwindows
Motif for OpenVMS will be terminated.

      Product:      DW-MOTIF-UI-JAPANESE
      Producer:     DEC
      Version:
      Release Date:


* Does this product have an authorization key registered and loaded?
```

まだ PAK を登録していない場合は，この問い合わせに NO と応答しなければなりません。インストレーションを完了するには，PAK を登録する必要があります (第 A.1.1 節を参照)。まだライセンスを登録していない場合は，インストレーションを中止し，PAK を登録しなければなりません。続いて，インストレーションを再度実行してください。すでに PAK を登録している場合は，YES と応答してインストレーションを継続します。

```
      Product:      DW-MOTIF
      Producer:     DEC
      Version:
      Release Date:


* Does this product have an authorization key registered and loaded?
```

PAK が正しく登録されている場合は，YES と応答します。そうでない場合は NO と応答して，インストレーションを中止します。

7. オプション・キット構成要素に対する問い合わせに応答します。

続いて，オプション・キット構成要素をインストールするかどうかの問い合わせがあります。各問い合わせの前に，特定の構成要素に必要なディスク・スペースが通知されます。

```
The free disk requirement for installing Japanese keymap is about 200 blocks
* Do you need to install Japanese keymaps [Y]?

The free disk requirement for installing 75DPI Japanese fonts is
about 16000 blocks
* Do you need to install 75dpi Japanese font [Y]?

The free disk requirement for installing 100DPI Japanese fonts is
about 14000 blocks
* Do you need to install 100dpi Japanese font [Y]?
```

日本語 Compaq OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらの構成要素がインストールされている場合は，オプションのインストールは不要です。そうでない場合，あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また，従来のバージョンの日本語 Compaq DECwindows Motif を削除して日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 をインストールする場合も，すべてのオプションをインストールしてください。詳しくは第 1.5 節を参照してください。

問い合わせの最後で，インストール・プロシージャは選択を表示して確認を問い合わせます。

```
        The following parts of the kit will be installed.

        Run-Time Libraries
        CDA support
        Applications
        Programming support
        Motif Examples
        75dpi JAPANESE font
        100dpi JAPANESE font

* Is this correct [Y]?
```

最後問い合わせを繰り返す場合は NO と応答します。そうでない場合は Return キーを押して処理を継続します。

これがインストレーションの最後の問い合わせです。次のようなメッセージが表示されます。

```
No further questions will be asked.
```

インストレーションの処理を継続します。

8. 情報メッセージを確認します。

   この段階では，インストレーション・プロシージャは，インストレーションの進捗状況を通知する情報メッセージを表示します。このメッセージの表示はここでは省略します。詳細はインストレーション例を参照してください。

   この時点までにインストレーション・プロシージャが正常に動作している場合は， VMSINSTAL は新しいファイルあるいは修正されたファイルをそのターゲット・ディレクトリに移動します。

   ```
   %VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
   ```

9. インストレーション後の情報を確認します。

   ターゲット・ディレクトリへのファイルの移動後，インストレーション後の作業を一覧した部分が表示されます。

```
 PostInstall JP procedure
The following fontlist is appended to decw$system_defaults:decw$mwm.dat:

-*-Kmenu-Medium-R-Normal--*-120-*-*-P-*-JISX0201.1976-0=JISX0201.1976-0,\
-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208.1983-1,\

-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208-?

 lang logical has been defined as ja_JP.sdeckanji
 please edit sys$manager:decw$define_lang.com if you
 want to change the logical to another locale.
 Then run decw$define_lang again

Rename _75REN files ...
Rename _100REN files ...
Rename _CDEREN files ...

The Installation Verification Procedure (IVP) should be run after the
installation has been completed and DECwindows Motif has been restarted.
The IVP can be found in SYS$TEST:DECW$IVP_JA_JP.COM

Installation of DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS VAX V1.2-6 is now complete.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
Motif with the following DCL command:
               $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

If your system is NOT already running DECwindows Motif, start DECwindows
Motif with the following DCL command:
               $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

DECwindows のインストレーション前のシステム構成に応じて DECwindows を起動あるいは再起動する必要があることに注意してください。

10. インストレーション・プロシージャを終了します。

```
   Installation of DWMV_JA_JPU6 V1.2 completed at hh:mm

    Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY

    Creating installation data file: VMI$ROOT:[SYSUPD]DWMV_JA_JPU6012.VMI_DATA

        VMSINSTAL procedure done at hh:mm
```

VMSINSTAL コマンド行に指定したパラメータに応じて，* Products: プロンプトあるいは DCL プリンプト ($) が表示されます。* Products: が表示された場合は， Ctrl/Z を押すことにより DCL プロンプト ($) に戻ることができます。

VMSINSTAL はインストレーション中にプロセス・シンボル・テーブル内のエントリを削除あるいは変更します。このため，継続してインストレーション・アカウント (SYSTEM など) を使用する場合は，これらのシンボルを復元するために，一度ログアウトしてから再度ログインし直す必要があります。

3
インストレーション後の作業

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS をインストールした後，次の作業を行わなければなりません。

- DECwindows Motif ソフトウェアの再起動
- インストレーション検証プロシージャ (IVP) の実行

3.1 DECwindows Motif ソフトウェアの再起動

システムで DECwindows Motif をすでに起動している場合は，次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

システムでまだ DECwindows Motif を起動していない場合は，次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

3.2 インストレーション検証プロシージャ (IVP) の実行

インストレーションが完了し， DECwindows Motif を再起動した場合は，インストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行することを推奨します。次のコマンドを使用して，インストレーション検証プロシージャを実行します。

```
$ @SYS$COMMON:[SYSTEST]DECW$IVP_JA_JP.COM
```

3.3 キーボードの省略時の設定

ワークステーションで日本語キーボードを使用している場合は，キーボードの省略時の設定をすることができます。

設定方法は第 A.5.1 項を参照してください。

まず，キーボードを裏返してモデル番号を確認してください。システムにインストールされているキーマップは，スタイル・マネージャのキーボード，もしくはセッション・マネージャのキーボード設定のダイアログ・ボックス内のキーボード・リストに表示されます。この中から適当なものを選択し，DECW$DEFAULT_KEYBOARD_MAP に設定してください。

A

標準版 DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション

A.1 インストレーション前の準備

この章では，POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティまたは VMSINSTAL プロシージャを使用して，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールするために必要な準備と条件について説明します。必要な媒体および内容については，BOM (Bill of Materials) に指定されています。 BOM に記載されている情報と照合して，必ずキット内容を確認してください。万一，キットが破損していたり，必要な媒体がすべてそろっていない場合には，最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

注意

インストレーションを始める前に，『Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 リリース・ノート』をお読みください。オンライン・リリース・ノートが用意されています。リリース・ノートを参照する方法については下記を参照してください。

- POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用してソフトウェアをインストールする場合：第 A.2.2 項
- VMSINSTAL プロシージャを使用してソフトウェアをインストールする場合：第 A.3.2.5 項

この章の構成と内容は次のとおりです。

- 第 A.1.1 節, ライセンス登録
- 第 A.1.2 項, サポートされているハードウェア
- 第 A.1.3 項, インストレーション・プロシージャの前提条件

- 第 A.1.4 項, 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア
- 第 A.1.5 項, POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ用の必須 ECO
- 第 A.1.6 項, OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート
- 第 A.1.7 項, 設定したブックリーダ・ファイルの保管
- 第 A.1.8 節, インストレーション・プロシージャに必要な条件

A.1.1 ライセンス登録

ノードまたはクラスタ上に Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールして起動する前に，ライセンス管理機能 (LMF) を使用して，プロダクト・オーソライゼーション・キー (ライセンス PAK) を登録しなければなりません。ライセンスと媒体をあわせて注文した場合はライセンス PAK がキットに同梱されています。それ以外の場合は，ライセンスの注文に応じて別途提供されます。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを，すでにライセンス登録済みのノードあるいはクラスタにアップデートする場合は，ライセンス PAK の新規登録の必要はありません。

インストレーション検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアを使用する前に， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のライセンスを登録しておかなければなりません。

ライセンスを登録するには，システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら，ライセンス PAK のデータを入力してください。
- DCL のプロンプトで，ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して，LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスタの複数ノードで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を使用する場合は，このインストレーションの完了後，他のノードでもライセンスを登録してください。

ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は，『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

A.1.2 サポートされているハードウェア

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアは，サポートされているすべての Alpha プロセッサまたは VAX プロセッサにインストールすることができます。サポートされているハードウェアの一覧については，『Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェア仕様書』を参照してください。

A.1.3 インストレーション・プロシージャの前提条件

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールし，コンフィギュレーションを行う場合は，前提条件として，対応する OpenVMS オペレーティング・システム・ソフトウェア，十分なメモリ容量，ライセンスが必要です (ライセンス PAK の登録については，第 A.1.1 節を参照してください)。

DECwindows Motif ソフトウェアのインストレーションでは，次の対応関係に従って， POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティまたは VMSINSTAL プロシージャのいずれかを使用します。

オペレーティング・システム	インストールの方法
OpenVMS Alpha バージョン 6.2 (以降) OpenVMS VAX バージョン 6.2 (以降)	POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ
VMS VAX バージョン 5.5–2	VMSINSTAL プロシージャ

A.1.4 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアには，次のいずれかのオペレーティング・システムが必要です。

- OpenVMS Alpha バージョン 6.2， 7.1–2， 7.2–1，または 7.3
- OpenVMS VAX バージョン 6.2， 7.1， 7.2，または 7.3
- VMS VAX バージョン 5.5–2

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする前に，インストールするシステム上で，上記のいずれかのオペレーティング・システムが稼動されていなければなりません。稼動されていない場合，インストレーションは失敗します。

OpenVMS VAX システムには，最低 16MB のメモリが必要です。 32MB のメモリが装着されていることを推奨します。 OpenVMS Alpha システムには最低 64MB のメモリが必要です。少なくとも 128MB のメモリが装着されていることを推奨します。

OpenVMS オペレーティング・システムには， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をサポートする構成要素のサブセットが 2 つあります。 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを使用するには，以下の構成要素を含むバージョンの OpenVMS システムが稼動している必要があります。

- DECwindows Motif のトランスポートおよびベース・システム・サポート。

  このサポートは Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーション，および Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 アプリケーションの実行に必要です。 OpenVMS のインストレーション時にこのオプションのインストレーションを行うかどうか問い合わせるプロンプトが表示されます。

  OpenVMS のこのオプションがインストールされているかどうか確認するには，次のコマンドを入力してください。

```
$ DIR SYS$LIBRARY:DECW$TRANSPORT_COMMON.EXE
```

OpenVMS のインストレーション後に，DECwindows ベース・サポート・ファイルを追加する場合の手順については，第 A.5.3 項を参照してください。

- OpenVMS DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ，フォントおよびデバイス・ドライバ。 Alpha または VAX システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 アプリケーションその他の X11 アプリケーションを表示するために必要です。

  OpenVMS のインストレーション時に，このオプションのインストレーションを必要とするかどうか問い合わせるプロンプトを表示します。

  OpenVMS にこのオプションがインストールされているかどうか確認するには，次のコマンドを入力してください。

```
$ DIR SYS$SYSTEM:DECW$SERVER_MAIN.EXE
```

  システムに DECW$SERVER_MAIN.EXE ファイルがない場合は， Alpha および VAX システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 アプリケーションを表示することはできません。ただし，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 アプリケーションを実行して，他のハードウェア上で動作している DECwindows X11 ディスプレイ・サーバに表示することは可能です。 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーション・プロシージャで，ワークステーションのサポートなしにインストレーションを継続するかどうか問い合わせがあります。

  OpenVMS のインストレーション後に， DECwindows デバイス・サポート・ファイルおよび 75 dpi あるいは 100 dpi フォント・ファイルを追加する場合の手順については，第 A.5.3 項を参照してください。

注意

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバについての詳細は，稼動している OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンに対応したリリース・ノートおよびカバー・レターを参照してください。

A.1.5 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ用の必須 ECO

OpenVMS バージョン 6.2 または 7.1 システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする場合は，まず POLYCENTER ソフトウェア・インストール (PCSI) ユーティリティ用の ECO をインストールする必要があります。この ECO についての詳細は，『Guide to the Compaq DECwindows Motif for OpenVMS CD-ROM』を参照してください。 OpenVMS バージョン 7.2 以降には，オペレーティング・システム自体にこの機能が組み込まれています。したがって，OpenVMS バージョン 7.2 以降を使用している場合，この ECO を適用する必要はありません。

次は，OpenVMS Alpha V7.1 のシステムに PCSI ECO をインストールする例です (他のバージョンの OpenVMS にインストールする場合は，この例とはやや異なります)。

```
$ PRODUCT INSTALL VMS62TO71U2_PCSI

The following product has been selected:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0       Patch (maintenance update)

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0

* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0       DISK$1:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%
...10%
...40%
...70%
...80%
...90%
...100%
```

```
The following product has been installed:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0       Patch (maintenance update)
```

A.1.5.1 必須の PCSI ECO インストール後のアップグレード問題

必須の POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティ ECO をインストールすると，システムは，PCSI ユーティリティのこのバージョンで提供される新機能を使用するようになります。この新機能を利用するレイヤード製品がインストールされている場合，このユーティリティを古いバージョンに戻すことはできません。ソフトウェア製品データベース内に，このユーティリティの古いバージョンでは解釈できないレコードがあるため，制限が生じます。

PCSI ECO をインストールした後に DECwindows Motif をインストールし，その後 OpenVMSOpenVMS オペレーティング・システムに対してある種のアップグレードを行うと，制限が生じることになります。次の手順で，この問題が生じる状況を説明します。

1. OpenVMS V6.2，6.2–1H1，6.2–1H2，6.2–1H3，7.1，7.1–1H1，または 7.1–1H2 システム上に PCSI ECO キットをインストールします。
2. DECwindows Motif V1.2–6 ソフトウェアをインストールします。
3. OpenVMS V6.2，6.2–1H1，6.2–1H2，6.2–1H3，7.1，7.1–1H1，または 7.1–1H2 にアップグレード (または再インストール) します。

項目 3 に示した OpenVMS のいずれかのバージョンにアップグレードすると，次のいずれかのエラーで失敗します (または，製品データベースで他の PRODUCT コマンド操作を行うと失敗します)。

```
%SYSTEM-F-ACCVIO, access violation, ...
%PCSI-E-UNSDOCENC, unsupported product document encoding version
```

PCSI ECO および DECwindows Motif のインストール後にこの障害を回避するには，次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを使用して DECwindows Motif を削除します。

   ```
   $ PRODUCT REMOVE DWMOTIF
   ```

2. OpenVMS V6.2，6.2–1H1，6.2–1H2，6.2–1H3，7.1，7.1–1H1，または 7.1–1H2 にアップグレード (または再インストール) します。

3. PCSI ECO を再インストールします。
4. DECwindows Motif を再インストールします。

OpenVMS Alpha V7.2–1 以降または OpenVMS VAX V7.2 以降にアップグレードする場合には，この対処方法は必要ありません。これらのバージョン以降には，PCSI ECO で追加された新機能がすでに組み込まれています。

A.1.6 OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアで提供される X Window および OSF/Motif ライブラリは，V1.2 より前のバージョンに付属のライブラリとの互換性がありません。実行時の互換性は維持されていますが，OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI のプログラミング環境は，それよりあとの OSF/Motif リリース 1.2 のプログラミング環境との互換性はありません。

DECwindows Motif の旧バージョンで提供されていた XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 環境でのプログラミングは，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 製品ではサポートされていません。ただし，(Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーション前に) システムに存在する XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング・ファイルを保管するためのオプションがあります。これらのプログラミング・ファイルの保管を選択した場合，ファイルはサブディレクトリに移され，プログラミング用にアクセスできるようになります。具体的には，表 A–1 に示す各ディレクトリに[.DECW$113]というサブディレクトリが作成され，古いファイルが新しい[.DECW$113]サブディレクトリに移されます。

表 A–1 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ

ディレクトリ	内容	新しい位置
DECW$INCLUDE	C ヘッダ・ファイル	SYS$SYSROOT:[DECW$INCLUDE.DECW$113]
SYS$SYSTEM	UIL コンパイラ	SYS$SYSROOT:[SYSEXE.DECW$113]

(次ページに続く)

表 A–1 (続き) 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ

ディレクトリ	内容	新しい位置
SYS$LIBRARY	非 C 言語バインディング	SYS$SYSROOT:[SYSLIB.DECW$113]

旧プログラミング環境を保存する手順についての詳細は，第 A.3.2.7 項を参照してください。

注意

保存した環境を使用するための手順については，リリース・ノートの「プログラマ向けリリース・ノート」の章に説明があります。

A.1.7 設定したブックリーダ・ファイルの保管

インストレーション・プロシージャによって，次のファイルが新バージョンに置き換えられます。

SYS$SYSROOT:[DECW$BOOK]LIBRARY.DECW$BOOKSHELF

カスタマイズしたファイルを保管したい場合は， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする前に，別のディレクトリにコピーするか，名称を変更して削除されないようにします。

カスタマイズしたファイルを別のディレクトリにコピーする場合は，ディレクトリを作成して， DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルにグローバル・シンボルを定義します。

次の手順に従って， SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]という名前のブックリーダ用のディレクトリを作成します。

1. 次のようにディレクトリを作成し， WORLD の読み取りアクセスを指定します。

```
$ CREATE/DIRECTORY/PROTECTION=WORLD:R -
_$ SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]
```

2. 次のように LIBRARY.DECW$BOOKSHELF ファイルを新しいディレクトリにコピーします。

```
$ COPY SYS$SYSROOT:[DECW$BOOK]LIBRARY.DECW$BOOKSHELF -
_$ SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]*/LOG
```

3. SYS$MANAGER ディレクトリに DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM コマンド・ファイルが存在しない場合は，次のようにテンプレート・ファイルをコマンド・ファイルにコピーします。

```
$ COPY SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -
_$ SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM/LOG
```

4. DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルを編集して次の 1 行を追加し，グローバル・シンボルの DECW$BOOK がブックリーダのディレクトリを示すようにします。

```
$ DECW$BOOK == "SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]"
```

5. 製品のインストレーション後および DECwindows の起動後 (たとえば，システムのリブート後など) に手順 4 を実行した場合は，次のコマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

DECwindows Motif 環境の設定手順についての詳細は，『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

A.1.8 インストレーション・プロシージャに必要な条件

この節では，PCSI および VMSINSTAL インストレーション・プロシージャを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする際に必要な条件について説明します。

インストレーション・プロシージャで，以下の点がチェックされます。

- 適切な特権付きのアカウントにログインしているか (VMSINSTAL インストレーションのみ)。
- システムに他のユーザがログインしていないか。
- システム・アカウントに最低限必要なクォータとリミットであるか。
- ディスクに最低限必要なスペースがあるか。
- 最低限必要なシステム・パラメータ値であるか。

VMSINSTAL インストレーションに特に必要とされる条件についての詳細は，第 A.3.1 項を参照してください。

A.1.8.1 プロセス・アカウントのクォータ

インストレーション・プロシージャでは，インストールするアカウントに少なくとも表 A–2 に示されたクォータが必要となります。

表 A–2 インストールするアカウントのプロセス・クォータ

クォータ	Alpha 値	VAX 値
ASTLM	250	24
BIOLM	150	18
BYTLM	64,000	32,768
DIOLM	150	18
ENQLM	2,000	30
FILLM	100	20

OpenVMS AUTHORIZE ユーテリィティを使用して，利用者登録ファイル (UAF) 内のインストレーション・アカウントのプロセス・クォータの確認および変更を行います (サイトによっては，特定のアカウントあるいはユーザに対して，AUTHORIZE ユーティリティの使用を制限している場合があります)。たとえば，インストレーション・アカウント*account-name*の BYTLM クォータを変更するには，次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW account-name
UAF> MODIFY account-name /BYTLM = 32768
UAF> SHOW account-name
UAF> EXIT
$ LOGOUT
```

インストレーション・アカウントのクォータを変更した場合は，新しい値を有効にするために一度ログアウトした後に再度ログインしてください。以上で，インストレーションに進むことができます。

ユーザ・アカウント・クォータは SYS$SYSTEM:SYSUAF.DAT ファイルに保存されています。アカウント・クォータを変更する手順についての詳細は，『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

A.1.8.2 ディスク・スペース

表 A–3 を使用して，DECwindows Motif の構成要素をインストールするために必要な空きスペースがシステム・ディスクにあるかどうか確認します。ただし，すべての構成要素をインストールしない場合は，実際に使用するディスク・スペースはこれよりも少なくなります。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには，DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

インストレーション・プロシージャは，システム・ディスクの空きスペースをチェックします。空きスペースが十分でない場合は，次のようなオプションが提供されます。

- インストールするオプション・ファイルの数を減らすこと。
- VMSINSTAL インストレーションの場合，インストレーションをやり直し，一時的な代替作業デバイスとして使用する別のディスクを指定すること。代替作業デバイスの使用法については，第 A.3.1.2 項を参照してください。

- インストレーションを強制終了し，システム・ディスクの空きスペースを増やしてから，インストレーションを再度実行すること。
- ディスクの空きスペースが足りなくなる危険を前提として，継続してインストレーションを行うこと。

注意

インストール中に必要な空きスペースが不足すると，インストレーション・プロシージャは失敗します。

表 A–3 構成要素毎の所要ディスク・スペース (ブロック数)

構成要素	Alpha	VAX
ベース・キット[1]	65,818	81,891
ランタイム・サポート	該当なし	66,021
CDA サポート	該当なし	3,650
Motif アプリケーション	該当なし	12,200
デスクトップ・サポート	71,066[2]	該当なし
New Desktop	47,314	該当なし
DECwindows デスクトップ	20,952	該当なし
Manual pages for New Desktop	2,800	該当なし
プログラミング環境	63,192[3]	13,500[2]
C, C++	19,916	8,190
FORTRAN	14,792	2,187
Pascal	15,656	3,123

[1]この数字は，ベース・キットの全ファイルを含みます。 Alpha システムの場合，表に記載の構成要素がベース・キットにかならず同梱されています。

[2]この数字は，すべてのデスクトップ・サポートを含みます。小項目は，各デスクトップ・オプション毎の所要ブロック数です。

[3]この数字は，すべてのプログラミング言語サポートを含みます。小項目に，各言語で実際に必要なブロック数が示されています。

(次ページに続く)

表 A–3 (続き) 構成要素毎の所要ディスク・スペース (ブロック数)

構成要素	Alpha	VAX
New Desktop	12,828	該当なし
サンプル・プログラム	51,652[4]	12,672
サウンド・サンプル	14,220	該当なし
サンプル・プログラム	23,440	12,672
New Desktop サンプル	13,992	該当なし
変換イメージ・サポート	39,632	該当なし
NCSA Mosaic	該当なし	1,200[5]
合計ディスク・スペース必須:	291,360	109,263

[4]この数字は，すべてのサンプル・プログラムを含みます。小項目に，各サンプル・プログラムに必要な実際のブロック数が示されています。

[5]NCSA Mosaic は OpenVMS VAX 5.5–2 システムでのみ使用できます。

VMSINSTAL インストレーションの場合，代替作業デバイスの使用法については第 A.3.1.2 項を参照してください。 DFS (Distributed File Service) の使用法については，第 A.3.1.3 項を参照してください。

A.1.8.3 システム・パラメータ

表 A–4 は，インストレーションに最低限必要なシステム・パラメータ値の一覧です。ご利用のプログラムとアプリケーションの種類に応じて，一部の設定について表の値より高い値が必要となる場合もあります。

表 A–4 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値	VAX 値
GBLSECTIONS	600[1]	420[1]

[1]グローバル・ページおよびグローバル・セクションを使用するアプリケーションをすでにインストールしてある場合は，表より高いパラメータ値が必要となることがあります。システムをブートすると， DECWindows Motif の起動時にシステムの未使用の GBLPAGES および GBLSECTIONS の値がチェックされます。 GBLPAGES および GBLSECTIONS に十分な空きがない場合は， DECwindows Motif の起動プロシージャが，警告と各パラメータの推奨値を出力します。

(次ページに続く)

表 A–4 (続き) 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値	VAX 値
GBLPAGES	150,000[1]	62,000[1]
GBLPAGFIL	1,024	6,024
SWPOUTPGCNT	512	500
MAXBUF	8,192	2,048
VIRTUALPAGECNT	—	50,000
CHANNELCNT	255	255
PROCSECTCNT	64	40
PQL_DPGFLQUOTA	—	32,768
PQL_MPGFLQUOTA	32,768	—
PQL_MASTLM	100	100
PQL_MBIOLM	100	100
PQL_MBYTLM	100,000	48,000
PQL_MDIOLM	100	100
PQL_MENQLM	300	200
PQL_MFILLM	100	100
PQL_MPRCLM	10	8
PQL_MWSDEFAULT	1,024	512
PQL_MWSQUOTA	2,048	1,024
PQL_MWSEXTENT	8,192	2,048
CLISYMTBL	512	256
GH_RES_CODE	1,024[2]	—
IMGREG_PAGES	2,000[2]	—

[1]グローバル・ページおよびグローバル・セクションを使用するアプリケーションをすでにインストールしてある場合は，表より高いパラメータ値が必要となることがあります。システムをブートすると， DECWindows Motif の起動時にシステムの未使用の GBLPAGES および GBLSECTIONS の値がチェックされます。 GBLPAGES および GBLSECTIONS に十分な空きがない場合は， DECwindows Motif の起動プロシージャが，警告と各パラメータの推奨値を出力します。

[2]このシステム・パラメータは， OpenVMS Alpha V6.2 以降のシステムでのみ使用可能です。

(次ページに続く)

表 A–4 (続き)　最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値	VAX 値
WINDOW_SYSTEM	1	1
NPAGEDYN	1,998,848	999,936
PAGEDYN	600,000	400,000
WSMAX	12,000	4,096

警告

システムに，インストレーションに必要な量のグローバル・ページおよびグローバル・セクションがあることを確認しない場合， DCL テーブルが壊れる可能性があります。

A.1.8.4　追加システム保守プロシージャ

この項では，システム・ジェネレーション・ユーティリティ (SYSGEN) および AUTOGEN ユーティリティを使用して， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーション用にシステムを準備する方法を説明します。 AUTOGEN ユーティリティはシステム構成データを使用して，システム・パラメータを自動的に設定します。

注意

DECwindows Motif のインストレーション・プロシージャおよびスタートアップ・プロシージャは，必要なシステム・パラメータ値を自動的にチェックして，適切な値を AUTOGEN に渡します。したがって，ほとんどの場合，マニュアル操作によるパラメータ値のチェックおよび修正の必要はありません。

A.1.8.4.1　システム・パラメータ値のチェック

システム・パラメータ値をチェックするには， DCL プロンプトで次のコマンドを入力して SYSGEN ユーティリティを起動してください。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN>
```

SYSGEN プロンプトで，SHOW コマンドを入力してシステム・パラメータ値を表示してください。次のコマンドで，MAXBUF システム・パラメータ値を表示することができます。

```
SYSGEN> SHOW MAXBUF
```

SHOW コマンドでパラメータをチェックした後，SYSGEN プロンプトで EXIT コマンドを入力し，DCL レベルに戻ります。

現在の値が表 A–4 に指定された値よりも小さい場合は，システム・パラメータ値を大きくしてください。第 A.1.8.4.4 項に，AUTOGEN ユーティリティを使用してパラメータ値を大きくする方法が説明されています。

A.1.8.4.2 未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの量を計算する

システム・パラメータが表 A–4 に指定された最低値以上であれば，製品のインストレーションを続行することができます。ただし，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールして実行するためには，DECwindows Motif および SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE 用に十分な未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションが必要です。

まず最初に，システムの未使用のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの量と，新しいバージョンの SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE を再インストールするために必要な量を確認します。続いて，必要に応じて，AUTOGEN ユーティリティを使用して GBLPAGES および GBLSECTIONS システム・パラメータ値を大きくします。

次の DCL コマンドを入力して，SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE に必要なグローバル・ページ数を調べます。

```
$ DIR/SIZE SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE
```

このコマンドによって，SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE のファイル・サイズ (ブロック単位) が表示されます。この数をファイルに必要なグローバル・ページ数の目安として使用します。

F$GETSYI レキシカル関数を使用して WRITE コマンドを入力し，連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの数を確認します。ご使用の端末からこの情報を得る方法の例を次に示します (SYS$OUTPUT の省略時の設定)。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("CONTIG_GBLPAGES") Return
15848
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS") Return
24
```

表 A–5 を参照して，連続する未使用のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの量が十分かどうか確認します。その量がインストレーションを続行するのに十分でない場合は，第 A.1.8.4.4 項を参照してください。 AUTOGEN ユーティリティを使用してこれらの値を大きくする方法を説明してあります。

表 A–5 連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの必要量

DECwindows Motif が稼動している場合		
システム・リソース	Alpha 値	VAX 値
CONTIG_GBLPAGES	12,000	6,000
FREE_GBLSECTS	20	20

DECwindows Motif が稼動していない場合		
システム・リソース	Alpha 値	VAX 値
CONTIG_GBLPAGES	92,000	47,000
FREE_GBLSECTS	260	130

A.1.8.4.3 ページ・ファイルのサイズの設定　許容範囲のパフォーマンスで DECwindows Motif を実行できるように，ページ・ファイルのサイズには，システムの仮想メモリを扱うことができるだけの十分な大きさが必要です。ページ・ファイルの最適サイズは，システムに搭載している物理メモリ量，アプリケーションの負荷など，各種要因に依存します。

一般的な原則として，ページ・ファイルのサイズは，OpenVMS Alpha システムで 75,000 ブロック，OpenVMS VAX システムで 50,000 ブロック以上としてください。ただし，多数のアプリケーションを実行するシステムでは，このサイズは小さすぎる場合があります。負荷の重いシステムの場合は，ページ・ファイルのサイズを 2 倍あるいはそれ以上に増やすことで，パフォーマンスが大幅に改善されることもあります。

通常は，FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行し，システムの使用パターンに基づいたページ・ファイルのサイズを計算させます。FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行するには，次の DCL コマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN SAVPARAMS REBOOT FEEDBACK
```

また，SYSGEN ユーティリティを実行して，あるいは SYS$UPDATE:SWAPFILES.COM コマンド・プロシージャを使用して，ページ・ファイルのサイズを増やすこともできます。

ページ・ファイルのサイズの設定手順および AUTOGEN の実行手順についての詳細は，『Guide to Setting Up an OpenVMS System』を参照してください。パフォーマンスのチューニング全般については，『Guide to OpenVMS Performance Guide』を参照してください。

A.1.8.4.4 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更

AUTOGEN ユーティリティを使用して，システム・パラメータを変更します。AUTOGEN は，ユーザがマニュアル操作でリセットした値に対応するパラメータの値を自動的に調整します。AUTOGEN を使用してシステム・パラメータを変更するには，SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイルを編集してください。

このファイルに入っているパラメータ値を変更するには，そのパラメータに対応する現在値を削除し，新しい値を入力してください。

新しいパラメータを追加する場合は，次に示す例のようにファイルに 1 行追加して，パラメータ名とその値を書き込んでください。

```
MIN_MAXBUF = 8192
```

グローバル・ページおよびグローバル・セクションなどのパラメータの現在の値に特定の値を追加する場合は，ADD_を使用します。次の例では，グローバル・ページの値に 30,000 を追加します。

```
ADD_GBLPAGES = 30000
```

表 A–6 は，値の追加が必要なシステム・パラメータの一覧です。

表 A–6　ADD_オプションに指定するシステム・パラメータの推奨値

システム・パラメータ	Alpha 追加分	VAX 追加分
SYSMWCNT	—	235
GBLSECTIONS	280	140
GBLPAGES	92,000	30,000
GBLPAGFIL	768	5,000
NPAGEDYN	300,000	500,000
PAGEDYN	180,000	100,000

変更をすべて入力したらファイルの編集を終了し，AUTOGEN ユーティリティを実行してシステム・パラメータを再度計算します。次のコマンドを入力して，システム・パラメータを再度計算し，システムを再ブートします。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

REBOOT を指定すると，AUTOGEN ユーティリティが自動的にシステムをシャットダウンした後，システムを再ブートします。シャットダウン中にシステムにログインしたユーザは，シャットダウン時に自動的にシステムから切断されます。自動再ブートにより，新しいパラメータ値が有効となります。

AUTOGEN の使用法についての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの項および『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』の AUTOGEN の項を参照してください。

A.1.8.5 システム・ディスクのバックアップ

ソフトウェアをインストールする場合は，その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことを推奨します。インストレーション開始時に，インストレーション・プロシージャから，システム・ディスクのバックアップを行ってあるかどうか問い合わせがあります。通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は，『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』のバックアップ・ユーティリティの項を参照してください。

A.1.8.6 他のユーザへの通知

インストレーションの前に，特定の製品をインストールしようとしていること，およびインストレーション中はログアウトしなければならないことをシステムにログインしているユーザに通知します。次の手順に従って，他にログインしているユーザがいないことを確認してください。

1. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して，現在ログインしている他のユーザにログアウトするよう通知します。

```
$ REPLY/ALL/BELL/SHUTDOWN "Log out for the installation of -
_$ Compaq DECwindows Motif for OpenVMS, Version 1.2--6 please..."
```

2. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して，非特権ユーザがシステムにログインできないようにします。

```
$ SET LOGINS/INTERACTIVE=0
```

可能な場合は，システムに再度ログインできるまでの予想時間をユーザに通知するようにしてください。

A.2 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティの使用法

この章では， Alpha および VAX システムで， POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを使用して， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする方法について説明します。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 製品では，DIGITAL コマンド言語 (DCL) インタフェースを使用した PCSI をサポートしています。

この章の構成および内容は次のとおりです。

- 第 A.2.1 項, ヘルプの使用法
- 第 A.2.2 項, 製品リリース・ノートの抽出と印刷
- 第 A.2.3 項, ソフトウェアのインストレーション
- 第 A.2.4 項, エラーからの回復

システムにソフトウェア製品をインストールし，管理する方法および手順についての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。『OpenVMS システム管理者マニュアル』には，インストレーションを開始する前の準備に関する情報のほか，次のような各種トピックについての有用な情報が提供されています。

- インストールした製品の削除
- インストールした製品の設定変更
- 新しいロケーションへのソフトウェア・キットのコピー
- 製品情報の検索
- PCSI ユーティリティと VMSINSTAL プロシージャの違い

必要とされるソフトウェアおよびライセンスについての情報は，第 A.1.4 項を参照してください。

注意

VMS VAX バージョン 5.5–2 システムに DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする場合は，VMSINSTAL ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用します。

警告

システム・ディスクのバックアップ・コピーがない場合は，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールしないようにしてください。 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインス

トールする前に，(Alpha または VAX プロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』に記載されている手順で) システム・ディスクのバックアップを行ってください。

インストレーション・プロシージャを開始する前に，第 A.1 節に目を通し，インストレーションの前提条件と必要条件を確認してください。

A.2.1 ヘルプの使用法

インストレーション・ユーティリティだけでなく，すべての PRODUCT コマンドおよび修飾子に関するオンライン・ヘルプを利用することができます。具体的なコマンドに関するヘルプを呼び出すには，DCL プロンプトで HELP コマンドの後にそのコマンド名と製品名を入力してください。

PRODUCT コマンドおよび修飾子についての詳細は，次のドキュメントを参照してください。

- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』
- 『OpenVMS DCL ディクショナリ』

A.2.2 製品リリース・ノートの抽出と印刷

インストレーション・プロシージャを開始する前に，製品のリリース・ノートに目を通してください。『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』のコピーを抽出するには，PCSI キットの場所 (デバイス名とディレクトリ) を示すように PCSI$SOURCE を定義します。続いて，DCL プロンプトで，PRODUCT EXTRACT RELEASE NOTES コマンドを入力し，続いて製品名である DWMOTIF を入力します。

次の例を参照してください。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE DKA400:[PCSI_ALPHA_DWMOTIF126]
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES DWMOTIF
```

ファイルに抽出したリリース・ノートを印刷することができます。リリース・ノートを抽出するために，製品をインストールする必要はありません。

『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』は，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 CD–ROM のドキュメント・ディレクトリに HTML と ASCII (.txt) 形式で収録されています。リリース・ノートその他の DECwindows Motif ドキュメントへのアクセス方法についての詳細は，『Guide to the Compaq DECwindows Motif for OpenVMS CD-ROM』を参照してください。

A.2.3 ソフトウェアのインストレーション

重要

OpenVMS バージョン 6.2 または 7.1 システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする場合は，DECwindows Motif をインストールする前に，POLYCENTER ソフトウェア・インストール (PCSI) ユーティリティ用の ECO をインストールする必要があります。この ECO についての詳細は，『Guide to the Compaq DECwindows Motif for OpenVMS CD-ROM』を参照してください。また，第 A.1.5 項を参照してください。

以降の各項で，POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする手順について説明します。 Alpha および VAX システムのいずれでも手順はほぼ同じです。

アカウントのクォータ，ディスク・スペース，システム・パラメータについては，第 A.1 節を参照してください。

製品のインストレーション中に PCSI ユーティリティが問い合わせる質問についての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。問い合わせが表示された場合は，たとえば次のようにして応答します。

- 値を入力し，Return キーを押してオプションを選択します。
- Return キーを押して，省略時の値を選択します。

- 応答を確認します。

  オプションを選択するか，省略時の値を選択して質問に応答すると，インストレーション・ユーティリティは応答の内容を要約して画面に表示します。

  この時点で，入力した内容に問題がないか，このままインストレーションを継続してもよいか問い合わせがあります。入力した応答を変更する場合は，NO と入力して Return キーを押します。再度応答を入力するか，NO と入力してインストレーション・ユーティリティを終了することもできます。

- Ctrl/Y でインストレーションを中止します。

  このオプションはできるだけ使用しないようにしてください。

A.2.3.1 インストレーションの開始

POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを起動するには，DCL プロンプトに対して次のいずれかのコマンドを入力します。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE device:[PCSI_ALPHA_DWMOTIF126]
```

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE device:[PCSI_VAX_DWMOTIF126]
```

ここで，*device*はディストリビューション CD-ROM がマウントされているデバイス名です。

次に，PCSI ユーティリティを呼び出します。

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF
```

A.2.3.2 インストレーション・ダイアログ

インストレーション・ダイアログでは，最初に PCSI がこれからインストールしようとしている製品名を表示します。インストレーションを継続するか問い合わせがあります。続いて，製品名，著作権情報，プロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) 情報が表示されます。

```
The following product has been selected:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6              Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha, Version 1.2-6 is based on
    Release 5 (R5) of the MIT X11 Window System and OSF/Motif
    Version 1.2.3.

    DECwindows Motif V1.2-6 provides both runtime support and development
    support for the X Window system. Runtime and development support is
    provided for MIT X11 Release 5 and OSF/Motif Version 1.2.3. Runtime
    only support is provided for OSF/Motif Version 1.1.3.

    Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    COMPAQ and the Compaq logo Registered in U.S. Patent and Trademark
    Office.

    Motif is a registered trademark and The Open Group is a trademark
    of The Open Group in the United States and/or other countries.

    Confidential computer software. Valid license from Compaq or
    authorized sublicensor required for possession, use , or copying.
    Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software,
    Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial
    Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard
    commercial license.


    Compaq Computer Corporation

    This software product is sold by Compaq Computer Corporation.

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

    This software is furnished under the licensing provisions of Compaq
    Computer Corporation's Standard Terms and Conditions. For more in-
    formation about Compaq's licensing terms and policies, contact your
    local Compaq office.
```

A.2.3.2.1 GBLPAGES および CLISYMTBL の値について十分なクォータの確認

注意

CD–ROM から OpenVMS オペレーティング・システムと DECwindows を同時にインストールする場合は，システム値のチェックを行わないでインストレーション・プロシージャが進行します。システム値チェックは，インストレーション完了後に行われれます。 (第 A.2.5 項を参照してください)。

GBLPAGES, CLISYMTBL， NPAGEDYN システム・パラメータに十分な値が割り当てられているかどうか，インストレーション・コマンド・プロシージャでチェックされます。

- GBLPAGES システム・パラメータの最小値は， OpenVMS Alpha システムが 150,000， OpenVMS VAX システムは 62,000 です。
- CLISYMTBL システム・パラメータの最小値は， OpenVMS Alpha システムが 512， OpenVMS VAX システムは 256 です。
- NPAGEDYN システム・パラメータの最小値は， OpenVMS Alpha システムが 1,998,848， OpenVMS VAX システムは 999,936 です。

システム値が十分であれば，インストレーションがそのまま進行します。値が十分でない場合，インストレーションは中止され， AUTOGEN を実行したあとに，インストレーションを再開するよう求められます。 OpenVMS Alpha システムの場合は，次のようなメッセージが画面に表示されます。

```
Checking values of system parameters...

%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 120000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter NPAGEDYN is 1294336, should be at least 1998848
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter CLISYMTBL is 265, should be at least 512

  The installation procedure has determined that some system parameter values
  require modification to install the DECwindows Motif Version 1.2-6 for
  OpenVMS software.

  Please type the following command to run AUTOGEN and reboot your system
  before restarting the DECwindows installation.  This will set the system
  parameters to appropriate values for running DECwindows Motif V1.2-6.

        @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

```
The DECwindows installation is being terminated.

Please run AUTOGEN and restart the installation.

%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

OpenVMS VAX システムでも同様のメッセージが表示されます。

A.2.3.2.2 AUTOGEN の実行

インストレーション中に，AUTOGEN を実行してシステム値を訂正するよう求められた場合は，次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

AUTOGEN が実行され，次の例のようなログが生成されます。

```
%AUTOGEN-I-BEGIN, GETDATA phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE,  Previous contents of SYS$SYSTEM:CLU$PARAMS.DAT have
  been copied to SYS$SYSTEM:CLU$PARAMS.OLD.  You may wish to purge
  SYS$SYSTEM:CLU$PARAMS.OLD.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYS$SYSTEM:PARAMS.DAT has been created.
        You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GETDATA phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYS$MANAGER:VMSIMAGES.DAT has been created.
        You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYS$SYSTEM:SETPARAMS.DAT has been created.
        You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GENPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENFILES phase is beginning.

%AUTOGEN-I-REPORT, AUTOGEN has produced some informational messages which
        have been stored in the file SYS$SYSTEM:AGEN$PARAMS.REPORT.  You may
        wish to review the information in that file.

%AUTOGEN-I-END, GENFILES phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, SETPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-SYSGEN, parameters modified
%AUTOGEN-I-END, SETPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, REBOOT phase is beginning.

The system is shutting down to allow the system to boot with the
generated site-specific parameters and installed images.
```

```
The system will automatically reboot after the shutdown and the
upgrade will be complete.

        SHUTDOWN -- Perform an Orderly System Shutdown
                    on node MYNODE
```

インストレーションを再開することができます (第 A.2.3.1 項を参照してください)。

A.2.3.2.3 プログラミング環境の保存　インストレーション中に，OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境がシステムに存在するかどうかチェックされます。すでに存在する場合は次の情報が表示され，OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境を保存するかどうか問い合わせがあります。

```
The DECwindows Motif programming environment was installed with a
previous version of this kit. This environment is incompatible with the
OSF/Motif Release 1.2 environment provided with DECwindows Motif Version
1.2-6. The XUI programming environment is also not included in
DECwindows Motif Version 1.2-6.

If you intend to continue developing programs for XUI or OSF/Motif
Release 1.1.3, then save this environment.  Please refer to the
installation guide for more details and information on accessing these
files in their new location.

If you do not choose to save the XUI and OSF/Motif Release 1.1.3
programming environment, those files will be removed from the system
disk.

Save the OSF/Motif Release 1.1.3 and XUI programming environment?
```

Yes と応答して Return キーを押すと，OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング環境が保存されます。サブディレクトリ[.DECW$113]が作成され，プログラミング環境をサポートするファイルがこのサブディレクトリに移動されます。

No と応答して Return キーを押すと，ファイルは削除されます。

OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境に関連するファイルへのアクセスについての詳細は，第 A.1.6 項を参照してください。

OpenVMS オペレーティング・システムと DECwindows を同時にインストールまたはアップグレードする場合は，インストレーションのこの部分は該当しません。

A.2.3.2.4 省略時のインストレーション　次に，省略時のインストレーションを希望するかどうか問い合わせがあります。以前に DECwindows Motif をインストールしていないシステムの場合は，使用しているハードウェア・プラットフォームに該当するすべてのオプションが自動的にインストールされます。以前に DECwindows Motif をインストールしているシステムの場合は，以前のインストールで選択されたすべてのオプションが自動的にインストールされます。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
```

以降の部分は， No と応答した場合の手順について説明します。

A.2.3.2.5 デスクトップの選択についての質問 (Alpha のみ)　OpenVMS Alpha システムの場合には，インストレーションのこの段階で， New Desktop についての情報が表示され， New Desktop を省略時のデスクトップにするかどうか問い合わせがあります。

```
Install New Desktop

The New Desktop is a graphical user interface that is derived from the
Common Desktop Environment (CDE).  It offers the following features not
available with the traditional DECwindows desktop:

    o Multiple workspaces for greater flexibility in managing windows on
      the screen.

    o An icon-based File Manager to make it easier to manipulate files
      from the graphical user interface.

    o Enhanced support for the drag-and-drop feature, which is fully
      supported in the new File Manager and Application Manager
      applications.

    o New Image Viewer and Icon Editor applications.

Both the New Desktop and the DECwindows desktop provide the same underlying
X and Motif libraries and the same DECterm, Bookreader, Mail, and Calendar
applications.

Install New Desktop [YES]

    Install Manual (reference) pages for the New Desktop
```

```
    The manual pages provide online help text for New Desktop
    functions. If installed they can be viewed using the man
    page viewer from the Application Manager.

    Install Manual (reference) pages for the New Desktop [YES]

    Make the New Desktop the default desktop [YES]

Install traditional DECwindows Desktop

The traditional DECwindows Desktop is that provided since Version 1.2 of
DECwindows. If both new and traditional desktops are installed the user
can select which to run when logging in.

Install traditional DECwindows Desktop [YES]
```

インストレーション終了後にデスクトップの選択を変更する手順については，第A.4.4 項を参照してください。

A.2.3.2.6 プログラミング言語サポート・オプション　次に，どのプログラミング言語をインストールするか，プログラミング・サンプルをインストールするかどうか問い合わせがあります。

OpenVMS Alpha システムの場合は，次のダイアログが表示されます。

```
    Programming Support for the C Language

    Headers and related files to support programs in C that will use the
    DECwindows libraries.

    Programming Support for the C Language [YES]

    Programming Support for the Pascal Language

    Include files to support programs in Pascal that will use the
    DECwindows libraries.

    Programming Support for the Pascal Language [YES]

    Programming Support for the FORTRAN Language

    Include files to support programs in FORTRAN that will use the
    DECwindows libraries.

    Programming Support for the FORTRAN Language [YES]

    Programming Support for the New Desktop
```

```
Headers and related files to support programs in C that will use the
New Desktop widgets.

Programming Support for the New Desktop [YES]

Programming examples

Examples of programming to use the various libraries.

Programming examples [YES]

Do you want all the defaults for the subitems? [YES] no

    Sound example files

    Sample sound files that can be used with DECsound.

    Sound example files [YES]

    Programming examples for DECwindows

    Examples, in various programming languages, of using the DECwindows and
    standard widgets and libraries.

    Programming examples for DECwindows [YES]

    Programming examples for the New Desktop

    Examples, in C, of using the new widgets provided with the New Desktop.

    Programming examples for the New Desktop [YES]
```

OpenVMS VAX システムの場合は，次のダイアログが表示されます。

```
DECwindows Motif runtime support files [YES]

Programming Support for the C Language

Headers and related files to support programs in C that will use the
DECwindows libraries.

Programming Support for the C Language [YES]

Programming Support for the Pascal Language

Include files to support programs in Pascal that will use the
DECwindows libraries.

Programming Support for the Pascal Language [YES]
```

```
Programming Support for the FORTRAN Language

Include files to support programs in FORTRAN that will use the
DECwindows libraries.

Programming Support for the FORTRAN Language [YES]

Programming examples [YES]
```

A.2.3.2.7 変換イメージのサポート

本バージョンでは，TIS (Translated Image Support) をインストールするように求めるプロンプトが表示されます。これは，VAX プログラムが DECwindows Motif for OpenVMS Alpha 環境で動作できるようにするものです。TIS サポートは，従来の DECwindows デスクトップ環境でのみ使用できます。

```
Translated Image Support

Translated image support allows programs translated from the VAX
enviroment to work in the Alpha environment with the DECwindows
libraries. Translated image support is not available for the New Desktop.

Translated Image Support [YES]
```

A.2.3.2.8 言語バリアントについての注意

ここで，言語バリアントのアップデートについての警告がダイアログに表示されます。かならず，DECwindows Motif バージョン 1.2–6 をインストールしてから，使用したいすべての言語についての DECwindows Motif バージョン 1.2–6 の言語バリアントをインストールするようにしてください。

```
If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

If you have a language variant of DECwindows Motif installed then you
must upgrade to the version for DECwindows Motif Version 1.2-6 after
completing this installation and before rebooting the system. A failure
to do so could prevent DECwindows from starting.

If there is no local language variant upgrade available for DECwindows Motif
Version 1.2-6 then you should remove the local language variant before
installing DECwindows Motif Version 1.2-6.

Do you want to continue? [YES]
```

A.2.3.2.9 インストレーション・オプションの確認　インストレーション・ダイアログで選択したオプションを確認するかどうか問い合わせがあります。

```
Do you want to review the options? [NO] y

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif
    Install New Desktop: YES
      Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
      Make the New Desktop the default desktop: YES
    Install traditional DECwindows Desktop: YES
    Programming Support for the C Language: YES
    Programming Support for the Pascal Language: YES
    Programming Support for the FORTRAN Language: YES
    Programming Support for the New Desktop: YES
    Programming examples: YES
      Sound example files: YES
      Programming examples for DECwindows: YES
      Programming examples for the New Desktop: YES
    Translated Image Support: YES

Are you satisfied with these options? [YES]
```

A.2.3.2.10 実行ダイアログ　この時点で，インストレーション・ダイアログのすべての問い合わせに答えたことになります。ここから実行段階に入ります。まず，インストールあるいは削除するすべての製品名が表示されます。インストレーションの進行状況が示されます。

注意

実行段階では，DECwindows Motif サポート・ファイルのチェックが行われます。これらのファイルが使用できない場合，処理を継続するかどうかの問い合わせがあります。詳細については，第 A.2.3.2.11 項を参照してください。

```
Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             DISK$2:[VMS$COMMON.]
The following product will be removed from destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5             DISK$2:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%
```

A.2.3.2.11 DECwindows Motif サポート・ファイルの確認

インストレーションのこの段階で，DECwindows Motif アプリケーションおよび実行時サポート・ファイルがオペレーティング・システムにインストールされていることがチェックされます (DECwindows Motif ソフトウェアの実行に必要なトランスポート・ファイル，フォント・ファイルなどです)。

```
**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****
```

必要なファイルがインストールされていない場合，OpenVMS VAX システムでは，次のメッセージが表示されます。

```
The DECwindows Motif application and run-time support files have not been
installed.

You can use the DECwindows tailoring facility to tailor on the device
support files and the 75DPI and/or the 100DPI font files using the
DECwindows save sets which are shipped with the OpenVMS kit as follows:

   $ RUN SYS$UPDATE:DECW$TAILOR

The installation of DECwindows Motif cannot continue.
```

OpenVMS Alpha システムでは，必要なファイルがインストールされていない場合は常に，ファイルがインストールされます。

次に，システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用するために必要なサポート・ファイルがインストールされているかチェックされます。サポート・ファイルがインストールされていれば，次のメッセージが表示されます。

```
**** DECwindows device support files DETECTED ****
```

OpenVMS VAX システムで，ファイルがインストールされていない場合，システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用できないことを通知する次の警告メッセージが表示されます。

```
The DECwindows device support files for using this machine as a workstation
or as a boot node for workstations have not been installed.

You can use the DECwindows tailoring facility to tailor on the device
support files and the 75DPI and/or the 100DPI font files using the
DECwindows save sets, which are shipped with the OpenVMS kit, as follows:

  $ RUN SYS$UPDATE:DECW$TAILOR
```

OpenVMS Alpha システムで，ファイルがインストールされていない場合も，システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用できないことを通知する次の警告メッセージが表示されます。

```
The DECwindows device support files for using this machine as a workstation
or as a boot node for workstations have not been installed.

You can use the POLYCENTER Software Installation utility to change the
options selected when the OpenVMS Alpha software was installed.
See the POLYCENTER Software Installation Utility User's Guide for more
information. To add the support files and the 75DPI and/or the 100DPI font
files using the DECwindows save sets which are shipped with the OpenVMS
kit, use the PRODUCT RECONFIGURE command as follows:

  $ PRODUCT RECONFIGURE VMS

You should add the "Support for DECwindows" subclass in the Utilities
class.
```

いずれのシステムでも，次のような問い合わせがあります。

```
Do you wish to continue with this installation without the workstation support?
```

No (省略時の値) と応答して Return キーを押すと，インストレーションは中止します。必要なサポート・ファイルを追加する手順については，第 A.5.3 項を参照してください。必要なサポート・ファイルを追加した後，インストレーションを再開します。

Yes と応答して Return キーを押すと，インストレーションがそのまま進行します。

OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows を同時にインストールまたはアップグレードする場合は，インストレーションのこの部分は該当しません。

A.2.3.2.12 インストレーションの最終メッセージの確認　インストレーションが無事完了すると，インストールまたは削除された製品のリストが表示されます。最後に，DECwindows Motif 製品のインストレーション完了を通知する最終メッセージが表示されます。

```
...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6              Layered Product
The following product has been removed:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5              Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    System reboot will be required following upgrade of language variants.

    A system reboot will be required to install the new DECwindow Motif
    images. If this is a new installation you should execute AUTOGEN
    using the following command:

            $ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK

    This command adjusts your system parameters and reboots the system.

    If you wish to use DECwindows with any language other than English,
    install the appropriate DECwindows Motif Version 1.2-6 language
    variant product before using AUTOGEN or rebooting the system.


    Installation Verification Procedure can be run after reboot.

    Run the Installation Verification Procedure (IVP) after the installation
    is completed and the system is rebooted. The IVP is located in the
    following directory: SYS$TEST:DECW$IVP.COM.
```

A.2.4　エラーからの回復

インストレーション中に，以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。
- インストレーションに必要なクォータが不足している場合。
- インストレーション・ユーティリティに必要なプロセス・クォータが十分でない場合。
- OpenVMS のヘルプ・ライブラリが現在使用中である場合。

これらの状態により発生したエラー・メッセージの説明については，「まえがき」の「関連ドキュメント」に示したドキュメントを参照してください。これらのドキュメントにエラーの分析と対処方法が示されています。

なんらかの理由によりインストレーションに失敗した場合，POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティは，次のようなメッセージを表示します。

```
%PCSIUI-INSFAIL, The installation of DECwindows Motif Version 1.2-6 for
OpenVMS has failed.
```

インストレーションに失敗した場合は，問題を解決してからインストレーションを再度実行してください。

A.2.5　インストレーション後のパラメータの調整

CD–ROM から OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows を同時にインストールまたはアップグレードした場合は，この時点でシステム・パラメータ値がチェックされます。

注意

DECwindows の新規インストレーションの場合は，このメッセージは表示されません。

インストレーションが正常に完了した場合は，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 の起動時に次のようなメッセージが表示されます。

```
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 120000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, Free GBLPAGES is 75040 should be at least 92000
%DECW-W_BADVALUE, SYSGEN parameter CLISYMTBL is 256, should be at least 512
Some SYSGEN parameters must be reset for DECwindows to start. If you type
YES, AUTOGEN will change these parameters and reboot your system. If you type
NO, AUTOGEN will not be run or cause a reboot but DECwindows will not start.
Do you want the system to run AUTOGEN for you [YES]
```

ここで，RETURN キーを押してください。自動的に AUTOGEN を実行してシステム・パラメータを調整し，システムを再ブートした後に DECwindows のログイン画面が表示されます。

A.3 VMSINSTAL プロシージャの使用法 (OpenVMS VAX V5.5–2 のみ)

この章では VMSINSTAL プロシージャを使用して OpenVMS VAX V5.5–2 システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする方法を説明します。インストレーションの方法を順を追って説明するほか，エラーからの回復およびリリース・ノートへのアクセス方法についても紹介します。

注意

VMSINSTAL インストレーション・プロシージャは，OpenVMS VAX V5.5–2 システム専用です。 OpenVMS V6.2，OpenVMS V7.1 には使用できません。これらの OpenVMS システムに DECwindows Motif をインストールする場合は，POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用してください。第 A.2 節を参照してください。

VMSINSTAL プロシージャを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする場合，プロセッサの種類にもよりますが，完了までに約 45 分かかります。 VMSINSTAL プロシージャは，システム・ディスクに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールします。

注意

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションを開始する前に，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のプロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) を登録しておかなければなりません。

警告

システム・ディスクのバックアップを行っていない場合は Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールしないでください。 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする前に，(VAX プロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』に記載されている手順で) システム・ディスクのバックアップを行ってください。

インストレーションを開始する前に，第 A.1 節に目を通し，インストレーションのための準備と条件を確認してください。

この章の構成および内容は次のとおりです。

- 第 A.3.1 項, インストレーション・プロシージャに必要な条件
- 第 A.3.2 項, インストレーション・プロシージャ
- 第 A.3.3 項, エラーからの回復
- 第 A.3.4 項, リリース・ノートへのアクセス

A.3.1　インストレーション・プロシージャに必要な条件

この節では，VMSINSTAL プロシージャを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 VAX をインストールするための必要条件について説明します。

VMSINSTAL および PCSI を使用したインストレーションの両方に共通する必要条件については，第 A.1.8 節を参照してください。

システム管理者アカウント (SYSTEM) などの特権付きアカウントにログインして Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのインストレーションの準備をします。必要な特権については第 A.3.1.1 項を参照してください。オペレータ・コンソールその他のハードコピー端末でインストレーションを実行することを推奨しますが，漢字端末エミュレータのウィンドウで実行することも可能です。

A.3.1.1　プロセス特権

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールするには，SETPRV または次の特権を持つアカウントにログインしなければなりません。

- CMKRNL
- WORLD
- SYSPRV

VMSINSTAL は，インストレーション開始時に BYPASS 特権を無効にし，インストレーション完了時に元に戻します。

A.3.1.2　代替作業デバイスの使用

代替作業デバイス (AWD) オプションを使用して，ディストリビューション・メディア収録のセーブセットから取り出すファイルを一時的に保管するディスクを指定することができます。セーブセットを開いた後，いったん AWD に保管されたファイルは，インストレーション・プロシージャにより Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションの必要に応じて AWD から取り出され，システム・ディスクに追加されたり，あるいは既存のファイルと置換されます。

既存の DECwindows Motif の環境をアップグレードするためにインストレーションを行う場合は，通常の場合に比べてシステム・ディスクの空きブロックが少なくても実行することができます。

VMSINSTAL プロシージャは， AWD オプションが指定された場合は AWD デバイス，省略時の場合は次の位置に一時的な作業ディレクトリを作成します。

```
SYS$SYSROOT:[SYSUPD.facunvvv]
```

AWD オプションを使用する場合，ディレクトリを指定することができます。ディレクトリの指定は任意ですが，次のようなガイドラインが適用されます。

- 既存のディレクトリを指定した場合， VMSINSTAL プロシージャは指定されたディレクトリのサブディレクトリ (たとえば[WORK.*facunvvv*]) として作業ディレクトリを作成します。この作業用サブディレクトリはインストレーション完了後，削除されます。
- ディレクトリを指定しない場合， VMSINSTAL プロシージャは指定されたデバイス上に[000000.*facunvvv*]という作業用ディレクトリを作成します。この作業用ディレクトリはインストレーション完了後，削除されます。
- 存在しないディレクトリを指定した場合， VMSINSTAL は指定されたディレクトリおよび指定されたディレクトリ内にサブディレクトリを作業用ディレクトリとして作成します。作業用ディレクトリはインストレーション完了後，VMSINSTAL により自動的に削除されますが，指定されたディレクトリはそのまま残ります。したがって，指定したディレクトリはユーザが削除しなければなりません。

VMSINSTAL プロシージャを呼び出して， AWD オプションを指定する場合は次のフォーマットを使用します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL facunvvv dkcu OPTIONS N,AWD=ddcu:[dir]
```

上記のコマンド行の変数には次の定義を使用してください。

- *facunvvv*には，製品名とバージョン番号を入れます。

  Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする場合，*facunvvv*の値は， DWMOTIFVAXU6012 です。

- *dkcu*にはディストリビューション・メディアを装着するソース・デバイスのデバイス名を入れます。
- *ddcu*には代替作業デバイスのデバイス名を入れます。
- *dir*には，製品サブディレクトリが作成される，代替作業デバイスのディレクトリ名を指定します。省略時の設定は[000000]です。

たとえば，代替デバイス DKA2 を一時的な作業デバイスとして使用して， CD–ROM から Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を OpenVMS VAX システムにインストールする場合，次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012 source-drive -
_$ OPTIONS N,AWD=DKA2:
```

A.3.1.3 DFS (Distributed File Service) の使用

一時作業ディレクトリは， DFS(Distributed File Service) を利用しているディスク上に指定することもできます。

DFS マウントされたディスクを代替作業デバイスとして使用した場合，インストレーション・プロシージャは誤って，代替作業デバイスの空きブロックが –1 であると報告します。このエラーは， DFS クライアント (この場合は，インストレーション・プロシージャ) が DFS マウントされたディスクの空きスペースを判断できないために発生します。

DFS マウントされたディスクを使用する前に，そのディスクの空きスペースを確認しておいてください。ディスクを装着してあるシステムにログインし，次のように SHOW DEVICE コマンドを入力します。

```
$ SHOW DEVICE
```

A.3.2 インストレーション・プロシージャ

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションの手順は，一連の問い合わせと情報メッセージから構成されます。インストレーション中にヘルプを参照したい場合は，任意の時点で疑問符 (?) を入力してヘルプを呼び出すことができます。 DECwindows Motif V1.2-6 for OpenVMS を OpenVMS VAX システムにインストールする実行例については第 A.7 節を参照してください。

インストレーションを途中で強制終了する場合はCtrl/Yを押してください。Ctrl/Yを押すと，その時点までに作成されたすべてのファイルが削除された後，インストレーションが終了します。そのあとで，インストレーションを再度実行することができます。

注意

このオプションはできるだけ使用しないようにしてください。

A.3.2.1 製品およびデバイス名

インストレーション中に，どの製品をインストールするのか，どのドライブにディストリビューション・メディアが入っているかを入力します。製品はファシリティ名とバージョンで指定し，ドライブはデバイス名で指定します。製品名とデバイス名のフォーマットは次のとおりです。

- *facunvvv*

  インストールする製品のファシリティ名とバージョン番号を表わしており，インストレーション名と呼ぶこともあります。*facunvvv*のフォーマットに関しては，次の表の説明を参照してください。

変数	定義
fac	製品名コード (英数字 1 から 36 文字)
u	アップデート文字‘‘u’’ (1 文字)
n	アップデート・バージョン番号 (1 桁)
vvv	主バージョン番号 (3 桁)

  Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6をインストールする場合，インストレーション名はDWMOTIFVAXU6012です。

- *ddcu*

  ディストリビューション・メディアの入ったソース・ドライブのデバイス名を表します。

システム上のデバイス名については，VAXプロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』を参照してください。

A.3.2.2 VMSINSTAL プロシージャの起動

インストレーションを開始するには，SYSTEM アカウントなどの特権アカウントから VMSINSTAL コマンド・プロシージャを起動します。 VMSINSTAL.COM は SYS$UPDATE ディレクトリにあります。

インストレーション・プロシージャ実行中にシステムから問い合わせのプロンプトが表示された場合に入力を省略すると，大括弧 ([ ]) の中の値 (省略時の値) が使用されます。

次の手順で VMSINSTAL コマンド・プロシージャを実行し，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールしてください。

1. Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のディストリビューション・メディアを用意します。
2. システムがまだ起動されてない場合はシステムを起動し，システム管理アカウント (SYSTEM) などの特権付きアカウントにログインします。
3. ソース・ドライブにディストリビューション・メディアを挿入します。Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のディストリビューション・キットにメディアが複数含まれている場合は，1 番目のメディアをドライブに入れます。この場合はインストレーション中に，次のメディアを入れるように指示があります。メディアのラベルにロードする順序が記載されています。
4. VMSINSTAL プロシージャを開始します。コマンド行に製品名を指定します (ファシリティ名であり，OpenVMS VAX の場合は DWMOTIFVAXU6012 です)。

   メディア・キットに収録されているリリース・ノートにアクセスするには，OPTIONS N を指定してください。『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』をインストレーション開始前に画面に表示したり，印刷したりすることができます。 DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

   ```
   $ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012 ddcu: OPTIONS N
   ```

*ddcu*には，ディストリビューション・メディアの入ったソース・ドライブのデバイス名を指定します。製品名，デバイス名のフォーマットについては第A.3.2.1 項を参照してください。 VAX プロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』も参照してください。

たとえば MUA0: ドライブにある磁気テープ・カートリッジから Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする場合は，次のコマンドを入力して VMSINSTAL コマンド・プロシージャを起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012 MUA0: OPTIONS N
```

第 A.3.1.2 項に説明する代替作業デバイス (AWD) を使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする場合は，次のコマンドを入力して VMSINSTAL コマンド・プロシージャを起動してください。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012 ddcu: OPTIONS N,AWD=ddcu:[dir]
```

最初の*ddcu*は，ディストリビューション・メディアの入ったソース・ドライブのデバイス名です。 2 つ目の*ddcu*は，ターゲット・デバイスである代替作業デバイス (AWD) のデバイス名です。変数*dir*は，ソフトウェアのサブディレクトリが作成される代替作業デバイスのディレクトリ名です。省略時のディレクトリは[000000]です。

たとえば，MUA0: のドライブに装着された磁気テープ・カートリッジから，代替作業デバイス DUA2: およびディレクトリ[INSTALL]を使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする場合は，次のコマンドを入力してください。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012 MUA0: OPTIONS N,AWD=DUA2:[INSTALL]
```

VMSINSTAL プロシージャを実行するコマンドが失敗した場合，次のいずれかの状況が発生していないかどうか確認してください。

- 間違った製品名を指定した場合，次のようなメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-E-NOPRODS, None of the specified products were found
```

- ソース・デバイス名を間違って指定した場合，‘‘invalid device’’というエラー・メッセージが表示され，システム上に存在するソース・デバイス名が入力されるまでシステムはプロンプトを継続して表示します。デバイス名の後のコロン(:)を忘れずに入力してください。

次のようなメッセージが表示されます。

```
       VAX/VMS Software Product Installation Procedure V5.5-2

It is 26-MAR-2000 at 08:02

Enter a question mark (?) at any time for help.
```

A.3.2.3 システムのバックアップの確認

VMSINSTAL プロシージャでは，次の質問が表示されます。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [Yes]?
```

システム・ディスクのバックアップを行っている場合は， Return キーを押して第 A.3.2.4 項に進みます。

システム・ディスクのバックアップを行っていない場合は，次の作業を行ってください。

1. NO と入力して Return キーを押してください。 VMSINSTAL プロシージャが終了してて DCL レベルに戻ります。
2. VAX プロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』の記述に従ってシステム・ディスクのバックアップを行ってください。
3. システム・ディスクのバックアップを行ったあと，第 A.3.2.2 項の手順 4 からインストレーション・プロシージャを再開してください。

A.3.2.4 ディストリビューション・メディアの装着

ディストリビューション・メディアの位置の問い合わせがあります。

```
* Where will the distribution volumes be mounted:
```

次のフォーマットでディレクトリを指定してください。

```
device-name:[directory]
```

製品名 (ファシリティ名) の問い合わせがあった場合は，DWMOTIFVAXU6012 と入力してください。

```
Enter the names of the product to be processed from the first
distribution volume set.
* Product: DWMOTIFVAXU6012
```

インストレーションが始まると次のようなメッセージが表示されます。

```
The following products will be processed:

 DWMOTIFVAX V1.2-6

  Beginning installation of DWMOTIFVAXU6 Version 1.2 at 10:36

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set  A...
```

A.3.2.5 リリース・ノート・オプションの選択

第 A.3.2.2 項の手順 4 で OPTIONS N を指定した場合，ここでリリース・ノートに関するオプションの選択を行います。

```
Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

    Additional Release Notes Options:

    1.  Display release notes
    2.  Print release notes
    3.  Both 1 and 2
    4.  None of the above

* Select option [2]:
```

選択するオプション番号を入力してください。

- オプション 1— リリース・ノートを端末に表示します。
- オプション 2— リリース・ノートを印刷します (省略時の設定)。
- オプション 3— リリース・ノートを表示し，印刷します。
- オプション 4— リリース・ノートの表示も印刷も行わずインストレーションを継続します。

注意

インストレーションを継続する前にリリース・ノートに目を通すことを強く推奨します。

オプション 1 を選択した場合，リリース・ノートが端末に表示されます。リリース・ノートの先を読む場合は， Return キーを押します。表示を終了して，インストールを継続するには Ctrl/C キーを押します。 Ctrl/C を押した後，インストレーションを実行するかどうか問い合わせがあります。ここで，リリース・ノートが SYS$HELP に移動されたことを通知します。

警告

Ctrl/Y を誤って押さないようにしてください。 Ctrl/Y を押すとインストレーションが終了してしまいます。

オプション 2 または 3 を選択すると，プリント・キュー名の入力の問い合わせがあります。プリント・キューを指定しない場合，省略時の設定によりリリース・ノートは SYS$PRINT キューに登録されます。

A.3.2.6 インストレーションの継続

リリース・ノート・オプションの処理が終了すると，次のようなメッセージが表示されます。

```
* Do you want to continue the installation [No]?
```

インストレーションを継続する場合は YES と入力して Return キーを押します。インストレーションを強制終了する場合は Return キーを押します。

どのリリース・ノート・オプションを選択したかに関係なく，リリース・ノートは SYS$HELP ディレクトリにコピーされます。リリース・ノートが SYS$HELP ディレクトリにコピーされたあとのアクセス方法については，第 A.3.4 項を参照してください。

```
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

     *** Installing Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX software ***

  Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

  Confidential computer software. Valid license from Compaq or authorized
  sublicensor required for possession, use , or copying. Consistent with
  FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software
  Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed
  to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.
```

A.3.2.7 OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境の保存

DECwindows Motif がすでにシステムにインストールされている場合，前バージョンのプログラミング環境 (OSF/Motif リリース 1.1.3) は今回インストールする Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 との互換性がありません (OSF/Motif リリース 1.2 プログラミング環境は，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールすると，OSF/Motif リリース 1.2.3 ツールキットで上書きされます)。

OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング環境を保存するかどうか問い合わせがあります。

```
  The DECwindows Motif programming environment was installed with a
  previous version of this kit.  This environment is incompatible with the
  OSF/Motif Release 1.2 environment provided with DECwindows Motif Version
  1.2-6. The XUI programming environment is also not included in
  DECwindows Motif Version 1.2-6.

  If you intend to continue developing programs for XUI or OSF/Motif
  Release 1.1.3 you should save this environment.  Please refer to the
  installation guide for more details and information on accessing these
  files in their new location.

  If you do not choose to save the XUI and OSF/Motif Release 1.1.3
  programming environment, those files will be removed from the system
  disk.

* Do you want to save the OSF/Motif Release 1.1.3 and XUI
* programming support files [No]?
```

XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング環境を保存する場合は，YES と入力して Return キーを押してください。インストレーション・プロシージャは，プログラミングに使用できるように，OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング・ファイルが入ったサブディレクトリを作成します。

以前のバージョンのプログラミング・ファイルを参照する方法については第 A.1.6 項を参照してください。

A.3.2.8 キット全体のインストレーション

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェア・キットは全体をインストールすることも，一部だけをインストールすることも可能です。DECwindows Motif 基本キットはどちらの場合でもインストールされます。Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 プログラミング環境のインストレーションはオプションです。

キット全体をインストールするかどうか問い合わせがあります。

```
You can install the DECwindows Motif kit completely or in selected
portions.  A complete installation requires as many as 82,500 blocks.
If you choose to perform a partial installation, you can select
(tailor) the programming support files that support your DECwindows
Motif application development.  Whether you perform a complete or partial
installation, this kit provides support for running DECwindows Motif
applications on OpenVMS compute servers.

* Do you want to install the entire kit [Yes]?
```

キット全体をインストールする場合は，Return キーを押して，キットの選択を確認してください (第 A.3.2.10 項を参照してください)。キット全体をインストールしない場合は，NO を入力すると，プログラミング・サポートのインストレーションに関する問い合わせがあります (第 A.3.2.9 項を参照してください)。

A.3.2.9 プログラミング・サポート・ファイルの選択

インストレーション・プロシージャでは，次のメッセージが表示され，プログラミング・サポートのインストレーションが必要かどうか問い合わせがあります。

```
This installation procedure provides support files for developing
DECwindows Motif applications in several programming languages.  These
files are needed only to develop applications and are not required to run
DECwindows Motif applications.  The free disk space requirement for each
programming support file ranges from 3000 to 8000 blocks.

* Do you want to install DECwindows Motif programming support [Yes]?
```

プログラミング・サポートのインストレーションが必要な場合は，Return キーを押してください。次のメッセージが表示されます。

```
Support files are supplied for the following OpenVMS programming languages:

      FORTRAN, Pascal

In addition, support files are supplied for programming in the C language
using conventions and standards developed at the Massachusetts Institute
of Technology.
```

プログラミング・サポートを選択しない場合は，NO を入力して第 A.3.2.10 項の指示に進んでください。次のメッセージが表示され，プログラミング・サポート・ファイル全部をインストールするかどうか問い合わせがあります。

```
* Do you want to install all programming language support files [Yes]?
```

全言語をインストールする場合は Return キーを押してください。全言語のインストールを選択しない場合は NO を入力して Return キーを押してください。ここで言語が 1 つずつ表示されます。インストールしたい言語のプロンプトに対して YES を入力してください。

ここで DECwindows Motif のサンプル・プログラム・ファイルをインストールするかどうか問い合わせます。

```
* Do you want to install DECwindows Motif programming examples [Yes]?
```

サンプル・プログラム・ファイルをインストールする場合はReturnキーを押してください。サンプル・ファイルをインストールしない場合はNOと入力してください。

A.3.2.10 キット選択の確認

ここでキットの構成要素のうち選択したものが表示され，選択が正しいかどうか確認できます。次のようなメッセージが表示されます。

```
You have selected the following portions of the kit:

        o  DECwindows Motif Applications and Run-time Libraries

        o  DECwindows Motif programming examples

        o  DECwindows Motif programming support

           FORTRAN, Pascal
           MIT C language programming conventions

        o  OSF/Motif Release 1.1.3 and XUI saved programming
           support

* Are these selections correct [Yes]?
```

選択が正しい場合はReturnキーを押してください。選択を変更する場合はNOと入力してReturnキーを押してください。 NOを選択するとキット全体をインストールするかを問い合わせるプロンプトに戻ります (第A.3.2.8項を参照してください)。ここから再度選択手順を繰り返して選択を終了し，選択が正しければYESと入力し， Returnキーを押してください。

A.3.2.11 ディスク・スペースの確認

インストレーション・プロシージャは，システム・ディスクに十分な空きブロックがあるかどうかをチェックします。

1. ブロックが十分にあればインストレーションを継続します (第A.3.2.12項を参照してください)。
2. 選択した部分をインストールするには不十分である場合は，次のようなメッセージが表示されます。

```
Your system disk has only 25364 free blocks, and
you have selected to install approximately 76050 blocks.

                        * * * N O T E * * *

The installation procedure has determined that you do not have enough
disk space to complete the installation.  However, it may be possible
to continue successfully if you are installing DECwindows Motif on a
system that already has DECwindows Motif installed.

* Do you want to reselect which DECwindows Motif options to install [Yes]?
```

Return キーを押すと，第 A.3.2.8 項に説明する手順から再開して DECwindows Motif のオプションを再度選択することができます。 NO を入力するとインストレーションを継続するかどうか問い合わせがあります。

```
* Do you want to continue the installation anyway [Yes]?
```

警告

Return キーを押すとインストレーションが継続されます。ただし，インストレーションに必要な空きディスク・スペースが不足している場合，インストレーションは失敗します。

NO と入力するとインストレーションは終了します。ここで，システム・ディスクに空きブロックを作成してからインストレーションを再開するか， AWD オプションを使用して再度インストレーションをやり直すことができます (AWD オプションの使用法については第 A.3.1.2 項を参照してください)。

3. 指定した代替作業デバイスに，選択した部分のインストレーションに必要なディスク・スペースがない場合，次のようなメッセージが表示されます。

```
Your specified alternate working directory device has only 68977
free blocks, and this installation will require approximately 76050 blocks.

You should either reselect which DECwindows Motif options to install, or
restart this installation using an alternate working directory device with
more free blocks.

                * * *  NOTE  * * *
```

```
Although the installation procedure estimates you do not have enough disk
space to complete the installation, it may be possible to continue
successfully if you are installing DECwindows Motif on a system which
already has DECwindows installed.

* Do you want to reselect which DECwindows Motif options to install [Yes]?
```

Return キーを押すと，第 A.3.2.8 項に説明した手順から再開して DECwindows Motif オプションを再度選択することができます。 NO と入力するとインストレーションを継続するかどうか問い合わせがあります。

```
* Do you want to continue the installation anyway [Yes]?
```

Return キーを押すとインストレーションは継続されます。

警告

代替作業デバイスにインストレーションに必要な空きスペースがない場合は，インストレーションは終了します。

NO と入力するとインストレーションは終了します。ディスク・スペースが十分にある代替作業デバイスを設定したら，インストレーションを再開してください (AWD オプションの使用法については第 A.3.1.2 項を参照してください)。

A.3.2.12 ライセンス登録の確認

インストレーション・プロシージャを継続すると，次のようなライセンス情報が表示されます。

```
A registered and loaded product authorization key for DW-MOTIF is
required to run any DECwindows Motif for OpenVMS application. If you
answer No to the next question, the installation of DECwindows Motif for
OpenVMS will be terminated.

      Product:      DW-MOTIF
      Producer:     DEC
      Version:
      Release Date:

* Does this product have an authorization key registered and loaded ?
```

NET-APP-SUP-250 と NET-APP-SUP-300 PAK も有効です。オーソライゼーション・キーが登録済みであれば，YES と入力してインストレーションを継続します。 NO と入力すると，次のメッセージが表示され，インストレーションは終了します。

```
Installation of DECwindows Motif cannot continue because you do
not have a registered and loaded authorization key.
```

ライセンス登録についての詳細は第 A.1.1 節を参照してください。オーソライゼーション・キーを登録したあと，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションを第 A.3.2.2 項の手順 4 から再開してください。

A.3.2.13 システムの再ブートの実行

システムの再ブートを行って，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのインストレーションを正常に完了することを推奨するメッセージが表示されます。

```
DECwindows Motif will not start if your system parameters are not
correct.

o If you allow a system shutdown, the installation procedure will
  reboot the system at the end of the installation.  If your system
  parameters are incorrect, the installation will run AUTOGEN prior
  to the system reboot.

o If you do not allow a system shutdown, the installation procedure
  will continue, and you will be informed at the end of the
  installation whether you need to modify your system parameters in
  order to start DECwindows Motif.

To complete the installation of this product, you should reboot
the system.  If it is not convenient to reboot at this time, then
enter No to the following question.

If you enter No, the installation procedure will continue.

* Will you allow a system reboot after this product is installed [Yes]?
```

インストレーション後にシステムのシャットダウンを問い合わせるプロンプトに対して NO を入力した場合，それ以降の問い合わせはありません。

インストレーション後にシステムのシャットダウンを問い合わせるプロンプトに対して YES を入力した場合，次のようなシャットダウンに関する問い合わせが表示されます。

```
* How many minutes for system shutdown [0]?
* Do you want to do an automatic system reboot [Yes]?

  No further questions will be asked.
```

警告

イメージあるいはアプリケーションを起動する場合にそバージョンを間違えないようにするために，必要な手順 (第 A.3.2.15 項に示されるような手順) を実行して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを再起動してください。

A.3.2.14 情報メッセージを読む

VMSINSTAL プロシージャでは，作成されたディレクトリと復元されたセーブセットの一覧が表示されます。また，ファイルをターゲット・ディレクトリに移動していることを通知するメッセージも出力されます。

- 9 トラック磁気テープ以外のメディアでインストレーションを実行中の場合は，次のようなメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[DECW$INCLUDE.DECW$113].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSEXE.DECW$113].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSLIB.DECW$113].
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set C ...
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set D ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set G ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set H ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set I ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set J ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set L ...
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
```

- 9 トラック磁気テープでインストレーションを実行中の場合は，ファイルの一部は圧縮されてテキスト・ライブラリに入っています。この場合，インストレーション・プロシージャは，次のようにデータの圧縮の解除を通知します。

```
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set C ...
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set D ...
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set E ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set G ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set H ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set I ...
Decompressing H_E_DECW$INCLUDE
Decompressing H_E_SYSLIB
%VMSINSTAL-I_RESTORE, Restoring product save set J ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set L ...
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
```

ここで間違ったエラー・メッセージが表示されますが，これは無視しても問題ありません。

```
You can ignore the following NCP error message(s).

%NCP-I-SUCCESS,  Success
Object = X$X0
%NML-I-RECDELET, Database entry deleted
```

インストレーション後，必要に応じて言語バリアント製品のインストレーションを行うことを促すメッセージが表示されます。

```
If you wish to use any language other than English, install the appropriate
DECwindows Motif Version 1.2-6 language variant product after
this installation has completed.
```

インストレーション完了後および DECwindows Motif の起動後，インストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行しなければならないことが通知されます。(IVP の実行についての詳細は，第 A.4.2 項を参照してください)。

```
The Installation Verification Procedure (IVP) should be run after the
installation has been completed and DECwindows Motif has been restarted.
The IVP can be found in SYS$TEST:DECW$IVP.COM.
```

A.3.2.15 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの設定

使用しているシステムのタイプによっては，インストレーション・プロシージャが自動的に AUTOGEN を実行する場合があります。

- ワークステーション以外のシステム

  Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をワークステーション以外のシステム (OpenVMS ホスト・システム) にインストールした場合は，次のメッセージが表示されます。

```
This system is not a workstation.
It will not be necessary to run AUTOGEN.
```

- Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を正しいシステム・パラメータで実行しているワークステーション・システム

  Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をワークステーション・システムにインストールし，ワークステーションのシステム・パラメータが正しい場合，次のメッセージが表示されます。

```
The installation procedure has determined that your system parameters are
set correctly and that it will not be necessary to run AUTOGEN or reboot
the system.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
Motif with the following DCL command:

     $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

If your system is NOT already running DECwindows Motif, start DECwindows
Motif with the following DCL command:

     $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP

                         * * * N O T E * * *

If you are installing DECwindows Motif from your workstation console, log
off after you enter the command to start DECwindows Motif.
```

- 正しくないシステム・パラメータで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を実行しているワークステーション・システム

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をワークステーション・システムにインストールし，システム・パラメータをリセットする必要がある場合は，次のメッセージが表示されます。

```
The installation of DECwindows Motif has determined that some of your
system parameter values will require modification in order to start
Compaq DECwindows Motif for OpenVMS, Version 1.2--6.  To set your
parameters correctly, run AUTOGEN using the following DCL command:

        $ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK

This will adjust your system parameters and reboot the system.
```

- 正しくないシステム・パラメータで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を実行しているワークステーション・システムで，システムのシャットダウンの問い合わせに YES と答えた場合

```
The OpenVMS AUTOGEN procedure will now be run to set your system
parameters. After that, your system will be automatically rebooted.

After the system has been rebooted, successful installation of the
workstation software will be indicated by the appearance of the
Start Session window.

%AUTOGEN-I-BEGIN, GETDATA phase is beginning.
 .
 .
 .
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENPARAMS phase is beginning.
 .
 .
 .
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENFILES phase is beginning.
 .
 .
 .
%AUTOGEN-I-BEGIN, SETPARAMS phase is beginning.
 .
 .
 .
       Installation of DWMOTIFVAXU6 V1.2 completed at 10:57

%VMSINSTAL-I-SHUTDOWN, This product requires that the system be rebooted.
```

```
        SHUTDOWN -- Perform an Orderly System Shutdown
                    on node NODE01
.
.
.
```

A.3.2.16 インストレーション・プロシージャの完了

インストレーションが完了すると，次のようなメッセージが表示されます。

```
Installation of DWMOTIFVAXU6 V1.2 completed at 10:57

VMSINSTAL procedure done at 12:45
```

上記のメッセージはインストレーションが正常に完了したことを示しています。

AUTOGEN が実行された場合は，システムは自動的にシャットダウンします。この場合は，システムを再ブートしてください。システムの再ブートの方法については，VAX プロセッサ用の『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』も参照してください。

注意

将来，OpenVMS の新しいバージョンでシステムをアップグレードする際に，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを再インストールする必要がある場合もあります。

A.3.3 エラーからの回復

インストレーション中に，次のいずれかの状況が存在している場合は，エラーが発生する可能性があります。

- OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- インストレーションに必要なクォータが不足している場合。
- インストレーションに必要なシステム・パラメータ値が不足している場合。
- OpenVMS ヘルプ・ライブラリを現在使用中である場合。
- 製品ライセンスが登録されていない場合。

これらの状態により発生したエラー・メッセージについての説明は，「まえがき」の「関連ドキュメント」に示すドキュメントを参照してください。これらのドキュメントにエラーの分析と対処方法が記述されています。

A.3.4 リリース・ノートへのアクセス

インストレーション中に，『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』が SYS$HELP:DECW$MOTIFU6012.RELEASE_NOTES ファイルにコピーされます。 DCL レベルに戻り，このファイルを印刷したり，端末に表示することができます。リリース・ノートへのアクセス方法についての詳細は，第 A.3.2.5 項を参照してください。

A.4 ソフトウェア・インストレーション完了後の作業

この章では， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションが完了後に実行する必要がある作業について説明します。

- 第 A.4.1 項, DECwindows Motif ソフトウェアの起動
- 第 A.4.2 項, IVP (インストレーション検証プロシージャ) の実行
- 第 A.4.3 項, 代替コンソールの選択
- 第 A.4.4 項, デスクトップの選択 (Alpha のみ)

システムに DW-MOTIF の有効なライセンスが登録されていない場合は，コンソール端末にその旨のメッセージが表示され， DECwindows Motif は自動的には起動されません。この場合は，システムにログインして有効なライセンスを登録してから DECwindows Motif ソフトウェアを起動してください。 LMF を使用してライセンスを登録する方法についての詳細は，『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

A.4.1 DECwindows Motif ソフトウェアの起動

DECwindows Motif のインストレーション後にシステムを再ブートすると，システムの再起動時に DECwindows のスタートアップ・プロシージャが自動的に実行されます。 OpenVMS Alpha システムでは， DECW$START_NEW_DESKTOP グローバル・シンボルの値に応じて， New Desktop のログイン・ダイアログ・ボックスあるいは DECwindows デスクトップのセッション開始ダイアログ・ボックスのいずれかが表示されます (詳細は第 A.4.4 項を参照してください)。 OpenVMS VAX システムでは，セッション開始ダイアログ・ボックスが表示されます。システムを再ブートし， DECwindows が正常に起動した場合は，第 A.4.2 項に進んでください。

インストレーション後のシステムの再ブートを選択しない場合，以降に説明する DECwindows スタートアップ・プロシージャを実行して， DECwindows Motif ソフトウェアを起動または再起動する必要があります。スタートアップ・プロシージャが正常に終了すると，上記のとおり New Desktop のログイン・ダイアログ・ボックスまたは DECwindows デスクトップのセッション開始ダイアログ・ボックスのいずれかが表示されます。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアは，使用するシステムのパラメータが正しい場合にのみ起動できます。システム・パラメータが正しくない場合は，次の該当する項目に進んでください。

- 第 A.4.1.1 項, スタンドアロン・システム
- 第 A.4.1.2 項, OpenVMS Cluster システム

システム・パラメータが正しくない場合は，次のうち適切な方法を選んでパラメータを変更してください。

- AUTOGEN ユーティリティを起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

- DECwindows Motif ソフトウェアを起動します。

DECwindows Motif のスタートアップ・プロシージャによってシステム・パラメータが確認され，設定値が低すぎる場合は，システム・パラメータの必要な値を通知する一連のメッセージが表示されます。このパラメータが，システムの MODPARAMS.DAT ファイルで調整されます。続いて，次のメッセージが表示されます。

```
Some SYSGEN parameters must be reset for DECwindows to start.
If you type YES, AUTOGEN will change these parameters and reboot your system.
If you type NO, AUTOGEN will not run or cause a reboot, but DECwindows
will not start.

To run AUTOGEN at a later date, enter the following command:

  $ @SYS$UPDATE:AUTOGEN getdata reboot check_feedback

Do you want the system to run AUTOGEN for you [Yes]?
```

システムが再ブートされ，起動が完了するとセッション開始ダイアログ・ボックスが表示されます。

以上で Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのインストールが完了し，ご使用のシステムで実行されています。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションが完全かつ正確に完了したことを確認するために，第 A.4.2 項の説明に従ってインストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行してください。

A.4.1.1 スタンドアロン・システム

スタンドアロン・システムで DECwindows Motif ソフトウェアを起動するには，次のうち該当する手順を実行してください。

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されていない場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を起動します。

  ```
  $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
  ```

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されている場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

注意

使用しているシステムにワークステーション・ディスプレイがある場合は，DECwindows Motif を再起動すると，現在実行しているセッションは終了し，端末にセッション開始ダイアログが表示されます。 DECwindows Motif を続行するには，ここでログインし直して DECwindows Motif に戻ります。

以上で Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのインストールが完了し，ご使用のシステムで実行されています。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションが完全かつ正確に完了したことを確認するために，第 A.4.2 項の説明に従って IVP を実行してください。

A.4.1.2 OpenVMS Cluster システム

サテライト・ノードあるいは非サテライト・ノードでの Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 の起動方法について，以降に説明します。

A.4.1.2.1 非サテライト・ノードおよびブート・ノードでの起動 クラスタ内の各非サテライト・ノードで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを起動するには，次のうち該当する手順を実行してください。

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されていない場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を起動します。

  ```
  $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
  ```

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されている場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を再起動します。

  ```
  $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
  ```

注意

使用している非サテライト・ノードまたはブート・ノードにワークステーション・ディスプレイがある場合は，DECwindows Motif を再起動すると現在実行しているセッションは終了し，端末にセッション開始ダイアログ

が表示されます。 DECwindows Motif を続行するには，ここでログインし直して DECwindows Motif に戻ります。

以上で Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのインストールが完了し，ご使用のシステムで実行されています。

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 のインストレーションが完全かつ正確に完了したことを確認するために，第 A.4.2 項の説明に従ってインストレーション IVP を実行してください。

A.4.1.2.2 サテライト・ノードでの起動

ブート・ノードにインストールされた Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアを起動するには，クラスタ内の Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 を実行する各サテライト・ノードで，次のうち該当する手順を実行してください。

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されていない場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

- 使用しているシステムで現在 DECwindows Motif が実行されている場合は，次のコマンドで DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

OpenVMS Cluster 内の各ノードで DECwindows が起動あるいは再起動された場合，インストレーションは完了したと考えられます。この段階で第 A.4.2 項の説明に従って IVP を実行してください。

A.4.2 IVP (インストレーション検証プロシージャ) の実行

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールして起動した後， IVP(SYS$TEST:DECW$IVP.COM) を実行します。 IVP には，ソフトウェアのインストレーションが完全かつ正確に行われたかどうかを確認する 4 つのテストが含まれています。

最初に，表示関連テストが 2 つ実行されます。 IVP を実行すると， IVP は現在使用しているハードウェアのタイプを確認します。

- ワークステーションを使用している場合は，表示関連テストをどこに表示するかを問い合わせてきます。省略時の設定は，現在使用中のワークステーションです。
- ワークステーションでないマシンを使用している場合は，ディスプレイ名を入力するよう問い合わせがあります。

表示関連テストを行わない場合は，プロンプトで Ctrl/Z を入力してください。これらのテストは，システムにイメージが存在する場合にのみ実行されます。イメージが存在しない場合は，テストを実行しないことを通知するメッセージが表示されます。

注意

LAT ソフトウェアを使用して LAT X 端末から IVP を呼び出す場合は，最初に次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DISPLAY/CREATE/NODE=LAT_nnnnnnnnnnn/TRANSPORT=LAT
```

*nnnnnnnnnn*に実際の LAT 端末番号を入れてください。

_Display: プロンプトに対して，省略時の設定値を入力します。

次に，表示関連以外のテストが 2 つ実行されます。

- 最初のテストで Motif の UIL コンパイラを実行します。プログラミング・サポートをインストールしていない場合は， Motif の UIL イメージが存在しないためテストを実行しないことが通知されます。このテストが実行された場合は，テスト結果が通知されます。
- 最後のテストでは，テキスト・ファイルを DDIF フォーマットに変換し，さらにそれをテキストに変換し直して元のテキスト・ファイルと比較します。ファイルが一致すればテストは成功です。テスト結果が通知されます。

例 A–1 に，IVP の実行例を示します。

例 A–1　IVP 実行例

```
$ @SYS$TEST:DECW$IVP

Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Installation Verification Procedure (IVP)

This IVP is intended to test some of the functionality of DECwindows Motif
and to provide a quick method of verifying the installation.

This machine is not a workstation.  Please provide the nodename of a
workstation on which to display the IVP tests.  You must be sure that this
account and node have security access to the display node, or the IVP will
fail.

To skip the display-oriented tests, press Ctrl/Z at the following prompt.

_Display: NODE33::0.0

%DECW-I-IVP, The IVP will display on NODE33::0.0
%DECW-I-IVP, Running DECW$EXAMPLES:ICO.EXE for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_ICO spawned
%DECW-I-IVP, Running SYS$SYSTEM:DECW$CLOCK for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_CLOCK spawned
%DECW-I-IVP, Invoking the UIL Motif compiler...
%DECW-S-IVP, The UIL Motif compiler test completed successfully.
%DECW-I-IVP, Beginning CONVERT/DOCUMENT IVP...
%DECW-S-IVP, CONVERT/DOCUMENT IVP passed.
%DECW-S-IVP, The IVP has completed.
$
```

A.4.3　代替コンソールの選択

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアでは，メイン・コンソールからすべての構成をブートすることができます。オペレータ・ウィンドウを表示するかしないかは Ctrl/F2 で切り替えることができます。メイン・コンソールは常にワークステーションの画面です。

メイン・コンソール (ワークステーション画面) にログインしている場合，DECwindows を起動する前にログアウトする必要があります。メイン・コンソールから次のコマンドを実行してください。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

コマンド・プロシージャが完了したあと，メイン・コンソールからログアウトします。ログアウトしない場合は，サーバは起動せず，ログイン・ボックスは表示されません。

ターミナル・ポート経由でワークステーションに接続したターミナルを代替コンソールとして使用することができます。

メイン・コンソールからブートした場合，DECwindows Motif スタートアップ・コマンド・プロシージャを起動した際に代替コンソールに接続されます。

代替コンソールからシステムをブートする場合，コンソール・ウィンドウ・アプリケーションを起動することはできません。このアプリケーションについては，リリース・ノートに説明があります。

A.4.4 デスクトップの選択 (Alpha のみ)

OpenVMS Alpha システムの場合，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 には，2 種類のデスクトップのオプションがあります。 CDE (共通デスクトップ環境) から派生した New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウです。

インストレーション中に，New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウの両方をインストールする選択をした場合，どちらを省略時の設定にするか問い合わせがあります。

省略時の設定としてもう一方のデスクトップを選択する場合は，次の手順を実行してください。

1. SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE APPS SETUP.COM ファイルが存在しない場合は DECW$PRIVATE APPS SETUP.TEMPLATE からコピーします (ま

たは，以前のバージョンの DECwindows Motif をシステムにインストールしていない場合は，新規に作成します)。次の例を参照してください。

```
$ COPY SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -
_$ SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM
```

2. SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM を編集し，DECW$START_NEW_DESKTOP のシンボル定義を追加します。 New Desktop を省略時の設定にしたい場合は，次のグローバル・シンボル定義を入力します。

   ```
   $ DECW$START_NEW_DESKTOP == "TRUE"
   ```

   DECwindows デスクトップを省略時の設定にしたい場合は，次のグローバル・シンボル定義を入力します。

   ```
   $ DECW$START_NEW_DESKTOP == "FALSE"
   ```

3. 次のコマンドを実行して， DECwindows を再起動します。

   ```
   $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
   ```

A.5 DECwindows Motif ソフトウェアの管理

この章では， Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアのパフォーマンス管理を説明します。テーラリング・ユーティリティを使用したシステム・ディスクへの DECwindows Motif の追加，あるいはシステム・ディスクからの DECwindows Motif の削除を行う方法についても説明します。システム管理についての詳細は，『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

この章の構成および内容は次のとおりです。

- 第 A.5.1 項, DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャ
- 第 A.5.2 項, DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティの使用法 (OpenVMS VAX V5.5–2 のみ)
- 第 A.5.3 項, DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加

- 第 A.5.4 項, 問題の確認と報告

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 製品のインストレーション後にシステムをチューニングすることにより，パフォーマンスを向上させたり，システム・リソースの消費を減らすことができます。システムのチューニングについての詳細は，『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

A.5.1 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャ

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは，ディスプレイ，キーボード，マウスなどのワークステーションのグラフィックス装置を管理します。

注意

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは，ワークステーション・システム上でのみ起動してください。

スタートアップ・コマンド・プロシージャは， DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのほとんどの構成パラメータを自動的に決定します。ただし，次の項目を含めて，コマンド・プロシージャが決定できない項目がいくつかあります。

- モニタは 75dpi か 100dpi のどちらであるか。
- キーボード・レイアウトは，北米のキーボード・レイアウト (LK201–AA または LK201–LA， LK401–AA または LK401–LA など) であるか。
- DECwindows X11 ディスプレイ・サーバが使用するのはDECnet–VAXソフトウェアおよびローカル・トランスポートのみか。
- DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは，正常および異常接続と切断のメッセージを DECW$SERVER_n_ERROR.LOG ファイルに記録するか。

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバが適切に設定されるように，サーバ・スタートアップ・ファイルを次のように変更してください。

1. SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_SERVER_SETUP.TEMPLATE ファイルのコピーを作成し，それを SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_SERVER_SETUP.COM という名前に変更します。このサーバ・スタートアップ・ファイルに，各ワークステーション用の DCL コマンド部分を追加して，個々のワークステーションを設定する方法を明示します。

   サーバ・スタートアップ・ファイルの 2 つのセクションのいずれかにセットアップ・オプションを追加します。‘‘Cluster Common or Standalone Workstation Setup’’セクションに追加したセットアップ・オプションは，クラスタ内のすべてのノードに有効となります。‘‘Cluster Member Workstation-Specific Setup’’部分に追加したセットアップ・オプションは，特定のノードにだけ有効となります。ワークステーション固有のオプションを追加した場合は，変数*node_list*も変更しなければなりません。

2. モニタが 100 dpi をサポートする場合は次の行を追加します。

   ```
   $ DECW$SERVER_DENSITY == "100"
   ```

   この行をモニタが 100 dpi である各ワークステーションのセクションに追加します。または，すべてのワークステーションの共通セクションに追加します (すべてのワークステーションが 100 dpi モニタの場合)。

3. 正常な接続および切断のメッセージをサーバに記録させたいときは，次の行を追加します。

   ```
   $ DECW$SERVER_CONNECT_LOG == "TRUE"
   ```

4. モノクロ GPX ワークステーションの場合は次の行を追加します。

   ```
   $ DECW$COLOR == "FALSE"
   ```

   グレースケール・モニタの場合は変更する必要はありません。

5. ワークステーションで北米 LK201 モデル以外のキーボードを使用している場合は，次の行を追加します。

   ```
   $ DECW$DEFAULT_KEYMAP == "xxxxx"
   ```

上記で，*xxxxx*には該当する DECwindows キーマップ名が入ります。 LK201 または LK401 キーボードのモデル番号から該当する名前を確認することができます。キーボードを裏返しにして，モデル番号が書かれているラベルを確認してください。モデル番号は， LK201–*xx*または LK401–*xx*となっています。モデル番号が， LK201 または LK401 だけの場合があります。この場合，必要な*xx*はラベルの別の部分に記載されています。次のような数字が記載されているはずです。

```
nn-nnnnn-xx
```

この*xx*を使用して，表 A–7 から該当するキーマップ名を選択します。データ・プロセッシング・キーボードのレイアウトの場合は末尾が DP のキーマップを，タイプライタ・レイアウトの場合は末尾が TW のキーマップを選択してください。

表 A–7 は，各キーボードの設計特性に従って構成されています。

キーマップ名を選択したあと， DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ・スタートアップ・ファイルを変更します。たとえば，ドイツ語のタイプライタ・レイアウトに変更する場合は， DECwindowsX11 ディスプレイ・サーバ・スタートアップ・ファイルに次の行を追加します。

```
$ DECW$DEFAULT_KEYBOARD_MAP == "DUTCH_LK201LH_TW"
```

北米キーボード・レイアウトでない各ワークステーションに同じ行を追加します。または，すべてのワークステーションの共通部分 (すべてのワークステーションで同じキーボード・レイアウトを使用する場合) に，これと同じ行を追加します。

6. 次のコマンドを入力して，サーバ・スタートアップを設定した DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

表 A–7　DECwindows のキーマップ

キーボード特性	モデル	DECwindows キーマップ
Austrian/German	LK201-(AG,LG,BG,MG)	AUSTRIAN_GERMAN_LK201LG_DP
		AUSTRIAN_GERMAN_LK201LG_TW
	LK201-(NG,PG)	AUSTRIAN_GERMAN_LK201NG_DP
		AUSTRIAN_GERMAN_LK201NG_TW
	LK401-(AG)	AUSTRIAN_GERMAN_LK401AG_TW
Belgian/French	LK201-(AP,LP,BP,MP)	BELGIAN_FRENCH_LK201LP_DP
		BELGIAN_FRENCH_LK201LP_TW
Belgian/French	LK401-(AP)	BELGIAN_FRENCH_LK401AP_DP
		BELGIAN_FRENCH_LK401AP_TW
British	LK201-(AE,LE,BE,ME)	BRITISH_LK201LE_DP
		BRITISH_LK201LE_TW
British	LK401-(AA,PA)	BRITISH_LK401AA_DP
		BRITISH_LK401AA_TW
Canadian/French	LK201-(AC,LC,BC,MC)	CANADIAN_FRENCH_LK201LC_DP
		CANADIAN_FRENCH_LK201LC_TW
Canadian/French	LK401-(AC,LC,BC,MC)	CANADIAN_FRENCH_LK401AC_DP
		CANADIAN_FRENCH_LK401AC_TW
Danish	LK201-(AD,LD,BD,MD)	DANISH_LK201LD_DP
		DANISH_LK201LD_TW
	LK201-(ED,RD,FD)	DANISH_LK201RD_DP
		DANISH_LK201RD_TW
Danish	LK401-(AD,LD,BD,MD)	DANISH_LK401AD_DP
		DANISH_LK401AD_TW
Dutch	LK201-(AH,LH,BH,MH)	DUTCH_LK201LH_DP
		DUTCH_LK201LH_TW
	LK201-(NH,PH)	DUTCH_LK201NH
	LK401-(NH,PH)	DUTCH_LK401AH
Finnish	LK201-(AF,LF,BF,MF)	FINNISH_LK201LF_DP

(次ページに続く)

表 A–7 (続き) DECwindows のキーマップ

キーボード特性	モデル	DECwindows キーマップ
		FINNISH_LK201LF_TW
	LK201-(NX,PX)	FINNISH_LK201NX_DP
		FINNISH_LK201NX_TW
Finnish	LK401-(AF,LF,BF,MF)	FINNISH_LK401AF_DP
		FINNISH_LK401AF_TW
Flemish	LK201-(AB,LB,BB,MB)	FLEMISH_LK201LB_DP
		FLEMISH_LK201LB_TW
Flemish	LK401-(AB,LB,BB,MB)	FLEMISH_LK401AB_DP
		FLEMISH_LK401AB_TW
Icelandic	LK201-(AU,LU,BU,MU)	ICELANDIC_LK201LU_DP
		ICELANDIC_LK201LU_TW
Italian	LK201-(AI,LI,BI,MI)	ITALIAN_LK201LI_DP
		ITALIAN_LK201LI_TW
Italian	LK401-(AI,LI,BI,MI)	ITALIAN_LK401AI_DP
		ITALIAN_LK401AI_TW
North American	LK201-(AA,LA,BA,MA)	NORTH_AMERICAN_LK201LA
North American	LK401-(AA,LA,BA,MA)	NORTH_AMERICAN_LK401AA
Norwegian	LK201-(AN,LN,BN,MN)	NORWEGIAN_LK201LN_DP
		NORWEGIAN_LK201LN_TW
	LK201-(EN,RN,FN)	NORWEGIAN_LK201RN_DP
		NORWEGIAN_LK201RN_TW
Norwegian	LK401-(AN,LN,BN,MN)	NORWEGIAN_LK401AN_DP
		NORWEGIAN_LK401AN_TW
Portuguese	LK201-(AV,LV,BV,MV)	PORTUGUESE_LK201LV
Portuguese	LK401-(AV,LV,BV,MV)	PORTUGUESE_LK401AV
Spanish	LK201-(AS,LS,BS,MS)	SPANISH_LK201LS_DP
		SPANISH_LK201LS_TW
Spanish	LK401-(AS,LS,BS,MS)	SPANISH_LK401AS_DP

(次ページに続く)

表 A–7 (続き) DECwindows のキーマップ

キーボード特性	モデル	DECwindows キーマップ
		SPANISH_LK401AS_TW
Swedish	LK201-(AM,LM,BM,MM)	SWEDISH_LK201LM_DP
		SWEDISH_LK201LM_TW
	LK201-(NM,PM)	SWEDISH_LK201NM_DP
		SWEDISH_LK201NM_TW
Swedish	LK401-(AM,LM,BM,MM)	SWEDISH_LK401AM_DP
		SWEDISH_LK401AM_TW
Swiss/French	LK201-(AK,LK,BK,MK)	SWISS_FRENCH_LK201LK_DP
		SWISS_FRENCH_LK201LK_TW
Swiss/French	LK401-(AK,LK,BK,MK)	SWISS_FRENCH_LK401AK_DP
		SWISS_FRENCH_LK401AK_TW
Swiss/German	LK201-(AL,LL,BL,ML)	SWISS_GERMAN_LK201LL_DP
		SWISS_GERMAN_LK201LL_TW
Swiss/German	LK401-(AL,LL,BL,ML)	SWISS_GERMAN_LK401AL_DP
		SWISS_GERMAN_LK401AL_TW
Combined US/UK	LK201-(EE,RE,PE)	UK_LK201RE
		US_LK201RE
Combined US/UK	LK401-(EE,RE,PE)	UK_LK401AA
		US_LK401AA

A.5.2 DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティの使用法 (OpenVMS VAX V5.5–2 のみ)

DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用して，システム・ディスクから DECwindows Motif ファイル (ツールキット，アプリケーション，プログラミングのサポート・ファイル) を削除します。後に， DECwindows Motif プログラミング・サポートが必要となった場合は，システムを再インストールして，システム・ディスクにファイルを追加してください。ファイルの追加についての詳細は，第 A.5.3 項を参照してください。

注意

DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用できるのは，VMSINSTAL を使用して DECwindows Motif for OpenVMS をインストールした場合だけです。 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 キットをインストールした場合は，PCSI の PRODUCT REMOVE または PRODUCT RECONFIGURE コマンドを使用してファイルを削除してください (PCSI コマンドについての詳細は，DCL レベルで HELP PRODUCT を入力するか，『POLYCENTER Software Installation Utility User's Guide』を参照してください)。

DECW$MOTIF_TAILOR プロセスには，次の 2 つの段階があります。

- 最初の段階で，DECwindows Motif ファイルのクラスの一覧が表示され，システム・ディスクからクラスを削除するかどうか問い合わせがあります。
- 第 2 の段階で，指定したファイルをシステム・ディスクから削除します。

表 A–8 は，DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用して削除できる DECwindows Motif ファイルのクラス (またはグループ) およびサブクラスの一覧です。 DECwindows Motif ファイルのリスト，およびその概要とクラスについての詳細は，第 A.8 節を参照してください。

表 A–8 DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用して削除できる OpenVMS ファイルのクラス

クラス	サブクラス	概要
VMS DECwindows 実行時サポート	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	DECwindows Motif 実行時サポート
VMS DECwindows CDA サポート	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	DECwindows Motif CDA サポート

(次ページに続く)

表 A–8 (続き) DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティを使用して削除できる OpenVMS ファイルのクラス

クラス	サブクラス	概要
VMS DECwindows Motif アプリケーション・ファイル	DECwindows Motif コンパイラ・ベース命令 (CBI)	DECwindows Motif アプリケーション・ファイルは各種アプリケーションを提供します。
DECwindows Motif C プログラミング・サポート・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	DECwindows Motif C プログラミング・サポート・ファイルは主にアプリケーション開発用です。 DECwindows Motif アプリケーションの実行には必要ありません。これらのファイルは，マサチューセッツ工科大学 (MIT) で開発された規約と標準を使用して C 言語でプログラミングするために提供されます。
DECwindows FORTRAN プログラミング・サポート・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	FORTRAN サポート・ファイルは，FORTRAN プログラミング言語用に提供されます。主にアプリケーション開発用です。 DECwindows Motif アプリケーションの実行には必要ありません。
DECwindows Pascal プログラミング・サポート・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	FORTRAN サポート・ファイルは，Pascal プログラミング言語用に提供されます。主にアプリケーション開発用です。 DECwindows Motif アプリケーションの実行には必要ありません。
DECwindows Motif サンプル・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	DECwindows Motif サンプル・ファイル
サウンド・エディタ・サポート・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	サウンド・エディタ・サポート・ファイル
NCSA Mosaic	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	NCSA Mosaic web ブラウザ

システム・ディスクから DECwindows Motif ファイルを削除する手順

システム・ディスクから DECwindows Motif ファイルを削除するには，次の手順を実行します。

1. SYSTEM アカウントでログインします。

2. DCL プロンプトで次のコマンドを入力します。

```
$ RUN SYS$UPDATE:DECW$MOTIF_TAILOR
```

簡単な説明のあと，ファイルの各グループつまりクラスとそのブロック・サイズの一覧が表示されます。ファイルは，機能に従ってグループ分けされています。たとえば，DECwindows for OpenVMS のデバイス・サポートに必要なすべてのファイルが 1 つのクラスにまとめられています。ファイル・クラスは，多数の小さなサブクラスで構成されます。ファイルのクラス全体を削除することもできるし，サブクラスの 1 つまたは複数を削除することもできます。次はその例です。

```
CLASS - VMS DECwindows Motif applications files
            Size of entire class (with subclasses): 12181
            Size of common files required for any subclass: 11160
            Do you wish to select the entire class (default = NO)?
            Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)?
          .
          .
          .
```

3. どのファイル・クラスまたはサブクラスが，システムのサポートに必要であるかどうか判断します。 DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティから順次指示が出ます。その指示に従って，削除したいファイルまたはサブクラスを指定してください。
4. 指定したファイルが DECW$MOTIF_TAILOR ユーティリティにより削除され，削除されたファイル名が表示されます。

ログ・ファイルにある‘‘file not found’’というメッセージは無視してかまいません。テーラリング機能は，このメッセージに影響されません。インストレーション・プロシージャで，読み出していないファイルも削除されます。

警告

最初の段階で DECW$MOTIF_TAILOR をキャンセルするには，Ctrl/C，Ctrl/Y または Ctrl/Z を押します。第 2 の段階で DECW$MOTIF_TAILOR をキャンセルすると，ディスクが部分的にテーラリングされた結果になる場合があります。 2 つの段階の説明については，第 A.5.2 項を参照してください。

例 A–2 は，DECW$MOTIF_TAILOR を使用して，システム・ディスクからファイルを削除する例です。

例 A–2 DECW$MOTIF_TAILOR セッションの例

```
$ RUN SYS$UPDATE:DECW$MOTIF_TAILOR
   .
   .
   .

TAILOR-OFF
----------
 You will now be prompted with a list of the classes and subclasses of
 DECwindows files that are optional. The size of each class and subclass is
 included in the list. This will help you decide whether or not you want to
 remove a class or subclass from your system.

 Under some classes there is a set of common files that is required in order
 for any subclasses to work. These files will only be deleted if you remove
 the ENTIRE class. If you choose to keep any subclass, this set of files is
 not deleted.

 NOTE: The files associated with selected classes and subclasses will
       be removed from your system.

Total size of the system disk is 2050860 blocks.
Total space used on the system disk is 684720 blocks.
Total space left on the system disk is 1366140 blocks.

CLASS - VMS DECwindows Runtime Support
          Size of entire class (with subclasses): 27303
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return

CLASS - VMS DECwindows CDA Support
          Size of entire class (with subclasses): 3625
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Yes
```

(次ページに続く)

例 A–2 (続き) DECW$MOTIF_TAILOR セッションの例

```
CLASS - VMS DECwindows Motif applications files
          Size of entire class (with subclasses): 12181
      Size of common files required for any subclass: 11160
      Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
      Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? Return

CLASS - DECwindows C programming support files
          Size of entire class (with subclasses): 6727
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Yes

CLASS - DECwindows FORTRAN programming support files
          Size of entire class (with subclasses): 2404
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Yes

CLASS - DECwindows Pascal programming support files
          Size of entire class (with subclasses): 3009
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return

CLASS - DECwindows Motif example files
          Size of entire class (with subclasses): 9535
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Yes

CLASS - Sound editor support files
          Size of entire class (with subclasses): 1776
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Yes

CLASS - NCSA Mosaic
          Size of entire class (with subclasses): 1168
      No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
```

(次ページに続く)

例 A–2 (続き) DECW$MOTIF_TAILOR セッションの例

```
Files have been selected
Do you wish to remove all of the options selected? Return
Do you wish to remove all of the options selected? Yes
Removing files, please wait...
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[CDA$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DDIF$CSW.UID;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DDIF$VIEW.UID;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DDIF$VIEWWGT.UID;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DDIF$VIEWWGT12.UID;*
%VMSTLR-I-DELFILE, deleting file: SYS$SYSROOT:[SYSEXE]CDA$CONVERT.EXE;*
.
.
.
```

A.5.3 DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加

以前に DECwindows ベース・サポート・ファイルのインストールを選択していない場合，または削除した場合， DECwindows ベース・サポート・ファイルを追加するには，次の手順を実行します。

- OpenVMS Alpha システムの場合， DECwindows Motif サポートが必要であることを指定してオペレーティング・システムを再設定します。
- OpenVMS VAX システムの場合，システム・ディスクへのサポート・ファイルの追加，あるいはシステム・ディスクからのサポート・ファイルの削除を行う場合は， SYS$UPDATE:DECW$TAILOR.EXE プロシージャを使用します。

A.5.3.1 OpenVMS オペレーティング・システムの再設定 (Alpha のみ)

DECwindows Motif サポートを追加するために OpenVMS Alpha オペレーティング・システムを再設定するには， PRODUCT RECONFIGURE コマンドを使用します。

A.5.3.2 SYS$UPDATE:DECW$TAILOR.EXE コマンドの使用 (VAX のみ)

DECW$TAILOR ユーティリティを使用して，システム・ディスクから DECwindows ベース・サポート・ファイルの一部または全部の追加あるいは削除を行うことができます。

DECW$TAILOR は，DECW$MOTIF_TAILOR に類似したユーティリティですが，DECW$TAILOR はディスプレイ・サーバのサポート・ファイルを追加または削除することができます (例: ベース・サポート，ワークステーション，フォント・ファイル)。

DECW$TAILOR には 3 つの段階があります。

- 最初の段階で，‘‘tailor on’’を選択してシステムをテーラリングするか問い合わせがあります。
- 第 2 の段階で，tailor-on プロシージャを選択すると，DECwindows ファイルのクラスの一覧が表示され，システム・ディスクに含めるかどうか問い合わせがあります。 tailor-off プロシージャを選択すると，DECwindows ファイルのクラスの一覧が表示され，システム・ディスクから削除するかどうか問い合わせがあります。
- 第 3 の段階で，指定されたプロシージャが DECW$TAILOR により実行されます。

注意

最初の段階または第 2 の段階で DECW$TAILOR をキャンセルするには，Ctrl/C，Ctrl/Y または Ctrl/Z を押します。第 3 の段階で DECW$TAILOR をキャンセルすると，ディスクが部分的にテーラリングされた結果になる場合があります。

表 A–9 は，DECW$TAILOR を使用してシステムから追加または削除できる DECwindows ファイルのクラスとサブクラスの一覧です。

注意

OpenVMS VAX V5.5–2 では，クラスの名称が異なります。表中では，V6.2 および V7.1 で使用されているクラス名の下に括弧に入れて併記してあります。

表 A–9 DECW$TAILOR ユーティリティを使用して追加または削除できるファイルのクラス

クラス	サブクラス	概要
DECwindows ベース・サポート・ファイル (DECwindows アプリケーション・ファイル)	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	DECwindows Motif クライアントおよび DECwindows Motif ディスプレイ・サーバを実行するために必要なファイル
DECwindows ワークステーション・サポート・ファイル (DECwindows デバイス・サポート・ファイル)	PEX for PHIGS サポート・ファイル	DECwindows ディスプレイ・サーバを実行するのに必要なファイル (PEX サブクラスには 3 次元グラフィックス用のサポート・ファイルも含まれています)
75-dpi ビデオ・フォント・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	75-dpi モニタ用デバイス・サポート・ファイル
100-dpi ビデオ・フォント・ファイル	このテーラ・クラスにサブクラスはありません。	100-dpi モニタ用デバイス・サポート・ファイル

DECwindows ファイルをシステム・ディスクに追加する手順

システム・ディスクから DECwindows Motif ファイルを追加するには，次の手順を実行します。

1. SYSTEM アカウントでログインします。
2. DCL プロンプトで次のコマンドを入力して，ユーティリティを呼び出します。

```
$ RUN SYS$UPDATE:DECW$TAILOR
```

簡単な説明のあと，ファイルの各グループつまりクラスとそのブロック・サイズの一覧が表示されます。ファイルは，機能に従ってグループ分けされています。たとえば，DECwindows のデバイス・サポートに必要なすべてのファイルが 1 つのクラスにまとめられています。ファイル・クラスは，多数の小さな

サブクラスで構成されます。ファイルのクラス全体を追加することもできますし，サブクラスの 1 つまたは複数を追加することもできます。次はその例です。

```
CLASS - DECwindows device support files
          Size of entire class (with subclasses): 14107
          Size of common files required for any subclass: 10645
          Do you wish to select the entire class (default = NO)?
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)?
   .
   .
   .
```

3. どのファイル・クラスまたはサブクラスが，システムのサポートに必要かどうか判断します。 DECW$TAILOR から順次指示が出ます。その指示に従って，追加したいファイルまたはサブクラスを指定します。

警告

この段階で DECW$TAILOR をキャンセルするには，Ctrl/C，Ctrl/Y または Ctrl/Z を押します。このクラス選択段階で DECW$TAILOR をキャンセルすると，ディスクが部分的にテーラリングされた結果になる場合があります。

4. DECW$TAILOR ユーティリティにより一時コマンド・ファイルが作成され，ディストリビューション・メディアの入ったデバイス名を問い合わせます。

注意

ディストリビューション・メディアは，DECwindows セーブセットの入った OpenVMS ディストリビューション・メディアです。

5. 指定したファイルが DECW$TAILOR ユーティリティにより追加され，追加されたファイル名が表示されます。

例 A–3 は，DECW$TAILOR を使用して，システム・ディスクにファイルを追加する例です。サンプルは OpenVMS VAX V5.5–2 システムで実行したものです。

例 A–3　DECW$TAILOR セッションのサンプル

```
$ RUN SYS$UPDATE:DECW$TAILOR
   .
   .
   .
 Do you want to tailor files "ON" or "OFF"? ON

TAILOR-ON
---------
 You will now be prompted with a list of the classes and subclasses
 of DECwindows files that are optional. The size of each class and subclass is
 included in the list. This will help you decide whether or not you want to add
 a class or subclass to your system.

 Under some classes, there is a set of common files that is required in order
 for any subclasses to work. These files are added when you ask
 for either the entire class or any of its subclasses.

Total size of the system disk is 1216665 blocks.
Total space used on the system disk is 1121958 blocks.
Total space left on the system disk is 94707 blocks.

CLASS - DECwindows applications files
          Size of entire class (with subclasses): 11544
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? YES

CLASS - DECwindows device support files
          Size of entire class (with subclasses): 14107
          Size of common files required for any subclass: 10645
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? Return

CLASS - 75 dots per inch video font files
          Size of entire class (with subclasses): 2539
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return

CLASS - 100 dots per inch video font files
          Size of entire class (with subclasses): 3829
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
```

(次ページに続く)

例 A–3 (続き)　DECW$TAILOR セッションのサンプル

```
CLASS - DECwindows programming support files
          Size of entire class (with subclasses): 26208
          Size of common files required for any subclass: 924
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
          Do you wish to select any of its subclasses (default = NO)? Return

CLASS - Example files
          Size of entire class (with subclasses): 3160
          No subclasses in this tailor class.
          Do you wish to select the entire class (default = NO)? Return
Files have been selected
Do you wish to add all of the options selected? YES
Creating temporary command file, please wait...
* Enter device containing DECwindows distribution media:
   .
   .
   .
```

A.5.4　問題の確認と報告

DECwindows Motif を使用していて問題が発生した場合は，弊社にご連絡ください。保証の詳細については，『ソフトウェア仕様書』で確認してください。保証期間中に問題が発生した場合は，次の選択があります。

- ソフトウェア契約または保証契約にテレフォン・サポート契約が含まれる場合は，弊社のサポート担当者に連絡してください。
- ドキュメントについて問題を発見した場合あるいはご意見がある場合は，ドキュメントの最後に添付された「マニュアルに対するご意見」用紙にご記入のうえ，弊社にお送りください。

A.6 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用したインストレーション実行例

この付録では，次の OpenVMS のシステムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする実行例を紹介します。

- 第 A.6.1 項は，OpenVMS Alpha V7.1–2 オペレーティング・システムに DECwindows Motif をインストールする実行例です。
- 第 A.6.2 項は，OpenVMS VAX V7.1 オペレーティング・システムに DECwindows Motif をインストールする実行例です。
- 第 A.6.3 項は，OpenVMS Alpha V6.2 オペレーティング・システムに DECwindows Motif をインストールする実行例です。

POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 ソフトウェアをインストールする方法と手順についての詳細は，第 A.2 節を参照してください。

ここに示すインストレーション実行例では，省略時のディレクトリを，PCSI ECO および DECwindows Motif セーブセットの入っているデバイス名およびディレクトリに設定していることを想定しています。 PCSI ECO は V7.2 よりも前の OpenVMS のサポート・バージョンでのみ必要です。この ECO についての詳細は，『Guide to the Compaq DECwindows Motif for OpenVMS CD-ROM』を参照してください。

A.6.1 OpenVMS Alpha V7.1–2 システムへのインストレーション実行例

例 A–4 は，必須 PCSI ECO のインストレーション実行例です。例 A–5 は，十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha バージョン 7.1–2 オペレーティング・システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする実行例です。

例 A–4 OpenVMS Alpha システムへ PCSI 用必須 ECO をインストールする実行例

```
          Welcome to the OpenVMS Alpha Operating System, Version 7.1

$ PRODUCT INSTALL VMS62TO71U2_PCSI Return

The following product has been selected:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0        Patch (maintenance update)

Do you want to continue? [YES] Return

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0

* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0        DISK$2:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%
...10%
...20%
...40%
...50%
...80%
...90%
```

(次ページに続く)

例 A–4（続き） OpenVMS Alpha システムへ PCSI 用必須 ECO をインストールする実行例

```
...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0        Patch (maintenance update)
```

例 A–5　十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha V7.1–2 システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF [Return]

The following product has been selected:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6              Layered Product

Do you want to continue? [YES] [Return]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

Checking values of system parameters...
                                       OK

Do you want the defaults for all options? [YES] [Return]

    If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

    Do you want to continue? [YES] [Return]

Do you want to review the options? [NO] Y [Return]

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif
    DEC AXPVMS VMS V7.1 [Installed]
    Install New Desktop: YES
      Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
      Make the New Desktop the default desktop: YES
    Install traditional DECwindows Desktop: YES
    Programming Support for the C Language: YES
```

(次ページに続く)

例 A–5 (続き) 十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha V7.1–2 システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
    Programming Support for the Pascal Language: YES
    Programming Support for the FORTRAN Language: YES
    Programming Support for the New Desktop: YES
    Programming examples: YES
      Sound example files: YES
            Programming examples for DECwindows: YES
      Programming examples for the New Desktop: YES

Are you satisfied with these options? [YES]  Return

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             DISK$2:[VMS$COMMON.]
The following product will be removed from destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5             DISK$2:[VMS$COMMON.]


Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%

  **** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****

  **** DECwindows device support files DETECTED ****

...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product
The following product has been removed:
```

(次ページに続く)

例 A–5 (続き) 十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha V7.1–2 システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5              Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    System reboot will be required following upgrade of language variants.

    Installation Verification Procedure can be run after reboot.
$ Logout [Return]
```

A.6.2 OpenVMS VAX V7.1 システムへのインストレーションの実行例

例 A–6 は，十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムへ Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする実行例です。

例 A–6 十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をアップグレードする実行例

```
The following product has been selected:
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

 Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

Checking values of system parameters...
  %DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter PQL_MBYTLM is 40000, should be at least 48000

  The installation procedure has determined that some system parameter values
  require modification to install the DECwindows Motif Version 1.2-6 for
  OpenVMS software.

  Please type the following command to run AUTOGEN and reboot your system
  before restarting the DECwindows installation.  This will set the system
  parameters to appropriate values for running DECwindows Motif V1.2-6.

        @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

(次ページに続く)

例 A–6 (続き) 十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をアップグレードする実行例

```
The DECwindows installation is being terminated.

Please run AUTOGEN and restart the installation.

%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition

  SYSTEM       logged out at 20-NOV-2000 17:03:49.25
```

ここで AUTOGEN を実行して、インストレーションを再開します。

```
The following product has been selected:
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6              Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency
requirements.

DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

Checking values of system parameters...

                                     OK

Do you want the defaults for all options? [YES]

    If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.
```

(次ページに続く)

例 A–6 (続き) 十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をアップグレードする実行例

```
   Do you want to continue? [YES]

Do you want to review the options? [NO]Y Return

DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif
    DEC VAXVMS VMS V7.1 [Installed]
    DECwindows Motif runtime support files: YES
          Programming Support for the C Language: YES
    Programming Support for the FORTRAN Language: YES
    Programming Support for the Pascal Language: YES
    Programming examples: YES

Are you satisfied with these options? [YES] Return
Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6             DISK$VAX71_124_P2:[VMS$COMMON.]
The following product will be removed from destination:
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-5             DISK$VAX71_124_P2:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%

  **** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****
  **** DECwindows device support files DETECTED ****

...100%

The following product has been installed:
```

(次ページに続く)

例 A–6 (続き) 十分なシステム・リソースのある OpenVMS VAX V7.1 システムで Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をアップグレードする実行例

```
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product
The following product has been removed:
    DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-5             Layered Product

DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    System reboot will be required following upgrade of language variants.

    Installation Verification Procedure can be run after reboot.
       DEC VAXVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    System reboot will be required following upgrade of language variants.
    Installation Verification Procedure can be run after reboot.
```

A.6.3 OpenVMS Alpha V6.2 システムへのインストレーションの実行例

例 A–7 は，PCSI ユーティリティ用の必須 ECO のインストレーション実行例です。例 A–8 は，十分なシステム・リソースのある OpenVMS Alpha V6.2 オペレーティング・システムに Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールする実行例です。

例 A–7 OpenVMS Alpha システムへ PCSI 用必須 ECO をインストールする実行例

```
The following product has been selected:
DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0

Do you want to continue? [YES]  Return

*** DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0

%PCSIUI-I-DONEASK, execution phase starting
The following product will be installed:
DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0
%PCSI-I-VOLINFO, estimated space information for volume DISK$2
-PCSI-I-VOLSPC, -331 required; 2851892 available; 2852223 net

Portion Done: 0%
...10%
...40%
...80%
...90%
...100%
The following product has been installed:
DEC AXPVMS VMS62TO71U2_PCSI V1.0
```

例 A–8　十分なシステム・リソースがない OpenVMS Alpha システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF [Return]


The following product has been selected:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product

Do you want to continue? [YES] [Return]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and
for any products that may be installed to satisfy software dependency
requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

Checking values of system parameters...
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 110000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter NPAGEDYN is 1867776, should be at least 1998848

  The installation procedure has determined that some system parameter values
  require modification to install the DECwindows Motif Version 1.2-6 for
  OpenVMS software.

  Please type the following command to run AUTOGEN and reboot your system
  before restarting the DECwindows installation.  This will set the system
  parameters to appropriate values for running DECwindows Motif V1.2-6.

        @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK


The DECwindows installation is being terminated.
```

(次ページに続く)

例 A–8 (続き) 十分なシステム・リソースがない OpenVMS Alpha システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
Please run AUTOGEN and restart the installation.

%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

ここで AUTOGEN を実行して、インストレーションを再開します。

```
The following product has been selected:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product

Do you want to continue? [YES] Return

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency
requirements.
 DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF

Checking values of system parameters...

                                      OK

Do you want the defaults for all options? [YES] Return

    If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

    Do you want to continue? [YES] Return
```

(次ページに続く)

例 A–8 (続き) 十分なシステム・リソースがない OpenVMS Alpha システムで DECwindows Motif をアップグレードする実行例

```
Do you want to review the options? [NO] Y Return

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif
    DEC AXPVMS VMS V6.2-1H3 [Installed]
       Install New Desktop: YES
      Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
      Make the New Desktop the default desktop: YES
    Install traditional DECwindows Desktop: YES
    Programming Support for the C Language: YES
    Programming Support for the Pascal Language: YES
    Programming Support for the FORTRAN Language: YES
    Programming Support for the New Desktop: YES
    Programming examples: YES
      Sound example files: YES
      Programming examples for DECwindows: YES
      Programming examples for the New Desktop: YES

Are you satisfied with these options? [YES] Return

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             DISK$2:[VMS$COMMON.]
The following product will be removed from destination:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5             DISK$2:[VMS$COMMON.]
    Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%

  **** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****
```

(次ページに続く)

例 A–8（続き） 十分なシステム・リソースがないOpenVMS Alphaシステムで DECwindows Motifをアップグレードする実行例

```
  **** DECwindows device support files DETECTED ****

...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6             Layered Product
The following product has been removed:
    DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-5             Layered Product
  DEC AXPVMS DWMOTIF V1.2-6: DECwindows Motif

    System reboot will be required following upgrade of language variants.

    Installation Verification Procedure can be run after reboot.
```

A.7 VMSINSTALを使用したインストレーション実行例

この付録では，VMSINSTALを使用したインストレーションの実行例を紹介します。

A.7.1 VMSINSTALを使用したOpenVMS VAX V5.5–2へのインストレーション実行例

例 A–9は，VMSINSTALプロシージャを使用してOpenVMS VAX V5.5-2へCompaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6をインストールする実行例です。インストレーション実行例は，システムにログインしているユーザがいないこと，リリース・ノートを表示するOPTIONS Nが指定されていることを前提としています。

例 A–9　VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL DWMOTIFVAXU6012

        VAX/VMS Software Product Installation Procedure V5.5-2

It is 26-MAR-2000 at 10:36.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? Return

* Where will the distribution volumes be mounted: DAD2:[000000] Return

Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: dwmotifvaxu6012 Return

* Enter installation options you wish to use (none): Return

The following products will be processed:

  DWMOTIFVAXU6 V1.2

        Beginning installation of DWMOTIFVAXU6 V1.2 at 10:36

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

        *** Installing DECwindows Motif for OpenVMS VAX software ***

  Copyright 2000 Compaq Computer Corporation

  COMPAQ Registered in U.S. Patent and Trademark Office.

  Confidential computer software. Valid license from Compaq or authorized
  sublicensor required for possession, use , or copying. Consistent with
  FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software
  Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed
  to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

  You can install the DECwindows Motif kit completely or in selected
  portions.  A complete installation requires as many as 68,400 blocks.
  If you choose to perform a partial installation, you can select
  (tailor) the programming support files that support your DECwindows
  Motif application development.  Whether you perform a complete or partial
  installation, this kit provides support for running DECwindows Motif
  applications on OpenVMS compute servers.

* Do you want to install the entire kit [Y]? No Return
```

(次ページに続く)

例 A–9 (続き) VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例

```
  This installation procedure provides support files for developing
  DECwindows Motif applications in several programming languages.  These
  files are needed only to develop applications and are not required to run
  DECwindows Motif applications.  The free disk space requirement for each
  programming support file ranges from 3000 to 8000 blocks.

* Do you want to install DECwindows Motif programming support [Y]? Return

  Support files are supplied for the following OpenVMS programming languages:

  FORTRAN, Pascal

  In addition, support files are supplied for programming in the C language
  using conventions and standards developed at the Massachusetts Institute
  of Technology.

* Do you want to install all programming language support files [Y]? Return

* Do you want to install DECwindows Motif programming examples [Y]? Return

  You have selected the following portions of the kit:

        o  DECwindows Motif Applications and Run-time Libraries

        o  DECwindows Motif programming examples

        o  DECwindows Motif programming support
               FORTRAN, Pascal
               MIT C language programming conventions

* Are these selections correct [Y]? Return

  A registered and loaded product authorization key for DW-MOTIF is
  required to run any DECwindows Motif for OpenVMS application. If you
  answer NO to the next question, the installation of DECwindows Motif for
  OpenVMS will be terminated.

        Product:      DW-MOTIF
        Producer:     DEC
        Version:
        Release Date:

* Does this product have an authorization key registered and loaded? Yes Return
```

(次ページに続く)

例 A–9 (続き) VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例

```
  DECwindows Motif will not start if your system parameters are not
  correct.

  o If you allow a system shutdown, the installation procedure will
    reboot the system at the end of the installation.  If your system
    parameters are incorrect, the installation will run AUTOGEN prior
    to the system reboot.

  o If you do not allow a system shutdown, the installation procedure
    will continue, and you will be informed at the end of the
    installation whether you need to modify your system parameters in
    order to start DECwindows Motif.

    To complete the installation of this product, you should reboot
    the system.  If it is not convenient to reboot at this time, then
    enter NO to the following question.

    If you enter NO, the installation procedure will continue.

* Will you allow a system shutdown after this product is installed [YES]? No Return

  No further questions will be asked.

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set D ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set G ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set H ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set I ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set J ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set L ...
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...

  You may safely ignore the following NCP error message(s):

%NCP-I-SUCCESS,  Success
Object = X$X0
%NML-I-RECDELET, Database entry deleted
```

(次ページに続く)

例 A–9 (続き) VMSINSTAL を使用したインストレーション実行例

```
  The Installation Verification Procedure (IVP) should be run after the
  installation has been completed and DECwindows Motif has been restarted.
  The IVP can be found in SYS$TEST:DECW$IVP.COM.

  The installation procedure has determined that your system parameters are
  set correctly and that it will not be necessary to run AUTOGEN or reboot
  the system.

  If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
  Motif with the following DCL command:

       $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

  If your system is NOT already running DECwindows Motif, start DECwindows
  Motif with the following DCL command:

       $ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP

                            * * * N O T E * * *

  If you are installing DECwindows Motif from your workstation console, log
  off after you enter the command to start DECwindows Motif.


  The installation procedure has determined that your system parameter values
  are acceptable.  A reboot of the system is not required.

        Installation of DWMOTIFVAXU6 V1.2 completed at 10:57

Enter the products to be processed from the next distribution volume set.
* Products: Return
    VMSINSTAL procedure done at 12:45
```

A.8 ソフトウェア構成要素

POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを使用して Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 をインストールした場合は，インストールされているファイルとファイルのインストール先ディレクトリとサブディレクトリのリストを確認することができます。

このリストを呼び出すには，次の PCSI コマンドを入力してください。

```
$ PRODUCT SHOW OBJECT/product=dwmotif
```

次は，コマンドの出力結果の例です。

```
OBJECT                                    OBJECT TYPE
------                                    -----------
[000000]                                  directory
[000000]DEC-AXPVMS-DWMOTIF-V0102-6-1.PCSI$DESCRIPTION file
[000000]DEC-AXPVMS-DWMOTIF-V0102-6-1.PCSI$TLB file
[CDA$LIBRARY]                             directory
[CDA$LIBRARY]CL_DAY.DOC_STYLE             file
[CDA$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF                file
[CDE$DEFAULTS]                            directory
[CDE$DEFAULTS]                            directory
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM]                     directory
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM]                     directory
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS]        directory
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]      directory
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DT.DAT file
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCALC.DAT file
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCREATE.DAT file
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTFILE.DAT file
[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTHELLO.DAT file
.
.
.
```

B

インストレーション実行例

この付録では，インストレーションの実行例と旧バージョンを削除するテーラリングの例を紹介します。

B.1 インストレーション実行例 (Alpha 版)

以下に，日本語 Compaq OpenVMS V7.3 に日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 for OpenVMS Alpha をインストールする実行例を紹介します。

この例では，すべてのオプションをインストールします。また，DECnet がシャットダウンしていて，ユーザがログインしていないことを前提としています。

```
$ product install jdecw/source=dka400:[dwma_ja_jpu6012.kit]

The following product has been selected:
    DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese

    (c) 1988, 2001 Compaq Computer Corporation

    Compaq Computer Corporation

    This product uses the PAK: DW-MOTIF and DW-MOTIF-UI-JAPANESE

Do you want the defaults for all options? [YES] yes

Do you want to review the options? [NO] yes
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese
    Do you need to install Japanese keymaps?: YES
    Do you need to install 100dpi Japanese font?: YES
    Do you need to install 75dpi Japanese font?: YES

Are you satisfied with these options? [YES]

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               DISK$ALPHASYS:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been installed:
    DEC AXPVMS JDECW V1.2-6               Layered Product

DEC AXPVMS JDECW V1.2-6: DECwindows Motif /Japanese

    This product requires the following SYSGEN parameters:
        GBLPAGES add 16000

    This product requires the following SYSGEN parameters:
        GBLSECTIONS add 60

    Installation Verification Procedure can be run after reboot.

    Run the Installation Verification Procedure (IVP) after the installation
    is completed and the system is rebooted.
    The IVP is SYS$TEST:DECW$IVP_JA_JP.COM.


    Installation of DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS AXP V1.2-6 is now complete.


    Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

                PAK Name
                DW-MOTIF
                DW-MOTIF-UI-JAPANESE

    These are required to run any DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS
    application.

    If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
    Motif with the following DCL command:
            $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

    If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows
    Motif with the following DCL command:
            $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

B.2 インストレーション実行例 (VAX 版)

以下に，日本語 Compaq OpenVMS V7.3 に日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2-6 for OpenVMS VAX をインストールする実行例を紹介します。

この例では，すべてのオプションをインストールします。また，DECnet がシャットダウンしていて，ユーザがログインしていないことを前提としています。

```
$ @sys$update:vmsinstal dwmv_ja_jpu6012 dka400:[dwmv_ja_jpu6012.kit]

        OpenVMS VAX Software Product Installation Procedure V7.3

It is 12-JUN-2001 at 20:16.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? yes

The following products will be processed:

  DWMV_JA_JPU6 V1.2

        Beginning installation of DWMV_JA_JPU6 V1.2 at 20:16

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

        *** Installing DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS VAX V1.2-6 Software ***

Copyright 2001 Compaq Computer Corporation

COMPAQ Registered in U.S. Patent and Trademark Office.

Confidential computer software. Valid license from Compaq or authorized
sublicensor required for possession, use , or copying. Consistent with
FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software
Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed
to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

 Installing I18N component

  A registered and loaded product authorization keys for
        DW-MOTIF and DW-MOTIF-UI-JAPANESE
  is required to run any DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS application.
  If you answer NO to the next questions, the installation of DECwindows
  Motif for OpenVMS will be terminated.
```

```
        Product:      DW-MOTIF-UI-JAPANESE
        Producer:     DEC
        Version:
        Release Date:

* Does this product have an authorization key registered and loaded? yes

        Product:      DW-MOTIF
        Producer:     DEC
        Version:
        Release Date:

* Does this product have an authorization key registered and loaded? yes
The free disk requirement for installing Japanese keymap is about 200 blocks
* Do you need to install Japanese keymaps [Y]? Y

The free disk requirement for installing 75DPI Japanese fonts is
about 16000 blocks
* Do you need to install 75dpi Japanese font [Y]? Y

The free disk requirement for installing 100DPI Japanese fonts is
about 14000 blocks
* Do you need to install 100dpi Japanese font [Y]? Y

        The following parts of the kit will be installed.

        Run-Time Libraries
        CDA support
        Applications
        Programming support
        Motif Examples
        JAPANESE keymaps
        75dpi JAPANESE font
        100dpi JAPANESE font

* Is this correct [Y]? Y

        No further questions will be asked.
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$INCLUDE.XIMP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$INCLUDE.DIMS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.C].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DA].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DE].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.EL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.EN].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ES].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FR].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IT].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_EUC].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_JIS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_DECKANJI].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_SJIS].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.KO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NO].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
```

```
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.PL].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.PT].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.RU].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SH].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SK].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SV].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.TR].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ZH].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ZH_TW].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[SYS
UPD.DECWMI18N126].
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...

        ======================================================
                Saving standard images for en_us_rtl ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DECW$DXMLIBSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSU
PD.DECWMI18N126]DECW$DXMLIBSHR.EXE;1 (951 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DECW$TERMINALSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SY
SUPD.DECWMI18N126]DECW$TERMINALSHR.EXE;1 (674 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DECW$XMLIBSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUP
D.DECWMI18N126]DECW$XMLIBSHR.EXE;1 (1731 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DECW$XTSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUPD.D
ECWMI18N126]DECW$XTSHR.EXE;1 (373 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...

        ======================================================
                Saving standard files for en_us_cda ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[CDA$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF;1 copied to VMI$ROOT:[SYSU
PD.DECWMI18N126]DEFSTYLE.DDIF;1 (4 blocks)

        ======================================================
                Saving standard images for en_us_cda ...
        ======================================================
```

```
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DDIF$VIEWSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUPD.
DECWMI18N126]DDIF$VIEWSHR.EXE;1 (23 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set D ...

        ======================================================
                Saving standard files for en_us_apps ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MWM.DAT;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$MWM.DAT;1 (16 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$NOTEPAD.DAT;1 copied to VM
I$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$NOTEPAD.DAT;1 (2 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$NOTEPAD.UID;1 copied to VM
I$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$NOTEPAD.UID;1 (104 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$PUZZLE.DAT;1 copied to VMI
$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$PUZZLE.DAT;1 (2 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$PUZZLE.UID;1 copied to VMI
$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$PUZZLE.UID;1 (40 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]VUE$SYSTEM_PROFILE.VUE$DAT;1 co
pied to VMI$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]VUE$SYSTEM_PROFILE.VUE$DAT;1 (99 blocks)

        ======================================================
                Saving standard images for en_us_apps ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSEXE]DECW$NOTEPAD.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUPD.
DECWMI18N126]DECW$NOTEPAD.EXE;1 (97 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSEXE]DECW$PUZZLE.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUPD.D
ECWMI18N126]DECW$PUZZLE.EXE;1 (57 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set E ...

        ======================================================
                Saving standard files for en_us_prgm ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WMD;1 cop
ied to VMI$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WMD;1 (125 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WML;1 cop
ied to VMI$ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WML;1 (145 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set F ...

        ======================================================
                Saving standard files for en_us_xmpl ...
        ======================================================
```

```
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.C;1 copied to VMI$ROO
T:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECBURGER.C;1 (97 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.COM;1 copied to VMI$R
OOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECBURGER.COM;1 (6 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.UIL;1 copied to VMI$R
OOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECBURGER.UIL;1 (110 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.UID;1 copied to VMI$R
OOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECBURGER.UID;1 (72 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.C;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]HELLOMOTIF.C;1 (8 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.UIL;1 copied to VMI$
ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]HELLOMOTIF.UIL;1 (4 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.UID;1 copied to VMI$
ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]HELLOMOTIF.UID;1 (16 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.C;1 copied to VMI$ROOT
:[SYSUPD.DECWMI18N126]PERIODIC.C;1 (37 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.DAT;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]PERIODIC.DAT;1 (3 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.UIL;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]PERIODIC.UIL;1 (71 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.UID;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]PERIODIC.UID;1 (112 blocks)

        ======================================================
                Saving standard images for en_us_xmpl ...
        ======================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.EXE;1 copied to VMI$R
OOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]DECBURGER.EXE;1 (24 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.EXE;1 copied to VMI$
ROOT:[SYSUPD.DECWMI18N126]HELLOMOTIF.EXE;1 (8 blocks)
%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.EXE;1 copied to VMI$RO
OT:[SYSUPD.DECWMI18N126]PERIODIC.EXE;1 (16 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set G ...

        ============================================================
                  Checking files in specific directories
        Please delete/modify those files in order to function properly
        ============================================================
```

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[DEC
W$DEFAULTS.USER.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[VUE
$LIBRARY.SYSTEM.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[VUE
$LIBRARY.USER.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[SYS
HLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[CDA
$LIBRARY.JA_JP].
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory  VMI$ROOT:[SYS
UPD.DECWMI18N126.JAPANESE].
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set I ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set J ...

        ========================================================
                Saving standard images for rtl ...
        ========================================================

%COPY-S-COPIED, VMI$ROOT:[SYSLIB]DECW$DWTSHR.EXE;1 copied to VMI$ROOT:[SYSUPD.
DECWMI18N126.JAPANESE]DECW$DWTSHR.EXE;1 (1073 blocks)
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set K ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set L ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set M ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set N ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set O ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set P ...

        ============================================================
                  Checking files in specific directories
        Please delete/modify those files in order to function properly
        ============================================================
```

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
 PostInstall I18N procedure
392 fonts loaded
Creating sys$common:[sysfont.decw.75dpi]DECW$FONT_DIRECTORY.DAT
Rename EN_US files ...
 PostInstall JP procedure
392 fonts loaded
Creating sys$common:[sysfont.decw.75dpi]DECW$FONT_DIRECTORY.DAT
385 fonts loaded
Creating sys$common:[sysfont.decw.100dpi]DECW$FONT_DIRECTORY.DAT
The following fontlist is appended to decw$system_defaults:decw$mwm.dat:
-*-Kmenu-Medium-R-Normal--*-120-*-*-P-*-JISX0201.1976-0=JISX0201.1976-0,\
-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208.1983-1,\
-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208-?
%PURGE-I-FILPURG, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MWM.DAT;2 deleted (18 blocks)
%PURGE-I-FILPURG, VMI$ROOT:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MWM.DAT;1 deleted (18 blocks)
%PURGE-I-TOTAL, 2 files deleted (36 blocks)

 lang logical has been defined as ja_JP.sdeckanji
 please edit sys$manager:decw$define_lang.com if you
 want to change the logical to another locale.
 Then run decw$define_lang again

Rename _75REN files ...
Rename _100REN files ...
Rename _CDEREN files ...

  The Installation Verification Procedure (IVP) should be run after the
  installation has been completed and DECwindows Motif has been restarted.
  The IVP can be found in SYS$TEST:DECW$IVP_JA_JP.COM

        Installation of DECwindows Motif /Japanese for OpenVMS VAX V1.2-6 is now complete.

        If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
        Motif with the following DCL command:
                $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

        If your system is NOT already running DECwindows Motif, start DECwindows
        Motif with the following DCL command:
                $@SYS$MANAGER:DECW$STARTUP

        Installation of DWMV_JA_JPU6 V1.2 completed at 20:33

    Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY


        VMSINSTAL procedure done at 20:33
```

B.3 DECW$I18NTAILOR.COM 実行例

以下に DECW$I18NTAILOR.COM の実行例を紹介します。これは，日本語 DECwindows Motif V1.2–4 を削除する場合の例です。

```
@DECW$I18NTAILOR.COM

      #================================================================#
          DECW$I18NTAILOR

          This command procedure is used to tailor off
          savesets for LV/I18N base components DECwindows Motif
          AXP V1.2-4

      #================================================================#

        Tailor-off
                You may only tailor off LV kit one by one and
                the I18N base components can only be tailor-off if all
                LV kits are gone.  Moreover, you can only tailor off
                the entire kit.

You have installed the following LV kit(s):
       JAPANESE kit
Please specify the name of the LV kit [RETURN to exit]: japanese

The following parts of DECwindows Motif /JAPANESE will be recovered

  inst SAVESET
  rtl SAVESET
  cda SAVESET
  apps SAVESET
  xmpl SAVESET
  font75 SAVESET
  font100 SAVESET
  New Desktop SAVESET
  iif SAVESET

Do you want to continue? [N]: y

Recovery procedure started at 18-AUG-1999 16:42:10.30

        #====================================#
             Restore inst SAVESET files
        #====================================#
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$STARTI18N_JA_JP.COM;1 deleted (18 bl
ocks)
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]R
ECOVER.COM;1
-RMS-E-PRV, insufficient privilege or file protection violation
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSTEST]DECW$IVP_JA_JP.COM;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP]DWM_JA_JP_124.RELEASE_NOTES;2 deleted (87
3 blocks)

        #====================================#
             Restore rtl SAVESET files
        #====================================#

%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$JIM.UID;1 deleted (90
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$JIM.DAT;1 deleted (9 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]JA_JP.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]JA_JP_DECKANJI.NLS;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]JA_JP_EUCJP.NLS;1 delet
ed (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]JA_JP_SDECKANJI.NLS;1 d
eleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$BOOKREADER.DAT;1
 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$BOOKREADER.UID;1
 deleted (243 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.PS_FONT_METRICS.SYSTEM]GOTHICBBB-MEDIUM-
EUC-H.AFM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.PS_FONT_METRICS.SYSTEM]GOTHICBBB_MEDIUM_
EUC_H.AFM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.PS_FONT_METRICS.SYSTEM]RYUMIN-LIGHT-EUC-
H.AFM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.PS_FONT_METRICS.SYSTEM]RYUMIN_LIGHT_EUC_
H.AFM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$DXMPRINTWGT_UI.U
ID;1 deleted (144 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$DXMPRINTWGT_UI12
.UID;1 deleted (153 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MAIL.DAT;1 delet
ed (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MAIL_MAIN12.UID;
```

```
1 deleted (144 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MAIL_MISC12.UID;
1 deleted (378 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MAIL_READ12.UID;
1 deleted (81 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MAIL_SEND12.UID;
1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$TERMINAL.DAT;1 d
eleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$TERMINAL.UID;1 d
eleted (279 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]LWK$DXMUI.UID;1 delet
ed (189 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]LWK$DXMUI12.UID;1 del
eted (189 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$BOOKREADER.DECW$BOOK;1 deleted
 (864 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$MBOOKREADER.DECW$BOOK;1 delete
d (864 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$DXMCOLOR_HELP.DECW$BOOK;1 dele
ted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$DXMHELP_HELP.HLB;1 deleted (63
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$DXMPRINTWGT_HELP.DECW$BOOK;1 d
eleted (189 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$MAIL.DECW$BOOK;1 deleted (1242
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$TERMINAL.DECW$BOOK;1 deleted (
288 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$HELPHELP.HLB;1 deleted (72 blo
cks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP]DECW$JIM.DECW$BOOK;1 deleted (99 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$KB_INDICATOR.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$AFONTCONVERTER.D
AT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MBOOKREADER.DAT;
1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MBOOKREADER.UID;
1 deleted (243 blocks)
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW$DWTLIBSHR.EXE
;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTLIBSHR.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$JIM.EXE;1 deleted (216 blocks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_I18NIOSHR_JA_JP.EXE;1 deleted (2
79 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_AIMLIMSHR_JA_JP.EXE;1 deleted (3
6 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_I18NLIB_JA_JP.EXE;1 deleted (81
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_I18NLIB12_JA_JP.EXE;1 deleted (9
0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTJLIBSHR.EXE;1 deleted (621 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JDECW$PRINTWGTSHR.EXE;1 deleted (144 bloc
ks)

        #====================================#
             Restore cda SAVESET files
        #====================================#

%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DDIF$VIEW.UID;1 delet
ed (126 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DDIF$VIEWWGT.UID;1 de
leted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DDIF$VIEWWGT12.UID;1
deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DDIF$VIEW.DECW$BOOK;1 deleted (468
blocks)

        #====================================#
             Restore apps SAVESET files
        #====================================#
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CALC.DAT;1 delet
ed (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CALC.UID;1 delet
ed (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CALENDAR.DAT;1 d
eleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CALENDAR.UID;1 d
eleted (747 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CARDFILER.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CARDFILER.UID;1
deleted (144 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CLOCK.DAT;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$CLOCK.UID;1 dele
ted (99 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$ENDSESSION.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$ENDSESSION.UID;1
 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$LOGIN.DAT;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$LOGIN.UID;2 dele
ted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MONITOR.DAT;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MESSAGEPANEL.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MESSAGEPANEL.UID
;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MWM.DAT;1 delete
d (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MWM.UID;1 delete
d (234 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$NOTEPAD.DAT;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$NOTEPAD.UID;1 de
leted (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PAINT.DAT;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PAINT.UID;1 dele
ted (360 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PAUSESESSION.DAT
```

```
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PAUSESESSION.UID
;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PRINTSCREEN.UID;
1 deleted (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PUZZLE.DAT;1 del
eted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$PUZZLE.UID;1 del
eted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$WSCUST.UID;1 del
eted (252 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]VUE$MASTER.UID;1 dele
ted (612 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$CALC.DECW$BOOK;1 deleted (171
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$CALENDAR.DECW$BOOK;1 deleted (
711 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$CARDFILER.DECW$BOOK;1 deleted
(288 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$CLOCK.DECW$BOOK;1 deleted (144
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$MESSAGEPANEL.DECW$BOOK;1 delet
ed (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$MWM.DECW$BOOK;1 deleted (288 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$NOTEPAD.DECW$BOOK;1 deleted (2
97 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$PAINT.DECW$BOOK;1 deleted (423
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$PRINTSCREEN.DECW$BOOK;1 delete
d (198 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$PUZZLE.DECW$BOOK;1 deleted (81
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]DECW$VUE.DECW$BOOK;1 deleted (828 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB.JA_JP]DECW$CALENDAR_PROLOG.PS;1 deleted (
27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$MWM_RC.DAT;1 del
eted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$WSINIT.UID;1 del
eted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]VUE$SYSTEM_PROFILE.VU
E$DAT;1 deleted (162 blocks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM.JA_JP]VUE$EDIT.COM;1 deleted
(9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM.JA_JP]VUE$UTILS.COM;1 deleted
 (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM.JA_JP]VUE$CREATE_DIRECTORY.CO
M;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM.JA_JP]VUE$CREATE_PUBLIC_PROFI
LE.COM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM]VUE$JIM.COM;1 deleted (9 bloc
ks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]JDECW$PRINTWGT_UI.UID;1 del
eted (189 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$WINMGR.UID;1 del
eted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.JA_JP]DECW$WINMGR.DAT;1 del
eted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$BOOK]BOOKREADER_JA_JP.DECW$BOOK;1 deleted (
342 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$BOOK]MBOOKREADER_JA_JP.DECW$BOOK;1 deleted
(342 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$BOOK]LIBRARY_JA_JP.DECW$BOOKSHELF;1 deleted
 (9 blocks)
        #====================================#
             Restore xmpl SAVESET files
        #====================================#
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]HELLOMOTIF.UID;1 dele
ted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]HELLOMOTIF.UIL;1 dele
ted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER.UID;1 delet
ed (81 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER.UIL;1 delet
ed (117 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER.HLB;1 delet
ed (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER.HLP;1 delet
ed (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER_HELP.DECW$B
OOK;1 deleted (81 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER_HELP.DECW$B
OOKSHELF;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]PERIODIC.UID;1 delete
d (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]PERIODIC.UIL;1 delete
d (81 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]HELLOMOTIF.COM;1 dele
ted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]DECBURGER.COM;1 delet
ed (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW.JA_JP]PERIODIC.COM;1 delete
d (18 blocks)

        #====================================#
             Restore font75 SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1
_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1
_12.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1
_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1
_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1
_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ISOLATIN1_
8.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_10.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_12.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_14.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_18.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_24.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_KANJI_1_8.PC
F;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA
_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA
_12.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
```

```
KANA_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA
_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA
_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA
_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_ROMANKANA_
8.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_KMENU_ISOLAT
IN1_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_KMENU_ISOLATIN1_1
2.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_KMENU_ROMANK
ANA_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_KMENU_ROMANKANA_1
2.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1
_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1
_12.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1
_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1
_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1
_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ISOLATIN1_
8.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_10.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_12.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_14.
```

```
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_18.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_24.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_KANJI_1_8.PC
F;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA
_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_12.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA
_12.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA
_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA
_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA
_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_8.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_ROMANKANA_
8.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_DRCS_
12_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DRCS_12_24.
PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_DRCS_
7_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DRCS_7_14.PC
F;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_DRCS_
8_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DRCS_8_18.PC
F;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
00_10_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI00_
10_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
00_14_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI00_
14_14.PCF;7
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
00_16_16.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI00_
16_16.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
00_16_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI00_
16_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
00_24_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI00_
24_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
11_10_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI11_
10_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
11_14_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI11_
14_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
11_16_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI11_
16_18.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_KANJI
11_24_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_KANJI11_
24_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_ROMAN
KANA_12_24.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ROMANK
ANA_12_24.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_ROMAN
KANA_5_10.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ROMANKA
NA_5_10.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_ROMAN
KANA_7_14.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ROMANKA
NA_7_14.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_ROMAN
KANA_8_16.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ROMANKA
NA_8_16.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_SCREEN_ROMAN
KANA_8_18.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ROMANKA
NA_8_18.PCF;7

        #====================================#
             Restore font100 SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_I
SOLATIN1_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_I
SOLATIN1_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_I
SOLATIN1_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_I
SOLATIN1_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_I
SOLATIN1_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ISOLA
TIN1_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_IS
OLATIN1_8_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KAN
JI_1_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KAN
JI_1_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KAN
JI_1_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KAN
JI_1_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KAN
JI_1_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_KANJI
_1_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_KANJ
I_1_8_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_R
OMANKANA_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_R
OMANKANA_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
```

```
KANA_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_R
OMANKANA_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_R
OMANKANA_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_R
OMANKANA_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_GOTHIC_ROMAN
KANA_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_RO
MANKANA_8_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_KMENU_ISOLAT
IN1_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_KMENU_ISO
LATIN1_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_KMENU_ROMANK
ANA_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_KMENU_ROM
ANKANA_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_I
SOLATIN1_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_I
SOLATIN1_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_I
SOLATIN1_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_I
SOLATIN1_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_I
SOLATIN1_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ISOLA
TIN1_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_IS
OLATIN1_8_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KAN
JI_1_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KAN
JI_1_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KAN
```

```
JI_1_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KAN
JI_1_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KAN
JI_1_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_KANJI
_1_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_KANJ
I_1_8_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_10_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_R
OMANKANA_10_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_12_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_R
OMANKANA_12_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_14_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_R
OMANKANA_14_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_18_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_R
OMANKANA_18_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_24_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_R
OMANKANA_24_100DPI.PCF;7
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]JDECW_MINCHO_ROMAN
KANA_8_100DPI.PCF;5 renamed to SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_RO
MANKANA_8_100DPI.PCF;7

        #====================================#
             Restore cde SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]XCONFIG.DAT;1 rena
med to SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG]XCONFIG.DAT;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XSESSION_D]0030KB_IND
ICATOR.COM;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.BIN]XTPU_JA_JP.COM;1 deleted
 (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.BACKDROPS]DESC.JA_JP_EUCJP;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.BACKDROPS]DESC.JA_JP_DECKANJ
I;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.BACKDROPS]DESC.JA_JP_SDECKAN
JI;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DT.
DAT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTC
ALC.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTC
REATE.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTF
ILE.DAT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTH
ELLO.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTH
ELPVIEW.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTI
CON.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTP
AD.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTS
CREEN.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTS
ESSION.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTS
TYLE.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DTW
M.DAT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]DXI
MAGEVIEW.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.JA_JP_EUCJP]PRI
NTDIALOG.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER.JA_JP_E
UCJP.INPUT_METHOD]DECW$JIM.;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER.JA_JP_E
```

```
UCJP.INPUT_METHOD]DECW$KB_IND.;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS.JA_JP_EUCJP]
IMS.L_PM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS.JA_JP_EUCJP]
IMS.M_PM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS.JA_JP_EUCJP]
IMS.T_PM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS.JA_JP_EUCJP]
IMS_FOLDER.M_PM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS.JA_JP_EUCJP]
IMS_FOLDER.T_PM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
AUTOSTART.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DATATYPES.DT;1 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DECW$JIM.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DECW$KB_INDICATOR.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DEVELOP.DT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DEVELOPER2.DT_TEMPLATE;1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DOCUMENTATION.DT_TEMPLATE;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DT.DT;1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTAPPMAN.DT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTDEC.DT;2 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTFILE.DT;1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTHELP.DT;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTHELPPRINT.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTPAD.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTSCREEN.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
DTWM.FP;1 deleted (18 blocks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
MITUTILS.DT;1 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
NEWGROUP.DT_TEMPLATE;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
PRINTDIALOG.DT;1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
PRINTER.DT_TEMPLATE;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
PRINTER.FP_TEMPLATE;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
USER-PREFS.DT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES.JA_JP_EUCJP]
VMSSTD.DT;1 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.JA_JP_EUCJP]SYS.DTWMR
C;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.JA_JP_EUCJP]SYS.FONT;
1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.JA_JP_EUCJP]SYS.RESOU
RCES;1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.JA_JP_EUCJP]SYS.SESSI
ON;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.JA_JP_EUCJP]XRESOURCE
S.DAT;1 deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DT.C
AT;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTAC
T.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTCA
LC.CAT;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTCO
PY.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTCR
EATE.CAT;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTFI
LE.CAT;1 deleted (144 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTHE
LLO.CAT;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTHE
LP.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTHE
LPGEN.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTIC
```

```
ON.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTLO
GIN.CAT;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTPA
D.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTSC
REEN.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTSE
SSION.CAT;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTST
YLE.CAT;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTWI
DGET.CAT;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]DTWM
.CAT;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG.JA_JP_EUCJP]IMAG
EVIEW.CAT;1 deleted (54 blocks)

        #====================================#
             Restore iif SAVESET files
        #====================================#

%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTJLIBSHR.IIF;1 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JDECW$MAILSHR.IIF;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JDECW$PRINTWGTSHR.IIF;1 deleted (9 blocks)
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW$DWTSHR_TV_SUP
PORT.EXE;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTJLIBSHR_TV_SUPPORT.EXE;1 deleted
(1044 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_AIMLIMSHR_JA_JP_TV_SUPPORT.EXE;1
 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_I18NIOSHR_JA_JP_TV_SUPPORT.EXE;1
 deleted (477 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXM_I18NLIB_JA_JP_TV_SUPPORT.EXE;1 d
eleted (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JDECW$MAILSHR_TV_SUPPORT.EXE;1 deleted (4
392 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JDECW$PRINTWGTSHR_TV_SUPPORT.EXE;1 delete
d (225 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]JA_JP.DIR;1 deleted (9 bloc
ks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM]JA_JP.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]JA_JP.DIR;1 deleted (9 bloc
ks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]JA_JP.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDA$LIBRARY]JA_JP.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-W-SEARCHFAIL, error searching for SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONF
IG.XSESSION_D]0030KB_INDICATOR.COM;
-RMS-E-FNF, file not found
%DELETE-W-SEARCHFAIL, error searching for SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.BIN]
XTPU_JA_JP.COM;
-RMS-E-FNF, file not found
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.PALETTES]DESC.JA_JP_DECKANJI
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.PALETTES]DESC.JA_JP_EUCJP;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.PALETTES]DESC.JA_JP_SDECKANJ
I;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 3 files deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER.JA_JP_D
ECKANJI]INPUT_METHOD.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.HELP.JA_JP_DECKANJ
I]GRAPHICS.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.HELP.JA_JP_DECKANJ
I]GRAPHICSSHARED.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFO
NTS.JA_JP_DECKANJI]100DPI.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFO
NTS.JA_JP_DECKANJI]75DPI.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS.JA_JP_DECKANJI
.100DPI]DECW$FONT_ALIAS.DAT;1 deleted (81 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS.JA_JP_DECKANJI
.75DPI]DECW$FONT_ALIAS.DAT;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS.JA_JP_EUCJP]10
0DPI.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS.JA_JP_EUCJP]75
DPI.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 7 files deleted (198 blocks)
%DELETE-W-SEARCHFAIL, error searching for SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM...JA
_JP*...]*.*;
-RMS-E-FNF, file not found
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS]JA_JP_DECKANJI.
DIR;1 deleted (9 blocks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS]JA_JP_EUCJP.DIR
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS]JA_JP_SDECKANJI
.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER]JA_JP_D
ECKANJI.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER]JA_JP_E
UCJP.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.APPMANAGER]JA_JP_S
DECKANJI.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.HELP]JA_JP_DECKANJ
I.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.HELP]JA_JP_EUCJP.D
IR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.HELP]JA_JP_SDECKAN
JI.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS]JA_JP_DECKAN
JI.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS]JA_JP_EUCJP.
DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.ICONS]JA_JP_SDECKA
NJI.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES]JA_JP_DECKAN
JI.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES]JA_JP_EUCJP.
DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.APPCONFIG.TYPES]JA_JP_SDECKA
NJI.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG]JA_JP_DECKANJI.DIR;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG]JA_JP_EUCJP.DIR;1 del
eted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG]JA_JP_SDECKANJI.DIR;1
 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS]JA_JP_DECKANJI
.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS]JA_JP_EUCJP.DI
R;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.CONFIG.XFONTS]JA_JP_SDECKANJ
I.DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG]JA_JP_DECKANJI.D
IR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG]JA_JP_EUCJP.DIR;
```

```
1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[CDE$DEFAULTS.SYSTEM.LIB.NLS.MSG]JA_JP_SDECKANJI.
DIR;1 deleted (0 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 24 files deleted (144 blocks)
%SYSTEM-W-NOSUCHFILE, no such file
 \SYS$SHARE:JDECW$MAILSHR.EXE\
%SYSTEM-W-NOSUCHFILE, no such file
 \SYS$SHARE:JDECW$TERMINALSHR.EXE\
The following fontlist is deleted from decw$system_defaults:decw$mwm.dat:
-*-Kmenu-Medium-R-Normal--*-120-*-*-P-*-JISX0201.1976-0=JISX0201.1976-0,\
-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208.1983-1,\
-*-Gothic-Medium-R-Normal--*-120-*-*-M-*-JISX0208.1983-1=JISX0208-?
%PURGE-I-FILPURG, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MWM.DAT;1 deleted (18
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-APPS-FILES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-APPS-IMAGES.DA
T;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-CDA-FILES.DAT;
1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-CDA-IMAGES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-CDE-FILES.DAT;
1 deleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-CDE-IMAGES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-FONT100-FILES.
DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-FONT100-IMAGES
.DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-FONT75-FILES.D
AT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-FONT75-IMAGES.
DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-IIF-FILES.DAT;
1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-IIF-IMAGES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-INST-FILES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-INST-IMAGES.DA
T;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-RTL-FILES.DAT;
```

```
1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-RTL-IMAGES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-XMPL-FILES.DAT
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]DECW-XMPL-IMAGES.DA
T;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124.JAPANESE]RECOVER.COM;1 delet
ed (36 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 19 files deleted (207 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]JAPANESE.DIR;1 deleted (18 b
locks)

Procedure completed successfully at 18-AUG-1999 16:43:28.46
```

続けて DECW$I18NTAILOR.COM を起動し，I18N（国際化）ベース・キットを削除します。

```
$ @DECW$I18NTAILOR.COM

      #================================================================#
          DECW$I18NTAILOR

          This command procedure is used to tailor off
          savesets for LV/I18N base components DECwindows Motif
          AXP V1.2-4

      #================================================================#

        Tailor-off
                You may only tailor off LV kit one by one and
                the I18N base components can only be tailor-off if all
                LV kits are gone.  Moreover, you can only tailor off
                the entire kit.

You have only installed the I18N base components.
Do you want to tailor off the I18N base components? [N]: y

The following parts of I18N DECwindows Motif will be recovered
```

```
  EN_US_inst SAVESET
  EN_US_rtl SAVESET
  EN_US_cda SAVESET
  EN_US_apps SAVESET
  EN_US_prgm SAVESET
  EN_US_xmpl SAVESET
  EN_US_font SAVESET
  EN_US_iif SAVESET

Do you want to continue? [N]: y

Recovery procedure started at 18-AUG-1999 16:45:15.53

         #====================================#
              Restore EN_US_inst SAVESET files
         #====================================#

%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP]DECW$I18N_MOTIF124.RELEASE_NOTES;2 delete
d (198 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$STARTI18NKIT.COM;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$I18NTAILOR.COM;1 deleted (45 blocks)

         #====================================#
              Restore EN_US_rtl SAVESET files
         #====================================#
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]LOCALE.ALIAS;1 del
eted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]DA_DK.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]DE_CH.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]EN_GB.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]EN_US.COMPOSE;1 deleted
 (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]EN_US.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]EN_US_ISO8859-1.COMPOSE
;1 deleted (108 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]ES_ES.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]FI_FI.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]FR_BE.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]FR_CA.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]FR_CH.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]FR_FR.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]IS_IS.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]IT_IT.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]NL_BE.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]NL_NL.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]NO_NO.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]PT_PT.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]SV_SE.NLS;1 deleted (9
blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.TR]TR.CODESET;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ZH]ZH.CODESET;1 de
```

```
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ZH_TW]ZH_TW.CODESE
T;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$INCLUDE.XIMP]XIMPROTO.H;1 deleted (45 block
s)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$INCLUDE.XIMP]XIMPLC.H;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MBOOKREADER.DAT;1 dele
ted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MBOOKREADER.UID;1 dele
ted (234 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$BOOK]MBOOKREADER.DECW$BOOK;1 deleted (342 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM]VUE$MBOOKREADER.COM;1 deleted
 (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$MBOOKREADER_PROLOG.PS;1 deleted (18
blocks)
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$DXMLIBSHR.EXE;1 rename
d to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXMLIBSHR.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$TERMINALSHR.EXE;1 rena
med to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$TERMINALSHR.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$XMLIBSHR.EXE;1 renamed
 to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$XMLIBSHR.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$XTSHR.EXE;1 renamed to
 SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$XTSHR.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$AFONTCONVERTER.EXE;1 deleted (99 blo
cks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DIMSLIBSHR.EXE;1 deleted (468 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$XIMPLIBSHR.EXE;1 deleted (351 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$MBOOKREADER.EXE;1 deleted (2115 bloc
ks)

        #====================================#
             Restore EN_US_cda SAVESET files
        #====================================#

%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DEFSTYLE.DDIF;1 renamed to
SYS$COMMON:[CDA$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DDIF$VIEWSHR.EXE;1 renamed
to SYS$COMMON:[SYSLIB]DDIF$VIEWSHR.EXE;2

        #====================================#
             Restore EN_US_apps SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$MWM.DAT_US_RENAME;1 re
named to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$MWM.DAT_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$NOTEPAD.DAT_US_RENAME;
1 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$NOTEPAD.DAT_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$NOTEPAD.UID_US_RENAME;
1 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$NOTEPAD.UID_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$PUZZLE.DAT_US_RENAME;1
 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$PUZZLE.DAT_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$PUZZLE.UID_US_RENAME;1
 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$PUZZLE.UID_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]VUE$SYSTEM_PROFILE.VUE$DAT_
US_RENAME;1 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]VUE$SYSTEM_PROFILE.VUE
$DAT_US_RENAME;1
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[VUE$LIBRARY.SYSTEM]VUE$KB_INDICATOR.COM;1 delete
d (9 blocks)
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$NOTEPAD.EXE;1 renamed
to SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$NOTEPAD.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$PUZZLE.EXE;1 renamed t
o SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$PUZZLE.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSEXE]DECW$KB_INDICATOR.EXE;1 deleted (36 block
s)

        #====================================#
             Restore EN_US_prgm SAVESET files
        #====================================#

%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WMD;
1 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WMD;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WML;
1 renamed to SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]DECW$UIL_OSF_MOTIF_1_1.WML;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$INCLUDE]DIMSDEF.H;1 deleted (18 blocks)

        #====================================#
             Restore EN_US_xmpl SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECBURGER.C;1 renamed to SY
S$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.C;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECBURGER.COM_US_RENAME;1 r
enamed to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.COM_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECBURGER.UIL_US_RENAME;1 r
enamed to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.UIL_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECBURGER.UID_US_RENAME;1 r
enamed to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.UID_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]HELLOMOTIF.C;1 renamed to S
YS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.C;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]HELLOMOTIF.UIL_US_RENAME;1
renamed to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.UIL_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]HELLOMOTIF.UID_US_RENAME;1
renamed to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.UID_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]PERIODIC.C;1 renamed to SYS
$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.C;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]PERIODIC.DAT;1 renamed to S
YS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.DAT;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]PERIODIC.UIL_US_RENAME;1 re
named to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.UIL_US_RENAME;1
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]PERIODIC.UID_US_RENAME;1 re
named to SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.UID_US_RENAME;1
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]IMS_EXAMPLE.C;1 deleted (18
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]IMS_EXAMPLE.COM;1 deleted (
18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]XIMDEMO.C;1 deleted (36 blo
cks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]XIMDEMO.COM;1 deleted (9 bl
ocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.COM;1 deleted (1
8 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.COM;1 deleted (18
blocks)
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECBURGER.EXE;1 renamed to
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]DECBURGER.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]HELLOMOTIF.EXE;1 renamed to
 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]HELLOMOTIF.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]PERIODIC.EXE;1 renamed to S
YS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]PERIODIC.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]XIMDEMO.EXE;1 deleted (27 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]IMS_EXAMPLE.EXE;1 deleted (
```

```
18 blocks)
        #====================================#
             Restore EN_US_font SAVESET files
        #====================================#

%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]ADECW_SCREEN_DECCTRL_12_24.PC
F;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]ADECW_SCREEN_DECCTRL_7_14.PCF
;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]ADECW_SCREEN_DECCTRL_8_18.PCF
;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]ADECW_SCREEN_DRCS_12_24.PCF;1
 deleted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]ADECW_SCREEN_DRCS_8_18.PCF;1
deleted (27 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECSUPPL_12_24.P
CF;1 deleted (72 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECSUPPL_7_14.PC
F;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECSUPPL_8_18.PC
F;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECTECH_12_24.PC
F;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECTECH_7_14.PCF
;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_DECTECH_8_18.PCF
;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ISOLATIN1_12_24.
PCF;1 deleted (63 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ISOLATIN1_7_14.P
CF;1 deleted (45 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_ISOLATIN1_8_18.P
CF;1 deleted (54 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.USER_75DPI]DECW$FONT_ALIAS_75_I18N.
DAT;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.USER_100DPI]DECW$FONT_ALIAS_100_I18
N.DAT;1 deleted (9 blocks)
        #====================================#
             Restore EN_US_iif SAVESET files
        #====================================#
```

```
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DDIF$VIEWSHR.IIF;1 renamed
to SYS$COMMON:[SYSLIB]DDIF$VIEWSHR.IIF;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$DXMLIBSHR_TV_SUPPORT.E
XE;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXMLIBSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$XMLIBSHR_TV_SUPPORT.EX
E;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$XMLIBSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$XTSHR_TV_SUPPORT.EXE;1
 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$XTSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DDIF$VIEWSHR_TV_SUPPORT.EXE
;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DDIF$VIEWSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$TERMINALSHR_TV_SUPPORT
.EXE;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$TERMINALSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%RENAME-I-RENAMED, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$DWTLIBSHR_TV_SUPPORT.E
XE;1 renamed to SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DWTLIBSHR_TV_SUPPORT.EXE;2
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSLIB]DECW$DXMAIMSHR_TV_SUPPORT.EXE;1 deleted (
297 blocks)
%PURGE-I-FILPURG, SYS$COMMON:[SYSLIB]DCLTABLES.EXE;90 deleted (684 blocks)
%PURGE-I-FILPURG, SYS$COMMON:[SYSLIB]DCLTABLES.EXE;89 deleted (684 blocks)
%PURGE-I-FILPURG, SYS$COMMON:[SYSLIB]DCLTABLES.EXE;88 deleted (684 blocks)
%PURGE-I-FILPURG, SYS$COMMON:[SYSLIB]DCLTABLES.EXE;87 deleted (684 blocks)
%PURGE-I-TOTAL, 4 files deleted (2736 blocks)
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
C.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
DA.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
DE.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
EL.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
EN.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
ES.DIR;1
```

```
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
FI.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
FR.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
IS.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
IT.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
JA_JP_DECKANJI.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
JA_JP_EUC.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
JA_JP_JIS.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
JA_JP_SJIS.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
KO.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
NL.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
```

```
NO.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
PL.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
PT.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
RU.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
SH.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
SK.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]
SV.DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]TR.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]ZH.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]ZH_TW.DIR;1 delete
d (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.C]CODESET.;1 delet
ed (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DA]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DA]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DE]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.DE]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
```

```
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.EL]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.EN]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.EN]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ES]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.ES]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FI]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FI]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FR]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.FR]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IS]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IS]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IT]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.IT]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_DECKANJI]COD
ESET.;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_EUC]CODESET.
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_JIS]CODESET.
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.JA_JP_SJIS]CODESET
.;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.KO]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NL]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NL]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NO]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.NO]COMPOSE.;1 dele
```

```
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.PL]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.PT]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.PT]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.RU]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SH]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SK]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SV]CODESET.;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP.SV]COMPOSE.;1 dele
ted (36 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 38 files deleted (666 blocks)
%DELETE-W-FILNOTDEL, error deleting SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]XIMP.
DIR;1
-RMS-E-MKD, ACP could not mark file for deletion
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]C.DIR;1 deleted (9
 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]DA.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]DE.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]EL.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]EN.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]ES.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]FI.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]FR.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]IS.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]IT.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]JA_JP_DECKANJI.DIR
```

```
;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]JA_JP_EUC.DIR;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]JA_JP_JIS.DIR;1 de
leted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]JA_JP_SJIS.DIR;1 d
eleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]KO.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]NL.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]NO.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]PL.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]PT.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]RU.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]SH.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]SK.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS.XIMP]SV.DIR;1 deleted (
9 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 23 files deleted (207 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM.NLS]XIMP.DIR;1 deleted (9 b
locks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[DECW$DEFAULTS.SYSTEM]NLS.DIR;1 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$DEFINE_LANG.COM;59 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DDIF$VIEW_EN_US.CLD;1 delete
d (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW$SMB_LANGUAGE.DAT;1 dele
ted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_APPS-FILES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_APPS-IMAGES.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_CDA-FILES.DAT;1 d
eleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_CDA-IMAGES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_FONT-FILES.DAT;1
```

```
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_FONT-IMAGES.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_IIF-FILES.DAT;1 d
eleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_IIF-IMAGES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_INST-FILES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_INST-IMAGES.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_PRGM-FILES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_PRGM-IMAGES.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_RTL-FILES.DAT;1 d
eleted (18 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_RTL-IMAGES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_XMPL-FILES.DAT;1
deleted (9 blocks)
%DELETE-I-FILDEL, SYS$COMMON:[SYSUPD.DECWMI18N124]DECW-EN_US_XMPL-IMAGES.DAT;1
 deleted (9 blocks)
%DELETE-I-TOTAL, 18 files deleted (171 blocks)
If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows
Motif with the following DCL command:
       @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART

If your system is NOT already running DECwindows Motif, start DECwindows
Motif with the following DCL command:
       @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP

Procedure completed successfully at 18-AUG-1999 16:45:58.81
```

C

エラーからの回復

この付録では，製品のインストレーション時あるいは製品の使用時に発生する可能性のある障害あるいはエラーに対処するための情報を提供します。

C.1 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のインストレーション時のエラー

インストレーション時に問題を検出した場合は，ユーザにそれを通知し，インストレーションを継続するかどうか問い合わせます。ある状況の場合は，YES と応答して処理を継続することができます。インストレーション処理を中止し，問題を修正する場合は NO と応答するか Return キーを押します。続いて，問題を修正して，インストレーションを再度実行します。

インストレーションに失敗した場合は，次のメッセージが表示されます。

Alpha の場合:

```
%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

VAX の場合:

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The installation of DECwindows Motif/Japanese V1.2-6
for OpenVMS has failed.
```

インストレーション中に，以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。

- インストレーションに必要なクォータが不足している場合。
- インストレーションに必要なシステム・パラメータ値が不足している場合。
- 製品ライセンスが登録されていない場合。

これらの条件により発生したエラー・メッセージについての説明は，システム・メッセージ，回復手順， OpenVMS ソフトウェア・インストレーションに関する OpenVMS ドキュメントを参照してください。上記の状態が通知された場合は，メッセージに記述されている適切な処置を行う必要があります。

インストレーションに必要な条件については，第 1 章を参照してください。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS インストレーション・ガイド

2001 年 7 月　発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話　(03)5463-6600 (大代表)

AA–PVF5D–TE